

目 次

キャリア教育プログラム開発

大学・大学生の特性に対応した初年次キャリア教育プログラムの開発について	植 上 一 希 藤 野 真	1
1. プログラム「福大生のためのキャリアデザイン」		
プログラム「福大生のためのキャリアデザイン」について	植 上 一 希	7
2. 教職協働による初年次キャリア教育の開発と実施の諸側面		
教職協働による初年次キャリア教育の開発と実施の諸側面	植 上 一 希	11
大学・大学生の特性に対応した初年次キャリア教育プログラムの開発 (2) - 教職協働の契機と意義 -	藤 野 真 渡 邊 晶 帆	12
「福大生のためのキャリアデザイン」における教職協働の意義 - 職員へのインタビュー調査をもとに -	植 上 一 希	15
教職協働におけるティーチング・アシスタントの意義	渡 邊 晶 帆	20
大学・大学生の特性に対応した初年次キャリア教育プログラムの開発 (1) - 初年次教育とキャリア教育の連結 -	植 上 一 希 白 谷 美紗樹	23
他大学のキャリア教育	渡 邊 晶 帆	26
業績一覧		29
福大生のためのキャリアデザイン (2020年度版)		
第1回目 インTRODクシヨN	植上一希・藤野 真	31
第2回目 大学生になるってどういうこと？現在を考える	植上一希・藤野 真	51
第3回目 大学になるってどういうこと？過去を考える	植上一希・藤野 真	67
第4回目 どのような大学生になりたいか？	藤野 真・植上一希	81
第5回目 どのような大学生になりたいか？	藤野 真・植上一希	100
第6回目 福岡大学の支援体制①大学での学習を支援する教務課	福本 豪・植上一希・藤野 真	112
第7回目 大学生の学びの特質	植上一希・藤野 真	139
第8回目 福岡大学の支援体制②学生生活を支援する HD センター	大塚彩乃・山田 葉・植上一希・藤野 真	150
第9回目 先輩に聞く大学生活の送り方・学び方？	渡邊晶帆・植上一希・藤野 真	168
第10回目 学生の悩み・躓きやすいことについて	藤野 真・植上一希	179
第11/15回目 どのような大学生になりたいか？	藤野 真・植上一希	195
第12回目 福岡大学の支援体制②キャリア形成を支援する就職・進路支援センター	疋田桃子・假野陽介・藤野 真・植上一希	199
第13回目 福岡大学の支援体制③エクステンションセンター	北嶋太樹・植上一希・藤野 真	248
第14回目 まとめ	植上一希・藤野 真	278

大学・大学生の特性に対応した初年次キャリア教育プログラムの開発について

植 上 一 希¹
藤 野 真²

1. 研究の背景と目的

周知のように、大学生のキャリア形成の困難化が進展するなかで、大学におけるキャリア教育の必要性は高まっている。政策においては、2010年に大学設置基準が改正され、2011年にはすべての大学でキャリア教育を行うことが義務づけられるようになってきている。

他方、大学生の大学教育への適応困難化が進展しており、それに対応する大学教育改善の要請は高まっている。とくに、大学1年生を対象とする初年次教育の改善は政策的・実践的に重視されている。

こうした、大学に対するキャリア教育実施と教育改善という2つの要請は、次の3点を背景として共有している。すなわち、第1が大学・大学生をとりまく社会の変容（大学・大学生に対するニーズの変容）であり、第2が大学の大量化（大学進学率の上昇）のなかで必然的に生じる大学生の変容である。第3がキャリア教育の効果を実質化させるためには、地域の文脈に落とし込まれた、地域の文脈に「カスタマイズ」されたキャリア教育の必要性である（図1参照）。

したがって、大学におけるキャリア教育と教育改善を効果的に進めるためには、これらの共通する背景をふまえて、両者を連関させて展開させる必要があり、とくに大学における学習の基盤となる初年次段階を対象とした

大学教育改善と結び付けたキャリア教育の体制づくりとプログラム開発は、その展開にとって不可欠になっている。

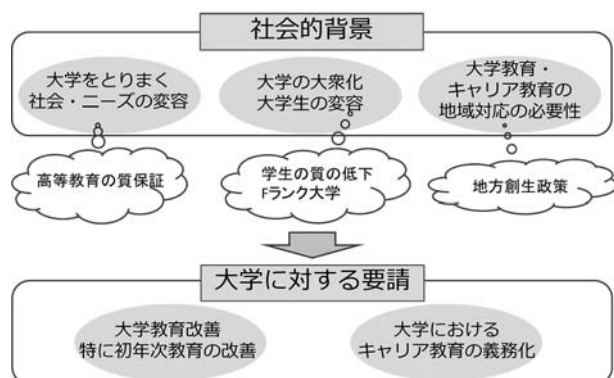
一方で本研究チームのメンバーである植上と藤野は福岡大学において1年生を対象とした共通教育科目「福大生のためのキャリアデザイン」を実施してきた。後で詳述するように、この科目は初年次キャリア教育として位置づけることができる科目であると同時に、教職協働で実施する科目という特徴を有しており、上述の問題意識を達成するうえで、適当な科目となっている。

したがって、本研究は「福大生のためのキャリアデザイン」を題材として、初年次キャリア教育のプログラム開発を行っていくことを目的と置く。他大学の初年次キャリア教育の調査はもちろんのこと、様々な教育実践や理論、ならびに授業関係者への聞き取り調査などを通して、より良い初年次キャリア教育プログラムを開発することを第1の課題とし、その開発・実施過程のなかで見えてきた様々な論点・課題について整理し、今後のキャリア教育の体制づくりとプログラム開発に資することを第2の課題とする。

2. 大学・大学生の特性に応じたキャリア教育プログラム開発の必要性

大学における教育改善とキャリア教育の推進を連関させて展開していく際、重要なのがそれぞれの大学・大学生の特性に応じるという観点である。すなわち、福岡大学でキャリア教育プログラムをつくるのであれば、福岡大学ならびに福岡大学生の特性に応じる観点がその中心におかれなければならない。当たり前のようなことをなぜこのように強調するのかといえば、もちろん、キャリア教育の推進にあたりこの観点がふまえられていないことが多いからであるし、そうして実施される教育の効果は非常に低いからである。本節では、本研究の前提となるこの観点について、確認しておきたい。

図1 大学における教育改善とキャリア教育推進の政策的背景



¹ 福岡大学 人文学部

² 福岡大学 商学部

(1) キャリアの多様性・具体性⇔キャリア教育の画一性・抽象性

キャリア形成について考える際にまず確認すべきことは以下の2点である。

第1に、原理的にキャリア形成は非常に多様でありそれぞれ具体性を有するものであるということ。

第2に、現実的にみても、急激な社会変容のなかで、20世紀段階において典型的と思われてきた「標準的なキャリア形成」モデルは揺らいでおり、個々人の社会属性によって期待されるキャリア形成自体も多様化しているということ。

実際、第1の点を基盤として、第2の状況が広がってきたからこそ、キャリア教育の必要性が高まってきたというのが政策的な背景である。

しかし、大学におけるキャリア教育はこれらの2点を、(たとえそれが必要だとわかっている) 実質的におさえることができないまま実施されることが多い。たとえば、理論面においては、キャリア形成の多様性を謳いながらも結果として抽象的なキャリア形成モデルを押し付けていくキャリア教育論は少なくない。また、1990年代後半以降の日本社会の急激な社会変容を把握していない議論や、都市部と地方部におけるキャリア形成の違いなどをふまえていない議論も非常に多い。そのため、結果として、大学におけるキャリア教育は、都市部(とくに東京・名古屋・大阪等の大都市部)におけるキャリア形成を標準モデルとして、理論的・実践的に展開される傾向が強くなってしまっている。

こうした都市型のキャリア教育を画一的に地方大学に導入しても、期待される効果は低い。求められるのは、現在(そして将来)の地方部におけるキャリア形成の多様性・具体性をふまえた形での、キャリア教育プログラムの開発である。

(2) 福岡大学生のキャリア形成の現実に対応するキャリア教育プログラム開発という課題

近年では若者の地元志向が指摘されており¹、地方都市を中心に据えた新しい移行モデルの構築とキャリア形成支援の方策の検討が喫緊の課題となっている。それは、九州の中心都市としての発展を続ける福岡市に拠点を置く福岡大学のキャリア教育を構想する際においても求められる観点である。

上記の問題関心にもとづき、筆者らは2011年から九州という地域性、そして福岡という地域性に焦点を当てて、その労働市場の実態と学生のキャリア形成意識について調査を行ってきた²。調査等から見てきたのは、キャリア形成に関する九州そして福岡地域の独自性である。九州・福岡の地域経済構造と若年層のキャリア形成意識はいずれも他の地域とは異なる特徴を有しており、それをふまえたキャリア教育が構成されなければならない

い。

また、当然のことながら、社会階層的な観点も加えられる必要がある。福岡大学に進学してくる学生の社会階層、福岡大学の卒業生たちが属する社会階層、さらにはそれらから導き出される福岡大学(生)に期待されている社会階層的視点とは何か。

それらの具体的な検討(そのうえでの改善が展望されるのも望ましい)と、福岡大学としての人材像・教育像の理念との突き合せのなかで、福岡大学生に対するキャリア教育の構想がなされていくのが、学生にとっても大学にとっても、効果と意義が期待される方向だと言える。

3. 福岡大学における初年次キャリア教育プログラムとしての「福大生のためのキャリアデザイン」

福岡大学においては、就職・進路支援センターやエクステンションセンターが、学生のキャリア形成支援の取り組みを行ってきた。また、各学部において独自の取り組みもなされてきている。こうしたなかで大学の正課教育にキャリア教育を位置づけるという方針のもと、2012年度から1年生対象の共通教育科目として「福大生のためのキャリアデザイン」が設置され2020年度で9年目を迎えている。本節では、福岡大学における初年次キャリア教育プログラムとしての「福大生のためのキャリアデザイン」の特徴等を見ていこう。なお、現在の授業担当者は筆者(植上)と商学部の藤野真准教授であるが、2012年度～2014年度までは筆者と人文学部の寺崎里水准教授(現在、法政大学キャリアデザイン学部)の2名で担当した。

(1) 「大学生(福大生)になる」ことと「大卒(福大卒)後のキャリア」を結びつける観点の重視 ～初年次教育とキャリア教育の連結

「福大生のためのキャリアデザイン」の特徴の第1は、在学段階と卒業後段階のキャリア形成をつなげる形でキャリア教育をとらえるところにある。一般的に大学におけるキャリア教育は就職(活動)時点に焦点が当てられがちだが、より広いスパンで大学生のキャリア形成をとらえることで大学におけるキャリア教育の有効性が高まると私たちは考えている。

そしてその際、「社会化」に関する基本的な観点をキャリア教育に導入する必要がある。すなわち、人は自分が参入した「社会」におけるルールや役割を具体的に理解し実行していくことで、自分自身をつくりあげ、かつ「社会」に定位していくという観点である。そこから大学におけるキャリア教育の観点として転換されるのが、次の2点。第1に「社会化」をスムーズに果たすための訓練

をすること。そしてより重要なのが、第2に大学という「社会」への参入・定位が、大学卒業後の「社会」への参入・定位に連続的につながるということである。

すなわち、大学1年生が大学という「社会」に参入・定位する過程そのものを「社会化」の訓練として位置付けるとともに、それを単純な大学への適応教育として処理するのではなく、大学卒業後の「社会化」と連続的なものとして把握するという観点からキャリア教育を行うというのが、「福大生のためのキャリアデザイン」の基本的視座となる。そして当然のことながら、受講生にとっての大学とは福岡大学という具体的な社会であるから、とくに重視されるのは「福大生になる」とことと「福大卒業後のキャリア」との連結となる。

下記の文章はシラバスの授業概要だが、ここにも書いてあるように、学生が大学生（福大生）としての自己認識を確立し大学（福大）における諸資源を活用していくこと、そして、そうした取り組みを通じて在学段階から卒業後段階のキャリアを主体的にデザインできるような力量を形成することが、大学におけるキャリア教育の到達目標の1つとして置かれるべきだと私たちは考えている。とくに、初年次教育としては「大学生（福大生）になる」という観点は丁寧かつ具体的に置かれなければならない。

2020年度「福大生のためのキャリアデザイン」シラバス 概要

本講義は1年生を対象に行う。

中心となる問いは、「大学生になる」とはどういうことか、である。1年生は大学生としてのライセンスを得た状態にいるが、そのライセンスを中身あるものにしていくことが、「大学生になる」ということに他ならない。この「大学生になる」ために必要な考え方や取り組み方について、本講義では、具体的な実践もとりにいれながら習得していく。

その際、この福岡大学において受講者が「福大生になる」という具体的な観点をとくに重視し、福大生の置かれている社会的位置やかけられている期待、福岡大学において活用できる諸資源とそれを用いての成長可能性などを学んでいく。

それをもとに、自立とは何か、職業とは何か、キャリアをデザインするとはどういうことか、キャリアをデザインするために大学でどのようなことを学び、身につけておかなければならないのかなど、自分自身のキャリアを考えるために必要な基本的な知識や考え方を理解することを目的とする。

従来、初年次教育とキャリア教育は連結してとらえられることはほぼなかったが、その両者を連結した点が「福大生のためのキャリアデザイン」の第1の特徴である。

(2) 正課教育と正課外支援の連携という観点の重視～教職協働の契機と意義

「福大生のためのキャリアデザイン」の第2の特徴は、大学生に対するキャリア教育は正課教育と正課外教育の連携という観点を重視している点である。

第1の特徴でも見たように、「福大生のためのキャリアデザイン」は大学という「社会」への参入・定位過程を学生のキャリア形成力量の重要な契機として位置づけているが、その位置づけから導出される根本的な問いは、「学生が参入・定位していく大学という『社会』とは何か」であり、その根本的な問いを念頭に置きながら、その「社会」の具体的な要素を抽出していくことがキャリア教育を展開するうえで必要な作業となる。

上記の問いと作業は非常に難しいものであるが、「福大生のためのキャリアデザイン」を展開するにあたって、私たち教員側（植上・寺崎・藤野）が共通教育センター（現：共通教育研究センター）の多大な協力を得てお願いしてきたのが、大学の各部署の協力である。福岡大学という「社会」の主要な構成員は、学生、大学教員、大学職員であり、学生のキャリア形成の主要な契機は正課教育と正課外支援となる。そうした把握のもと上記の作業にあたって、学生のキャリア形成にとくに関わりが深い部署の協力は不可欠だという判断が授業の開始時からあった。6年間のなかで、この授業に協力いただいていたのが、教務課、学生課、就職・進路支援センター、エクステンションセンター、HDセンター、教職課程教育センター、教育開発支援機構の各部署である。授業の構成についてのアドバイス、ゲスト講師の派遣、学生に有意義な情報の提供などを、毎年ご協力いただいている。そして、学生からの授業評価アンケート等でも、この点に関する肯定的な意見はとても多く、「福大生になる」という行為を支えるうえでの教職協働の重要性を私たち教員自身も強く感じている。

初年次教育にせよ、キャリア教育にせよ、従来はなかなか教職協働の観点は導入されてこなかったが、それを導入しているのが「福大生のためのキャリアデザイン」の第2の特徴である。

写真1 福大職員が参加してのグループワーク



(3) 成果の発信など

初年次キャリア教育の実践事例として、「福大生のためのキャリアデザイン」の成果や意味について学外への発信も行っている。主たる学会報告は以下の2つ。

① IAVEG International Conference 2015 (国際キャリア教育学会2015年大会) シンポジウム

Assistance activities for the school-to-work transition from the standpoint of rural areas in Japan

(邦題：地方都市から考える日本の学校から労働市場への移行と支援)

(報告者：寺崎里水・植上一希・藤野真・丹田佳太)

②第66回九州地区大学教育研究協議会

大学・大学生の特性に対応した初年次キャリア教育
－「福大生のためのキャリアデザイン」を事例に－

(報告者：藤野真・植上一希・白谷美紗樹・渡邊晶帆)

また、「福大生のためのキャリアデザインのテキスト」をもとにした教材開発の成果として『大学生になるってどういうこと？－学習・生活・キャリア形成－』（植上一希・寺崎里水・藤野真、大月書店、2014年）も刊行している。

4. 本研究の構成

以上、見てきたように「福大生のためのキャリアデザイン」は、福岡大学における初年次キャリア教育としての位置づけで展開してきた。また、その実施のなかで大学教育改善という課題とも関連する位置づけを有してきたと考えている。

私たちのチームはこの科目を題材として、初年次キャリア教育としてより効果的な教育プログラムを開発してきた。本報告書では、その成果である2020年度実施の教育プログラムを、「第1部：プログラム『福大生のためのキャリアデザイン』」として報告する。

また、プログラムの開発・実施過程のなかで見えてきた様々な論点・課題については「第2部：教職協働による初年次キャリア教育の開発と実施の諸側面」として報告する。

注

¹ 乾彰夫編著『高卒5年 どう生き、これからどう生きるのか－若者たちが今＜大人になる＞とは』大月書店、2013年。

² 寺崎里水、植上一希、藤野真：『大衆化した大学における学生の就業意識とキャリア形成支援』、福岡大学研究部論集A：人文科学編、13 (3)、2014。

寺崎里水、植上一希、藤野真：『大衆化した大学における学生の就業意識とキャリア形成支援Ⅱ』、福岡大学研究部論集A：人文科学編、15 (4)、2016。

第1部

プログラム「福大生のためのキャリアデザイン」

プログラム「福大生のためのキャリアデザイン」について

植 上 一 希¹

1. 第1部について

第1部は「プログラム『福大生のためのキャリアデザイン』』というタイトルで、私たちが2020年度に開発・実施した教育プログラムを報告する。

2020年度前期は、周知のようにコロナの影響で、福岡大学でも授業は原則遠隔での実施となり、「福大生のためのキャリアデザイン」も遠隔授業となった。そのため、ここでは、遠隔授業で用いた投影資料を中心に掲載をする。

2. 2020年度の授業の概要

(1) 体制について

2020年度は前年度までと同様に、共通教育研究センター事務室の全面的な支援のもと、2人の専任教員（植上・藤野）と、教務課、学生課、就職・進路支援センター、エクステンションセンター、HDセンターの協力によって授業準備を3月から進めた。しかし、コロナにより遠隔授業となったことから、学生課による授業が困難となり、今年度に限り学生課の回は削除となった。また、当初、学部生や大学院生の参加を予定していたが、遠隔授業となったことから、彼らの授業参加も難しくなり、TAの関与もなくなった。代わりに、2018年度にTAとして関わった大学院生の渡邊晶帆さんに1回分のゲスト講義を依頼した。

授業は、木曜日の1時間目と2時間目に設定し、同じ内容を2つのクラスに実施した。Webexを用いたリアルタイム型を中心に実施した。

学習評価（成績評価）に関しては、2019年度までは2回のレポートと定期試験での実施を行っており、当初はその予定でいたが、定期試験が実施できなかったため、最終レポートを代替として課した。

(2) 受講生について

木曜日1時間目の登録者数は64名。すべて1年生であり、学部の内訳は、商学部17名、経済学部10名、スポーツ科学部5名、人文学部29名、工学部3名である。

木曜日2時間目の登録者数は102名。すべて1年生であり、学部の内訳は、商学部17名、経済学部21名、スポーツ科学部8名、人文学部55名、工学部1名となっている。

「福大生のためのキャリアデザイン」は登録制限科目となっており、今年度は十分な周知期間もなかったこともあり、例年よりも登録者数は少なかった。

(3) 授業計画について

2020年度は急遽遠隔授業が決まったこともあり、それまで対面授業のなかで、アクティブ・ラーニング型の授業を展開してきた「福大生のためのキャリアデザイン」にとっては大きな授業内容の変更が迫られた。担当教員2名で相談し、対面授業では実施することができない、社会人とのワークや、学生同士のチーム作りなどは授業

<2020年度授業計画>

回	日時	授業計画
1	4・30	オリエンテーション
2	5・7	大学生になるってどういうこと（第1章）
3	5・14	大学生生活・大学での学習① なぜ大学生になったのか（第3章）
4	5・21	大学生生活・大学での学習② 未来について考える
5	5・28	課題作成 「どのような大学生になりたいのか① －過去・現在・未来－に焦点をあてて」
6	6・4	福岡大学での支援体制① 大学での学習を支援する教務課
7	6・11	大学生生活・大学での学習③ 大学生の学びの特質（第4章）
8	6・18	福岡大学での支援体制② 学生生活を支援するHDセンター
9	6・20	先輩に聞く大学生生活の送り方・学び方
10	6・25	大学生生活・大学での学習⑤ 学生の悩み・躓きやすいことに答えて
11	7・2	課題作成 「どのような大学生になりたいか②」
12	7・4	福岡大学での支援体制③ キャリア形成を支援する就職・進路支援センター
13	7・9	福岡大学での支援体制④ キャリア形成を支援するエクステンションセンター
14	7・16	まとめ

¹ 福岡大学 人文学部

としても削除した。また、どうしても、遠隔授業では内容をスリム化する必要にも迫られた。

一方で、遠隔授業でもできること、コロナ禍の現状において大学1年生、福大1年生に伝えたいことを新たに授業計画の中に入れ込んでいった。

それゆえに、今回報告する2020年度版のプログラムが「福大生のためのキャリアデザイン」の完成版なのかといえば、そうではないかもしれない。しかし、対面授業でのプログラム内容を厳選し、かつ、2020年度の教育危機に対応したプログラムとして、むしろ2020年度のプログラムを報告すべきという結論に至っている。その判断の是非については、読み手に委ねたい。

第2部

教職協働による初年次キャリア教育の 開発と実施の諸側面

教職協働による初年次キャリア教育の開発と実施の諸側面

植 上 一 希¹

1. 第2部について

すでに述べてきたように、「福大生のためのキャリアデザイン」は教職協働で開発・実施してきたプログラムであり、また、初年次キャリア教育という特徴を持つ授業でもある。第2部では、この2側面にとくに注目しながら、プログラムの開発・実施過程のなかで見えてきた様々な論点・課題について「教職協働による初年次キャリア教育の開発と実施の諸側面」として報告する。

2. 教職協働と「福大生のためのキャリアデザイン」

初年次教育にせよ、キャリア教育にせよ、従来はなかなか教職協働の観点は導入されてこなかったが、それを導入しているのが「福大生のためのキャリアデザイン」の特徴の一つである。

藤野・渡邊は日本産業教育学会第59回大会自由研究発表（2018年）において、「大学・大学生の特性に対応した初年次キャリア教育プログラムの開発（2）－教職協働の契機と意義－」というタイトルで、福岡大学における教職協働の取り組みとしての「福大生のためのキャリアデザイン」の意義を報告した。ここでは、大会における投影資料を収録する。

また、植上と藤野は「福大生のためのキャリアデザイン」に協力していただいた複数の福岡大学事務職員に聞き取り調査を実施した。

植上は、講義担当者への聞き取りを主題として、「福大生のためのキャリアデザイン」発足当初（から）において、学生課の担当をしていただいた野田堅三さん、教務課の担当をしていただいた一瀬信介さん、就職・進路支援センターの担当をしていただいた假野陽介さんへの聞き取りと、2018年度からエクステンションセンターの担当をしていただいた北嶋太樹さんへのインタビュー調査を実施した。そのデータの分析について「福大生のためのキャリアデザインにおける教職協働の意義－職員へのインタビュー調査をもとに－」として報告する。

また、藤野はその他の様々なグループワーク等に参加

していただいた複数の事務職員の方への聞き取り調査を実施した。そのデータの分析について「事務職員（参加者）への聞き取り調査の分析」として報告する。

他方、教職協働は、TA や SA までも広くとらえていだろう。実際、「福大生のためのキャリアデザイン」では毎年、大学院生が授業補助員としてグループワークなどに参加し、自身の経験などを語る機会なども設けている。2018年度に自身がTA としてこの授業に関わった渡邊は、その経験もふまえて、その意義について「教職協働におけるティーチング・アシスタントの意義」として報告する。

3. 初年次キャリア教育と「福大生のためのキャリアデザイン」

先述したように、「福大生のためのキャリアデザイン」は初年次キャリア教育としての特徴を有している。

植上・白谷は日本産業教育学会第59回大会自由研究発表（2018年）において、「大学・大学生の特性に対応した初年次キャリア教育プログラムの開発（1）－初年次教育とキャリア教育の連結－」というタイトルで、福岡大学における初年次キャリア教育の取り組みとしての「福大生のためのキャリアデザイン」の意義を報告した。ここでは、大会における投影資料を収録する。

また、他大学でのキャリア教育との比較検討も必要であろう。その一作業として、渡邊がまとめた「他大学のキャリア教育」も掲載する。

¹ 福岡大学 人文学部

大学・大学生の特性に対応した初年次 キャリア教育プログラムの開発 (2)

— 教職協働の契機と意義 —

藤 野 真¹
渡 邊 晶 帆²

本報告の要点

- ・ 福大生のためのキャリアデザインでは、新しい「社会（直近では、大学。将来的には卒業後の社会）」に移行すること、移行する「社会」を理解することと移行の訓練に力点をおいている。
- ・ まず理解すべき大学という「社会」を教員、大学職員、TAといった複数の主体によって描き出している。教職協働により実施している。
- ・ 大学職員の授業への参加は、大学職員のキャリア形成に寄与している。
- ・ TAは授業の中で研究・職務経験を積んでいる。

教職協働 (1)

大学設置基準の大綱化 (1991年)

大学職員は教員とのよきパートナーシップを構築し、大学運営にとって積極的な役割を果たす存在であるといった新たな考え方に置き換えられるようになった（大学審議会答申1995、中央教育審議会答申2008）。この新たな大学改革における中核的な取り組みとして注目されるようになったのが「教職協働」である。

教職協働 (2)

教職協働のあり方としての「車の両輪」論

「教職協働」は、「車の両輪」に特徴付けされ、教員と大学職員が対等な関係に基づき、教員は教員の仕事と役割を、大学職員は大学職員の仕事と役割を果たすことを通じて大学運営を協働して行うことを意味している（松下1992、今田2008）。

福大生のキャリアデザインは教育における教職協働の一つの取り組みである。

福大生のためのキャリアデザイン (1)

福大生のためのキャリアデザイン

- 導入教育であると同時にキャリア教育。
- 新しい「社会」への参入と定位の理解と訓練。
- 参入・定位する「社会」を描き出す
- 大学教員・大学職員・TAといった複数の主体で「社会」を描き出そうとしている。

福大生のためのキャリアデザイン (2)

福大生のキャリアデザインでの描き出し方

- ・ 大学教員 = 正課教育と教員視点からの大学
- ・ 大学職員 = 正課外教育と職員視点からの大学
- ・ TA = 少し先を行く人としての立場からの大学
- 複数の主体によって大学を描き出している。

複数の主体により大学を描き出す (1)

大学教員が「大学を描く」とき担っていること

- ・ 大学の大量化のなかで学生が「学問」志向ではなくなっている現代において、専門の領域を超えて「学問」へと引きつけることを担っている。学問へ引きつけて、そのあとに専攻する学問領域に踏み込んでいくというステップを作ること。
- ・ 中等教育で身につけた勉強のあり方の「アンラーニング（学習棄却）」を行うこと。

複数の主体により大学を描き出す (2)

大学職員が「大学を描く」とき担っていること

- ・ 正課外を描き出す。教務課・学生課・HDセンター・就職進路センターにより、正課外活動を描きだすこ

¹ 福岡大学 商学部

² 福岡大学大学院

と。-第5回：教務課、第9回：学生課・HDセンター、第11回：就職・進路支援センター

- ・卒業後の「社会（とくに労働世界）」を描き出すこと（薬学部事務室・地域ネット・人事課・企画課・大学院事務室）。-第14回：「ネガポジダイアログ」

複数の主体により大学を描き出す（2-1）

複数の主体により大学を描き出す（2-2）



複数の主体により大学を描き出す（3）

TAが「大学を描く」とき担っていること

- ・学生に近い存在として、授業内容に現実味をもたせる役割。進学前の状況や学生生活、キャリア選択に関して当事者として「翻訳」し、「補助線」を引く。
- ・福岡大学の卒業生というひとつのキャリアモデルとしての役割。九州・福岡出身であること、女性であること、多様な進学者が存在する中で不本意進学者であること、大学在学中にキャリア変更した学生、大学院生として。

複数の主体により大学を描き出す（4）

小括

- ・大学教員・大学職員の協働を通じ、正課教育・正課外教育の「意味付け」を行なっている。そして、それらを利用するステップを設計している。
- ・正課教育・正課外教育の射程（それらによる到達点）を提除する役割としてキャリア教育を授業に組み込んでいる。
- ・大学生になることという点に関して授業の稠密さをアップさせるために、大学教員・大学職員では不足している部分をTAが担っている。

教育を担う側の学び（1）

大学教員の学び

- ・自学部のことにはしか関わりを持つ機会がなかったが、この講義を通じ、他学部のこと、大学職員という社会、TAといった、福岡大学という「社会」に対する理解が深まった。
- ・福岡大学という社会への理解の深化が、大学教員（福岡大学の教員）としての役割・振る舞い方を再定義するきっかけになった。

教育を担う側の学び（2）

大学職員の学び

- ・自分の仕事を「社会」の中に位置づけるようになる。
- ・学生（福大生）の具体的な実像を知る。自分の仕事（とくにバックオフィス系の職員）の意味付けができる。
- ・こういったことを実現するには何が必要か考えるようになった。

教育を担う側の学び（3）

TAの学び

- ・大学院生のキャリアにつながる業務内容として。①研究者(大学教員)を志望する中で講義経験を経ること、②教職協働の取り組みにかかわること、③初年次キャリア教育の取り組みにかかわること
- ・大学院生の学習成果のアウトプットの機会として。自らの専攻で学んだこと(教育学)を活かすこと
- ・大学院生自身のキャリアを振り返る機会として。自らの「キャリアデザイン」を概念的に説明すること

教育を担う側の学び（3-1）

TAの学び（補論）

- ・TAを通してアウトプットの機会をもつことが、大学

院生の研究面においてもキャリア面でも有用である。
(活動そのものがフィールドに活かされる場合もあれば、アウトプットすることで研究にかえる場合もある。)

- ・出席チェックやレジュメ印刷・配布の業務のみならず、TAとして固有の役割を果たすことがやりがいになる。≒現状として、雑務のみのTAもあるが「学び」にはなりにくい。⇒実質的なTAの役割を問いただす必要がある。

本報告の要点

- ・福大生のためのキャリアデザインでは、新しい「社会（直近では、大学。将来的には卒業後の社会）」に移行すること、移行する「社会」を理解することと移行の訓練に力点をおいている。
- ・まず理解すべき大学という「社会」を教員、大学職員、TAといった複数の主体によって描き出している。教職協働により実施している。
- ・大学職員の授業への参加は、大学職員のキャリア形成に寄与している。
- ・TAは授業の中で研究・職務経験を積んでいる。

「福大生のためのキャリアデザイン」における教職協働の意義 — 職員へのインタビュー調査をもとに —

植 上 一 希¹

1. 「福大生のためのキャリアデザイン」における教職協働の意義の検討

(1) 「福大生のためのキャリアデザイン」における教職協働

「福大生のためのキャリアデザイン」では、大学という「社会」への参入・定位過程を学生のキャリア形成量の重要な契機として位置づけており、そして当然のことながら、福大生にとっての大学とは福岡大学という具体的な社会であるから、とくに重視されるのは「福大生になる」とことと「福大卒後のキャリア」との連結となる。

こうした福岡大学への社会化を見据えたとき、学生に対して提供される知識・技能・志向性は、当然のことながら正課教育についてのものにとどまるものではなく、正課外教育など大学教育全体を含むものとなるし、また、大学の構成員になるという観点から、大学を構成する様々なメンバーについての理解も必要となる。

こうした考えのもと、「福大生のためのキャリアデザイン」の設計において植上・藤野が重視してきたのが、大学教育を構成する様々なメンバーによる、福岡大学の資源や可能性の紹介である。たしかに、大学教員も初年次教育において一定の役割を果たすことはできるが、そこには限界がある。初年次キャリア教育を大学教員のみには任せるのではなく、むしろ、多様なメンバーに協力してもらうことで、福大生の社会化を促進するより効果的な初年次キャリア教育を実施できるのではないか。

そうした仮説から、「福大生のためのキャリアデザイン」においては、とくに学生にとって身近な部署の職員に協力を要請して、授業の構成についてのアドバイス、ゲスト講師の派遣、学生に有意義な情報の提供などを、毎年ご協力いただいていた。部署として、この授業に協力いただいていたのが、教務課、学生課、就職・進路支援センター、エクステンションセンター、HDセンター、教職課程教育センター、教育開発支援機構の各部署である（なお、その他の部署からも様々な形で職員の協力を得てきた）。

(2) 教職協働に対する学生評価の高さと大学教員側の自己評価

授業の特質から結果的に、教職協働が「福大生のためのキャリアデザイン」という授業で実現したことになったのであるが、幸いなことに、受講生からはこの点に関する肯定的な意見はとて多い。ここでは詳しくは紹介することはできないが、毎年の授業アンケート（FURIKA など）では、個別の部署や職員の名前を指摘しながらの肯定的な感想が多くあり、学生の授業評価という指標においては、「福大生のためのキャリアデザイン」における教職協働は一定の意義があることが確認できている。

また、教職協働の重要性を植上・藤野も、この「福大生のためのキャリアデザイン」を通して強く実感してきた。この授業の実施前までは、自学科・自学部のことを中心に福岡大学のことをとらえがちだったが、この授業を通して様々な部署の方々の業務の実態やそこの工夫、学生へのアプローチを知り、また職員の方々のキャリア形成の多様性を知るなかで、大学という組織の構造やメンバーシップ理解が広がり深まったと実感している。こうした理解は、大学教員、とくに福岡大学の教員としての役割・振舞い方を再定義する契機にもなった。本報告書では詳しく展開することはできないが、この点については改めて論じたいと考えている。

(3) 「福大生のためのキャリアデザイン」における教職協働の意義の検討—職員側の側からのとらえ方

では、教職協働のもう一方のアクターである事務職員（以下、「職員」）の側は「福大生のためのキャリアデザイン」をどのようにとらえているのだろうか。本稿の課題はこの点の分析である。

本稿では、「福大生のためのキャリアデザイン」に深く関与してきた4名の職員へのインタビュー調査をもとに、上記の課題解明を行っていく。

インタビュー調査の対象は以下の4名である。

¹ 福岡大学 人文学部

- ・野田堅三氏：学生課（授業協力時の所属）
- ・一瀬信介氏：教務課
- ・假野陽介氏：就職・進路支援センター
- ・北嶋太樹氏：エクステンションセンター

インタビューは1人当たり40分—1時間程度で、半構造化インタビューの形式を採用した。

インタビューでは大きく分けて、2つの知見を得ることができた。第1が、職員側の「福大生のためのキャリアデザイン」の位置づけに関する考え方。第2が、職員側の「福大生のためのキャリアデザイン」の意義づけに関する考え方である。

以下ではこの2つの要素を、インタビュー対象者の語りを適宜引きながら、検討していく。

2. 職員側の「福大生のためのキャリアデザイン」の位置づけ

職員側は、「福大生のためのキャリアデザイン」に関与するにあたって、部署として、また個人として、当初どのような位置づけで臨んだのであろうか。

インタビューでは、学生へのアプローチの機会という点と、教員の関係向上の機会という点を、4人とも強調していた。この2点に焦点を当ててみていこう。

(1) 学生へのアプローチの機会として

「福大生のためのキャリアデザイン」への関与にあたり、インタビュー対象者らが共通して述べていたのが、学生へのアプローチ機会としての位置づけである。たとえば北嶋氏と假野氏は次のように語っている。

北嶋：（エクステンションセンターは）基本的に興味がある学生が、大前提。何か資格とか、何かしたいっていう学生が来るので、もう最初から興味づけというか、そこっていう部分はもうクリアされている段階で説明をするので、全く知らないよっていう学生に対してっていう機会というのは、すごい、ないこと。（中略）

実際に話すことがあったとしても、1対1でしか話す機会というのはほとんどなくて、という現状がある中で、実際にこのキャリアデザインでは、1対マス、100人以上の規模で話す機会があったというのは、かなり大きな変化かなというふうに思います。で、1対マスになって、なおかつこちらから好きにアピールができるっていう部分は、大きいかな。

假野：就職センターのイベントって、みんなが聞こうと思って来ている人が多いんで（中略）。ゼミに呼ばれて行ったりすると、もう本当にいろんな、興味ある人もい

れば、もう全然興味ない人もいるみたいな、いろんな学生がいるんで…。

普段の業務ではどうしても一部の学生へのアプローチにとどまってしまうし、多様な学生にアプローチする機会も作ることに限界がある。そうしたなかで、正課教育という場合は、学生へのアプローチの機会として位置づくと、職員らは認識しているのである。

くわえて、「福大生のためのキャリアデザイン」が1年生を対象とした授業であることも、職員らは重視している。その点について、たとえば假野氏は、以下のように述べている。

假野：われわれとしても3年生以降の支援が大体、業務の中心にはなってるんですけど、そこから何か学生に言っても、もう間に合わないみたいなのが、何もしてない、ただ単純に生活してるっていう子にとっては間に合わない。（中略）

やっぱり低学年の授業というか、（中略）1年生すごい大事だになっていうところが、うちとしてはあって…。

だからこそ、1年生に焦点を当てるこの授業で、早い段階からの意識付けする機会として、この授業をとらえていたという。

また、一瀬氏、野田氏は福岡大学に慣れていく、資源を活用していくといった視野や、大学生としての心構えを1年生から身に付けていくことの重要性を述べたうえで、この授業の位置づけを次のように語っている。

一瀬：大学の授業にとにかくすべて参加しなさいっていうことと、いろんな設備とか施設をちゃんと使えば、いろんなサービスを今、展開してるんですよって（中略）。正課でなかなかカバーできない部分をというところだったので、どちらかというところ、こういうふうな初年次の教育を充実させるところに教員ではなくて職員が関与できれば…。

野田：（1年生に対して伝えることとして）「つまりかからないように」っていうのがコンセプト。「福大はいいところぞ」っていう、愛校心を芽生えさせる。あと「困ったことがあったら、いつでも相談来いよ」と、この3本柱です。

このように、職員らが自分たちの役割をより積極的に果たす、学生にアプローチしていくための機会として、「福大生のためのキャリアデザイン」を位置づけていたというのがまず第1のポイントである。

(2) 教員との関係向上の機会として

一方で、インタビュー対象者の語りからは、こうした授業での協働を通して、大学教員との関係向上をはかる意図があったこともうかがえる。

たとえば一瀬氏は、「(教員と職員が)補完し合う関係ってものの、どうしても作りたい」という思いから恒常的に教員らの研究・専門分野などを調べるなどの努力を積み重ねてきたという。そのうえで、「福大生のためのキャリアデザイン」のような授業は「教育の中で、正課の中でプロジェクトみたいなものが作れば、一番(協働として)入りやすい」という観点からも望ましいものとして位置づけられている。

また、野田氏は大学教員としての関係作りについて「いろんな業務を通じた先生との関係性の構築ってものにはものすごく力を注ぎましたし、労力使いました」と述べたうえで、「授業しながら、先生との関係性を縮めるきっかけになるな」という思いを持っていたという。

假野氏、北嶋氏も含めて4人の語りにも共通するのは、大学における教職協働の重要性であり、その際、まずそのステップとなる大学教員との関係づくりだということ。教員とともに取り組むことができる「福大生のためのキャリアデザイン」のような授業は、その契機として位置づく職員側はとらえているといえよう。

3. 職員側の「福大生のためのキャリアデザイン」の意義づけ

では、実際に「福大生のためのキャリアデザイン」を実施して、そこでの教職協働について、職員側はどのような意義を感じているのであろうか。

インタビューでは、①学生へのアプローチについての省察、②教員・授業観の変化、③職員の能力開発、という点でその意義が語られた。この3点についてみていこう。

(1) 学生へのアプローチについての省察

まず、共通して語られていたのが、学生へのアプローチについての省察が深まったという点である。たとえば、一瀬氏や北嶋氏は、今までとは異なる学生へのアプローチを試みるなかで、アプローチの仕方や、自身の仕事を振り返ることとなったと語っている。

一瀬：こういうふうな授業を持たせていただくことで、改めて本当に学生にどうアプローチ、どう指導していくかっていう一つの側面を作るきっかけにもなる。自分の部署のことを自分の業務だけをここでやっていた職員が結局いろいろ広く学内のこと、学外のことっていう。また来る学生さんの層もしっかりと分析できる。

北嶋：(エクステンションセンターに興味を持たない学生に対してアプローチするために)、やはり興味づけ、自分の話を聞いてもらう必要があるっていう中で、まずそこをしっかりと、この人の話聞きたいなと思ってもらえるような構成から、パワーポイントを作るようになっていうのは意識づけしていました。(中略)

(そうした)機会を通して、エクステンションセンターの役割づけとか意味づけってものを改めて考え直す機会になったので、全くしなかったら、なかなかそういう機会ってというのが、自分の仕事っていう部分でやっぱり完結してしまうと思うので、すごく良い機会だったなというふうには思います。

普段接することのない学生に対して、自分たちの業務を伝えたり、その支援に興味や必要性を持ってもらう。なかなか、普段の業務には入ってこない、アプローチをあえて試みることによって、自身の仕事を省察することもできるし、従来の学生対応の在り方も省察することができる。そのような機会になると、4人は共通して語っていた。

そして、こうした授業を通して新たにできた学生とのつながりや学生観の変化も、職員らのエンパワーの源ともなるという。たとえば野田氏や北嶋氏は、「福大生のためのキャリアデザイン」をきっかけとして、学生課やエクステンションセンターの取り組みに参加する学生が増えたことを肯定的に語っている。

この点に関して、1年生と授業で向き合うなかでの学生観の変化やつながりについての假野氏の語りを引いておこう。

假野：変わったというか、1年生ってやっぱりいいなというか(笑)。これはサブゼミも、この授業もそうなんですけど、何かきらきらしているというか、前向きなというか。うちで今年度から、4月に1年生の就職ガイダンスっていうのもやりだしたんですけど、そこ見ているもそうだったんですけど、1年生ってすごい。(中略)

(だから)そこでこちらが間違うと、もう間違っちゃうなっていうのがあって。(中略)あんなきらきらしてた子が、みたいなことも、正直起こっちゃうなっていうので、やっぱり1年生がすごい大事なんだなっていうのは、この授業も通してですけど、すごい思いますね。(中略)

実は、先生の授業におじゃまして話していた、ちょうどここ(正面)にいた、すごい一生懸命聞いてた男の子がいて。たまたまその辺で会って、こんにちは一って言われて…。工学部の機械工学科の子なんですけど、授業に案内に行ったときに、一番また前に座ってて、「おお、おった」みたいな感じで、そういうつながりが、たまたま彼がそういう明るい積極的な性格っていうのもあるん

でしょうけど、そういう大学内で顔見知りというか、話し合えるような関係ってというのは、ずっとあるといいなと思いますね。

(2) 教員・授業観の変化

インタビューのなかで4人が強調していたのが、授業準備の大変さや授業における学生への対応の難しさという点であった。そうしたなかで、実際に授業準備をしたり、学生対応をする教員側への認識も新たになったという。たとえば、北嶋氏は以下のように述べている。

北嶋：正直1コマ、1コマもやってないと思うんですけど、1時間ぐらいだと思うんで、正直かなり大変だったなというふうに思いました。それを考えると、先生方は大体15コマですかね。(中略)15コマ、体系的に教えているということを考えると、すごいことだなというふうに、率直に私は思いました。(中略)

学生が、その1時間バイトしとったほうがいいやというふうなもの以上の価値は、やはり提供しないといけないなと思っていたので、それを日頃から先生方がされていると思うと、大変だなと正直思います。

また野田氏は学生への対応の仕方、教員との共通点を見出すことができ、教員との対応の仕方について考える機会になったという。

野田：学生さんに対するこういう授業とか話とか接し方とかも一緒だと思うんです。それが先生方は一緒なんだから気づけたところはうれしかったですし、またしたいなって思った次第ですね。(中略)

ためこんでもいかんし。思ったことは一度先生に投げかけるべきだなと思いましたし。しかも今日もそうですけど、1回これ先生と話したから、こうあるべきとかそういうものではなくて、また今度お会いしたときに、先生こんなもいいんじゃないですかとか、先生もこうやったらだめだったよとかそう聞く中でまたマイナーチェンジしていったりとか(できると思います)。

このように、実際に授業において教員と職員とが協働することによって、職員側からの教員側への理解が促進される。そうした意義づけを職員側がしていることがわかる。

(3) 職員の能力開発

こうした意義を実感する中で、各部署の中でも「福大生のためのキャリアデザイン」を実施することが、職員側の能力開発の機会となるという認識が深まってきたと、一瀬氏、假野氏、野田氏は語っていた。該当する語りをそれぞれ引いておこう。

一瀬：授業の中に入れていただくっていうこと自体は、私個人としては今後はありかなと思うんです。逆に若い職員とかもこういうふうなことを経験させることで、自分の課をより深く知ってということと、学生に対してのアプローチを一つ、自分の中に決めてもらえるっていう部分もある。

假野：自分の部署とか自分のことを話すこともあるんで、もちろん自分の業務の振り返りだったり、(中略)やっぱしゃべる、アウトプットすると、どうしても、ちゃんとやらないといけないなと思います。(中略)事務職員がしゃべる機会ってというのが限られてるんで、こういう機会に準備して臨むってというのは、職員にとってはすごいいい機会になる。

野田：多分職員それぞれの性格、タイプだと思うんですね。話が上手でないと、好きじゃないとできないと思いますし、やっぱり上がる方もいますし、そういう意味で事務職員の成長の場というか、関門の一つというか、これを越えないと成長もないっていうぐらいの位置づけにこの授業をしていけばいいと思っています。これって職員研修の一環に入れてしまえばいいなと思っています、ゆくゆく。

正課教育の授業自体を、職員の能力開発の場所として意義づける。これも教職協働の1つの成果となりうるだろう。もちろん、野田氏らが言うように、まだ明確な位置付けがなされているわけではないが、授業における教職協働という営みは、原理的にはOJTの場面になりうるだろう。

4. おわりに

本稿では、教職協働のもう一方のアクターである事務職員(以下、「職員」)の側は「福大生のためのキャリアデザイン」をどのようにとらえているのだろうか、という問いの解明を目的として、4人の職員へのインタビュー調査をもとに、検討を行ってきた。4人のインタビュー調査からは、「福大生のためのキャリアデザイン」における教職協働について、位置づけならびに意義づけにおいても、概ね肯定的な評価がなされていることがわかった。

もちろん、本稿の分析には限界が多い。調査データは4人と少数であり、より多くの関係者へのインタビュー調査なども必要となるだろう。また、分析にあたってより適切な分析枠組みを構築していく必要があるだろう。たとえば、インタビューのなかで、一瀬氏が述べていたように、教職協働のあり方は多様であってよいし、また本来的に教職協働のあり方を考えるためには、事務職員

の専門性と大学教員の専門性についての本格的な議論も欠かせないであろう。こうした検討については今後の課題としたい。

ただし一方で、4人が共通して、「福大生のためのキャリアデザイン」のような教職協働の取り組みをもっと広げていくべきだ、と強調していた点は、大学における、そして福岡大学における教職協働を考えるうえで、注目すべきことだと考える。こうした方向性のうえで、私たち教員側も、研究面でも実践面でも、教職協働の取り組みを促進していきたい。

教職協働におけるティーチング・アシスタントの意義

渡 邊 晶 帆¹

はじめに

本章ではこれまで「福大生のためのキャリアデザイン」における教職協働の取り組みについて、大学教員・大学職員の双方の役割について分析されてきた。しかし本講義に関わるアクターのひとりとして授業補助員であるティーチング・アシスタント（以下、TA）も参与して、授業を運用するにあたって重要な役割を担っている。そこで本節では教職協働におけるティーチング・アシスタントの役割について、授業実践をもとに整理していく。

1. 教職協働において TA に着目する必要性

教職協働とは「教員と職員とが目標を共有しつつ協働して業務を遂行すること」（山本、2011）であり、近年教職協働による教育実践の知見が蓄積されつつある。その中で登場する主要なアクターとして教員・職員があげられるが、本稿では「複数の教育主体が大学教育に参与する」という意味で、大学院生による TA の存在に着目したい。

今回 TA に着目する背景について、2つの観点を示す。

第一に、「学修者本位」の大学教育を目指す中で、教育者（教職員）と学修者（大学生）の橋渡しをする役割の必要性があげられる。2018年中央教育審議会答申「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン」では今後の高等教育において「学修者本位の教育への転換」の必要性が提起されており、多様な教育主体による教育体制の構築が求められている。その中で、授業をサポートする役割を担う TA は、より学生に根差した教育を展開する中で活用可能性を秘めていると考える。TA は各大学の設置規則によってさまざまな業務が考えられるが、学生の理解度を高めるために授業内容の補助線を引くという意味で TA が担いする役割の効果は高いことが予測される。

第二に、教育界においてアクティブ・ラーニングが要請される中で、チーム・ティーチング体制で授業をお

こなす必要性があげられる。アクティブ・ラーニング（主体的・対話的で深い学び）は2020年度以降実施される新学習指導要領の中核的概念のひとつで、知識基盤社会において必要な課題発見・問題解決能力の育成のために必要な観点として位置づいている。アクティブ・ラーニングを目指した授業実践のひとつにグループワークがあげられるが、議論をファシリテーションするにあたって対応できる学生数には限界がある。小中高等学校において学級規模縮小や教員配置の増員についてかねてから要請されているが、大学においても大規模一斉授業がおこなわれている中でチーム・ティーチングの導入が求められるだろう。そこで、大学においてアクティブ・ラーニングを進める中で TA を含めたチーム・ティーチング体制で授業づくりをしていく必要性は高いと考えられる。

以上に示したような学生の学びの一端を担う存在としての TA の意義について、本節では「福大生のためのキャリアデザイン」における実践に基づいて整理することを目的とする。

2. TA の業務内容

北野（2006）によれば、日本における TA 制度はアメリカにおける TA 制度を模して導入されているが、日本の TA は教育活動の補助的な業務を担っているのに対してアメリカでは単独で授業をおこなう場合がほとんどであるという。

日本における TA の意義について荻谷（2000）は以下の4点を指摘している。

- ① 大学教員の指導・管理の下で、TA が授業改善に何らかの形で貢献すること
- ② TA が教授能力を磨くことによって大学教員になるための訓練・準備の機会となること
- ③ 大学院生にとって財政援助の側面を有すること
- ④ 大学の財政面においてもコスト削減に貢献していること

加えて、1991年大学審議会答申においても「平成5年度以降の高等教育の計画的整備について」においても「教

¹ 福岡大学大学院

員の教育活動を補助し、学生に対するきめ細かな指導を行うためには、ティーチング・アシスタントの積極的な活用も期待される」と明記されている。以上のことからTAは大学教育の一端を担う存在であることがわかる。

しかし実際のTAの活用方法は大学によって幅広く、基本的には科目担当教員に用途が一任されているため、荻谷が「知的皿洗い」と表現するように、研究の時間を割いて従事するに値しない場合も十分に考えられる。たとえば、学生との関わりが一切持てない事務的業務に終止したり、TA自身の研究に直結しない授業に対して研究活動に支障が出るレベルでの業務を担ったりすることが考えられる。この点については各大学・担当教員が配慮すべき課題であろう。

福岡大学では業務内容について16項目（授業科目13項目、授業関連外業務2項目）に区分されていて、勤務時間は上限200時間、1日8時間以下・週20時間未満と定められている。授業時間内業務としては「講義・実験・実習・実技・演習等の教育補助」と「授業環境整備」の2つが定められていて、授業時間外でも可能な業務として、授業に際する教材作成等の準備作業や、学生への指導補助・アドバイス、小テスト等の整理・採点補助などが設定されている。

3. 「福大生のためのキャリアデザイン」におけるTAのかかわり方

前項ではTAの業務内容についてつかむために概説をまとめたが、本稿では特に「福大生のためのキャリアデザイン」においてTAが果たした役割について整理する。

(1) 教育補助員としての役割

「福大生のためのキャリアデザイン」におけるTAの業務について、授業の展開に対応して以下のように分けることができる。

- ① 授業冒頭において、前時に回収したコメントシートの意見・質問への応答
- ② 授業中のグループワーク・個人ワークのファシリテーション
- ③ 授業中の学生の迷惑行為（私語・居眠り等）への対応
- ④ 授業中盤・終盤の補足説明
- ⑤ 授業後のコメントシートの回収・内容チェック、担当教員への伝達
- ⑥ レポートの提出状況の把握、担当教員への伝達

加えて、前期の授業が開始する前に一度担当教員と共同で会議をおこなって授業の到達目標や授業計画を確認するとともに、必要に応じてゲストティーチャーとなる大学職員との打ち合わせに同行したりしていた。また、

第2回には学生にノートテイクの方法を示すためにリアルタイムで授業ノートを作成し例として提示したり、第15回の講義内でおこなった定期試験類題への回答例を提示したりした。

以上のような業務は、授業を運用するうえで必要不可欠とまでは言えないが、授業をより良いものにする工夫として位置づいている。特に①②④については、教員が伝えようとしていることを学生の理解度に即して伝達する橋渡しとして、より学生に近い存在であるTAの特性を活かせる場面であるといえよう。

(2) 2018年度 第8回講義「先輩に聞く大学生生活の送り方、大学での学び方」への参加

前項のような教育補助員としての業務のほかに、筆者の福岡大学卒業生という立場を活かして、複数の在学生・卒業生をゲストスピーカーに招いて開かれた講義に、登壇者の一人として参加した。この時使用したパワーポイント資料については別途掲載している（著作権の関係上、使用したイラストについて一部加工している）が、福岡大学を卒業して研究者を目指しているひとつのモデルとして、自身がどのような大学生生活を送り、キャリア選択をしてきたのか報告した。

この講義ではTAとしての通常業務を一部縮小して参加したが、他の登壇者と異なり、授業内容と到達目標をかなり意識した構成にした。特に筆者が意識的に組み立てた点として以下のポイントがある。

- ① 全15回の講義で貫かれている「進学前」「在学中」「卒業後」の時系列に即して構成する
- ② 「大学の学び」という点を意識して正課教育を主要なキャリア選択要因として取り上げる
- ③ 「キャリアデザインの多様性」（2018年度シラバスより）に対応するテーマを設定する
- ④ 履修者の学習状況を考慮して、「不本意進学」等の既出の用語を用いる

これらの点については担当教員から特段の指示は受けていなかったが、授業の到達目標や学生観に根差した報告内容の構成は、TAとして全講義に関与しているからこそ意識できた点である。「福大生のためのキャリアデザイン」のような正課内キャリア教育に、年齢的・発達段階的に学生に近い存在であるTAが参加する有効性のひとつを示すものとして、この講義における筆者の活動は位置づくのではないだろうか。

4. 教職協働においてTAが関わることの効果

以上の「福大生のためのキャリアデザイン」におけるTAの役割を踏まえて、以下ではTAが教職協働の取り組みに関わることの効果について整理する。

(1) 教職員と学生の橋渡しとしての効果

これまでの実践の整理を通して、「複数の教育主体によって構成する」という意味での教職協働において TA のもたらした効果とは何だろうか。

前項でまとめた本講義における TA の業務のうち、特に①の前の授業内容の振り返り・質問への応答と④の授業内容の補足説明が象徴的なように思われる。

前回の授業内容の振り返りにおいては、学生が異なる解釈をしている場合は修正したり、より具体的な事例を紹介して学生の理解を促したりしている。これは、学生の理解度を高めるために、学生視点にたつてどのような点がわかりにくかったのか、教員の説明をどのようにかみ砕けばわかりやすいか、と言った点を意識して応答している。また、授業中の補足説明においても同様に、授業内で用いられた概念を具体的な事例にたとえて説明したり、前回までの授業と関連付けて整理しやすいようにしたりなどを意識的におこなっている。職員をゲストティーチャーに招いた講義については、学生時代このように当該機関を活用していた等の経験談を織り交ぜることによってイメージしやすいように心がけていた。このような業務は、教職員の言葉を「翻訳」して学生とつなぐ役割を果たしていたと考える。

(2) 卒業生としてキャリア教育の現実味を高める効果

次に、教職協働でおこなわれているキャリア教育実践において、TA が携わることによる効果についてまとめた。「福大生のためのキャリアデザイン」は福岡大学の1年次生を対象としたキャリア教育に関する科目である。その中で TA が果たした役割は大きく2つに集約できる。まず、キャリア教育実践の中で発せられるメッセージを、学生を取り巻く現実に即して言い換えたり留保をつけたりするような「調整者」としての役割があげられる。そして、TA 自身がキャリアモデルのひとつとして、より具体的なアドバイスや経験談を伝達するという「メンター」としての役割もある。このように学生に対してよりリアリティのある具体的な存在として、本講義における TA が位置づくのではないだろうか。

5. 大学教育・教職協働に大学院生が携わる意味

ここまでで授業づくりにおいて、教職協働やキャリア教育に TA が携わる意味を整理してきた。しかし、2. で示したように、TA 自身もメリットを感じられなければ「大学院生の学び」としての TA は意味を持たない。以下では、補論として大学院生が TA として大学教育・教職協働に携わる意味についてまとめる。

まず、大学におけるキャリア教育に携わることによって、大学院生が自身のキャリア形成について振り返り、今後の展望を描くことができるということである。特に

学部生のキャリアモデルのひとつとなることで、大学院生が大学における学びを振り返り、今後どのように専門的知識・技能を生かして労働に従事するか具体的に考えることができると思う。

次に、研究者として自身の学修成果のアウトプットの場として TA としての業務に当たることができるということである。特に筆者の場合は、教育学・青年期教育を対象として研究を進める中で、自らの学問的知見をアウトプットする場のひとつとして本講義は機能していた。

さらに、大学院生が今後大学教員として大学教育に携わることを考えると、教育実践に関わった経験自体に意味があるといえる。特に、「福大生のためのキャリアデザイン」では、今後さらに機運が高まることが予測される教職協働の営みやキャリア教育実践に関わることは、今後、教育者として大学に参加していく中で有用な経験であろう。

おわりに

これまで、教職協働における TA の意義について、年齢的にも発達段階的にも近いという観点から整理した。しかし TA 研究としては課題が多く、福岡大学は大学院を擁する大規模大学で人材に比較的余裕があるということや授業担当教員との密接な関係性が構築できていたこと、TA として幅広い業務が許容されていたこと等は留意する必要がある。本稿でとりあげたような、TA が大学における教育活動において果たす役割が認識されることで、より多くの教育主体による多様な大学教育のデザインが可能になれば幸いである。

参考文献

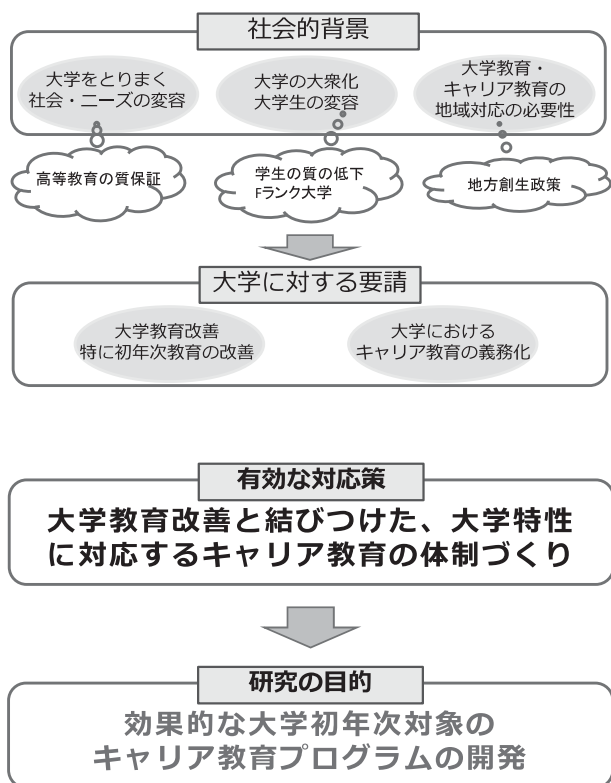
- ・ 苅谷剛彦『アメリカの大学・ニッポンの大学—TA・シラバス・授業評価』玉川大学出版、2000年
- ・ 北野秋男編著『日本のティーチング・アシスタント制度—大学教育の改善と人的資源の活用—』東信堂、2006年
- ・ 文部科学省「ティーチング・アシスタント (TA) について」
https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo4/003/gijiroku/07011713/001/002.htm#top
最終アクセス日：2020年8月30日
- ・ 山本真一「教職協働は大学の特性に応じて—役員・教員・職員調査結果からの示唆—」『アルカディア学報』No. 464、2011年

大学・大学生の特性に対応した 初年次キャリア教育プログラムの開発 (1)

—初年次教育とキャリア教育の連結—

植 上 一 希¹
白 谷 美 紗 樹²

■研究の背景



■研究の計画・方法

福岡大学 学習基盤科目 (初年次対象)
「福大生のためのキャリアデザイン」



アクション・リサーチ

■課題と方法

課題

効果的な大学初年次対象のキャリア教育プログラムを開発するにあたって必要な観点を、実践を通して獲得・確認し、プログラムの開発・改善を進めていくこと。

方法：アクション・リサーチ

研究者・調査者自身が、問題意識・課題意識のもと、具体的に事業・実践を計画・実施し、その効果や課題を検証し新たに理論構築を試みる。

■今までの研究成果

- ① IAVEG International Conference 2015
国際キャリア教育学会2015年大会シンポジウム
Assistance activities for the school-to-work transition from the standpoint of rural areas in Japan
(邦題：地方都市から考える日本の学校から労働市場への移行と支援)
(報告者：寺崎里水・植上一希・藤野真・丹田佳太)
地方型のキャリア教育の展開にあたっての論点提示
⇒地方大学においては、都市型のキャリア形成モデルを前提としないキャリア形成支援が必要であり、有効であることを指摘。
- ② 第66回九州地区大学教育研究協議会2017年
大学・大学生の特性に対応した初年次キャリア教育
(報告者：藤野真・植上一希・白谷美紗樹・渡邊晶帆)
大学の共通教育としての初年次キャリア教育の意義と課題

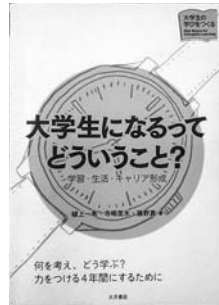
¹ 福岡大学 人文学部

² 福岡大学大学院

⇒今後、大学における共通教育の役割が変わるなかで、初年次キャリア教育が共通教育に果たす役割があることを指摘。

③テキストの作成

『大学生になるってどういうこと？－学習・生活・キャリア形成－』
(植上一希・寺崎里水・藤野真
大月書店、2014年)



■本報告の目的と構成

第1の目的：本報告が事例とする「福大生のためのキャリアデザイン」の概要の紹介。

⇒1. 「福大生のためのキャリアデザイン」の構成
～2018年度のプログラムをもとに

第2の目的：「福大生のためのキャリアデザイン」のプログラム開発・実施からみえてきた、とくに重要な2つの観点について提起。

⇒2. 大学・大学生の特性に応じたキャリア教育プログラム開発の必要性

⇒3. 「大学生になる」ことと「大卒後のキャリア」を結びつける観点の重視～「社会化」という観点

1. 「福大生のためのキャリアデザイン」の構成

2018年度のプログラムをもとに



第14回の授業の様子

2. 大学・大学生の特性に応じた

キャリア教育プログラム開発の必要性

(1) キャリア教育の画一性・抽象性 ⇔ キャリアの多様性・具体性

○大学におけるキャリア教育においてみられるものとして…

- ・抽象的・一般的なキャリア形成をモデル
- ・従来型のモデル（日本型雇用～「標準的キャリア形成」）
- ・都市部におけるキャリア形成をモデル



現在・将来の地方部におけるキャリア形成の多様性・具体性をふまえたキャリア教育の必要性

(2) 福岡大学生のキャリア形成の現実に対応するキャリア教育プログラム開発

○考慮すべきこと

- ・九州・福岡の労働市場の実態と学生のキャリア形成意識
- ・福岡大学に進学してくる学生、卒業生の社会階層
- ・福岡大学生に期待されている社会階層的視点

⇒プログラムについて

例) 第2回 進学要求について

第14回 福岡・九州で働く大人たちと会ってみる

3. 「大学生になる」ことと

「大卒後のキャリア」を結びつける観点の重視

(1) 「社会化」という観点について重視する

○定義

「個人が集団や社会の成員として適合的な行動様式を習得する過程」(『広辞苑』第7版)

「個人が他者との相互作用のなかで、彼が生活する社会、あるいは将来生活しようとする社会に、適切に参加することが可能になるような価値や知識や技術や行動などを習得する過程」

(渡辺秀樹「社会化」森岡清美・塩原勉・本間康平『新社会学辞典』有斐閣、1993年)

⇒初年次キャリア教育を開発・実施してうえで重要な観点として、「社会化」があるということを獲得・確認。

(2) 「社会化」という観点について重視する

○大学教育の基軸としての学術・学問と初年次教育・キャリア教育との関係について～正課教育として初年次キャリア教育をやる意味として

⇒「社会化」という概念を獲得して、自覚的に「社会化」を行う主体を形成すること

大学における初年次教育・キャリア教育を貫く観点になるのでは

授業例)

第1回「大学生になるってどういうこと」=大学という新しい社会に参入するということ

第4回「大学生活・大学での学習3～大学生の学びの特質」

=大学における学びの本質は言葉で世界を把握・認識するということ

(3) 「社会化」と初年次教育

○大学という社会に参入・定位していく自身を自覚化するという課題

・大学という新しい「社会」の多面性を認識するという行為 (第5回、第9回など)

- ・大学に参入する学生の多様性とそのなかでの自己について自覚化する（第2回、3回など）
 - ・大学への定位の在り方 大学教育・大学生生活の活用法（第7回、8回など）
 - ・そのなかでティップスや大学適応という要素も加えていく
- ⇒こうした学習を通して、「社会化」において不可欠な社会認識・自己認識能力を獲得する

(4) 「社会化」とキャリア教育

- 大学卒業後、学生たちが参入・定位していく「社会」
 - ・労働という「社会」について、その社会への参入の仕方、大学の活用法の認識
(第10回、12回、13回)
 - ・労働にとどまらないキャリア形成 様々な「社会」の選択・「社会的役割」の認識と自己認識
(第11回)
 - ・多様なキャリアモデルの認識と自己認識（第14回）
- ⇒「社会化」という観点からのキャリア教育の展開
「社会化」概念を用いてキャリアデザインすることの有効性を獲得する

(5) 「大学生になる」ことと「大卒後のキャリア」の連結

- 大学における初年次教育とキャリア教育を結びつける観点として「社会化」
 - ⇒「社会化」という概念を獲得して、自覚的に「社会化」を行う主体を形成すること
- それらを抽象的な作業ではなく、「福大生になる」「福大卒後のキャリアをデザインする」
 - という具体的で必要性も高い課題に沿って、実践的に実施していくことの意義と効果

まとめと今後の課題

- 本報告の結論
 - 初年次キャリア教育プログラムの開発に際して必要な観点
 - ①大学・大学生の特性に応じたプログラム開発
 - ②初年次教育とキャリア教育を貫く観点としての「社会化」
- 今後の課題
 - プログラムの効果についての検証
 - 「社会化」という観点を用いたプログラム開発のブラッシュアップ

他大学のキャリア教育

渡 邊 晶 帆¹

はじめに

本項では、本学のキャリア教育について整理するうえで、他大学においてキャリア教育の実践事例について整理する。

今回扱う事例については、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(2014)が厚生労働省の委託を受けて選出し調査した先導的な事例を参考に、各大学の2020・2021年度の大学案内や学部パンフレット等を参照する。

1. 法政大学による各学部に対応したキャリア教育

法政大学は日本で初めてキャリアデザインを専攻とする学部を設置した大学である。キャリアデザイン学部では、発達・教育キャリア、ビジネスキャリア、ライフキャリアの3領域に対応したスタッフが配置されており、専任教員によるキャリア支援がおこなわれている。

中でも、全学的におこなわれているキャリア形成支援の特徴としては、1年次の教養科目としてキャリア関連科目が履修でき、そのうえで多くの学部・学科において、学習内容に対応したキャリア教育に関する科目が設定されているという点である。

まず、教養科目の中で「キャリアデザイン入門」(春学期開講)と「キャリアデザイン応用」(秋学期開講)の2科目が開講されていて複数の教員から選択できるようになっている。これらの科目は1年次から受講でき、複数の教員によって通年にわたって履修できるという点が特徴である。それに加えて、各学部に対応した関連科目を設定していて、「文学部生のキャリア形成」(文学部)や「キャリアデザイン」(理工学部・生命科学部)などのように、年次が上がるにつれて個々に対応したキャリア教育に関する科目が置かれている。学部によってはインターンシップを単位化している科目もあり、それぞれの専門性に応じたキャリア教育がおこなわれていることがわかる。

また、各キャンパスで設置されているキャリアセンターでは、学部教育との連関はさほど顕在化しておら

ず、独自に就職活動に有用なセミナー等を随時開催している。

2. 広島大学によるキャリアデザインセンターを主体としたキャリア教育

広島大学は、全国の国立大学に先駆けて全学的なセンターを1998年に設置した。現在は、グローバルキャリアデザインセンターとして改組しており、専任教員を置いている。このグローバルキャリアデザインセンターを中心としてキャリア教育科目の開講から各種セミナーの開催までおこなわれている。

広島大学の特徴としてあるのは、教養科目として1年次から履修できる科目の多さである。2020年度の時点で、6科目が開講されており、講義形式のものから個別対応を基本とするもの、インターンシップを取り入れているものまで幅広い。また、「大学教育入門」という講義では、学生生活にかかわる具体的なトピックを扱うことを通して、キャリアデザインに必要なスキルの獲得が目指されている。

キャリア教育科目の授業内容は、「社会人基礎力」等のスキルに関する知識を深めるものが多く、実務家教員の講話を中心としたものも複数あることから、産業界の要請に即した内容を展開しているものが多い。加えて、インターンシップを1年次から体験できることなどからより就職支援の色合いが強い授業となっていることが推測される。そして3年次生以上になると、就職活動を具体的にサポートするプログラムが、正課外でスタートする。

3. 九州産業大学の正課内外での統合的なキャリア教育

九州産業大学では各学年に応じたキャリア教育科目・セミナー等が設定され、段階的なキャリア教育がおこなわれている点が大きな特徴である。基礎教育センターにて専任の教員を置いており、キャリア支援センターが提供するセミナーとの関連を意識したプログラム構成をし

¹ 福岡大学大学院

ている。1・2年次にはキャリア教育支援として「キャリア形成基礎論」と「キャリア開発論」、3年次にはより就職支援の色合いを強めた「キャリア形成戦略」を開講して、就職活動や卒業後の就労をより良いものにすることを念頭に授業が構成されている。その他、キャリア支援センターでも細分化された多種多様なセミナーが開かれていることから、正課内外においてキャリア形成支援がおこなわれていることがわかる。

三菱UFJリサーチ&コンサルティング(2014)によると1年次開講の「キャリア形成基礎論」の受講率は94%と高く、就職活動の動向や産業界の要請等の直接的に就職活動に関わるような概要の理解に加え、大学での学びとの関連も意識させながら、「就職が決定する学生生活」を送ることができるということを到達目標としている。2年次開講の「キャリア開発論」以降は、就職活動でも必要となるグループワーク等に慣れていきながら、方法論について学んでいくという。

ここまで、実施主体別にわけて他大学のキャリア教育について整理してきた。ほかにも扱いきれていない実践事例があることは言うまでもないが、これまでの整理を通して大学のキャリア教育の運用にはいくつかのタイプがあることが推察される。

- ① 実施主体の違い（正課での学部担当教員／正課外でのセンター職員／正課内外融合型）
- ② 就職活動への向かい方の違い（過程・内容論重視／結果・方法論重視）

②の点については、本項で扱った大学については系統的にキャリア教育プログラムを構成する中で徐々に結果・方法論重視に移行するケースが多かったが、両輪でおこなわれている可能性もある。たとえば、法政大学のように学部教育と正課外教育の連携が明確でない場合、正課外教育において方法論を重視したレクチャーが中心となり、その分学部教育ではよりキャリア形成のプロセスを重視した構成になる可能性がある。したがって②については、学年に応じて移行する場合と両輪でおこなわれる場合のパターンが考えられる。

〈参考資料〉

- ・三菱UFJリサーチ&コンサルティング「厚生労働省委託 大学におけるキャリア教育プログラム事例集」
2014年

業 績 一 覧

<著書>

植上一希・伊藤亜希子編著、2018、『日常のなかの「フツー」を問いなおす－現代社会の差別・抑圧』、法律文化社

植上一希・寺崎里水編著、2018、『わかる・役立つ教育学入門』、大月書店

百田義治監訳・解説、2019、『CSRの終焉』、中央経済社

佐々木英一・吉留久晴編著、2020、『職業教育研究の諸相』、溪水社

<論文>

植上一希・丹田佳太、2020、「地方圏における専門学校の取り組みと学生の学びに関する一考察－NSG カレッジリーグへの訪問調査から－」福岡・東アジア・地域共生研究所『地域共生研究』（7号）、22ページ

<学会発表>

植上一希・白谷美紗樹、2018、「大学・大学生の特性に対応した初年次キャリア教育プログラムの開発（1）－初年次教育とキャリア教育の連結」、日本産業教育学会第59回全国大会

藤野真・渡邊晶帆、2018、「大学・大学生の特性に対応した初年次キャリア教育プログラムの開発（2）－教職協働の契機と意義」、日本産業教育学会第59回全国大会

福大生のためのキャリアデザイン 第1回目

イントロダクション

植上一希・藤野真

第1回目のポイント

2020年度は新型コロナウイルスの影響により、遠隔講義で実施されることになった。したがって、第1回目は、例年と異なり授業を受講するための準備を丹念に行うことを目的とした。

- シラバスを利用しながら授業計画や授業内容、成績評価の方法について説明、および、受講方法や教員・学生間の連絡方法などの説明を行なった。
- 新型コロナ禍において生活面で注意してほしいこと(「闇バイト」「10代の妊娠」「自宅のいづらさ・自宅でのDV被害」)について説明を行なった。
- 新入生のメンタルヘルスに関する説明を行なった。

授業の進め方

(1)授業の受講方法などの説明[5分]、(2)教員(植上・藤野)の自己紹介[10分]、(3)授業の説明[30分]、(4)生活面での注意事項[15分]、(5)メンタルヘルスに関する説明[10分]、(6)次回の説明と予習について[5分]、課題:MS-Formsへの回答[残り時間]

* (3)と(4)の間に5分程度休憩を設けた。

授業の資料

(資料1)「福大生のためのキャリアデザイン」

…授業で利用したスライドとメンタルヘルスについて

(資料2)「注意してほしいこと」

…新型コロナ禍において生活面で注意してほしいこと

福大生のためのキャリアデザイン

- 受講生がミーティングに参加するまでしばらく待っててください。
- カメラは共有する・しないは自由です。
(アイコンを設定してもらえれば、差異が出るなーです)
- マイクは「ミュート」にしておいてください。
(ハウリングしてしまうからです。みんなのマイクがミュートになっていない場合、管理者の権限でミュートさせていただきます。)

福大生のためのキャリアデザインのまとめノート



FUポータルの授業管理とoutlookにURLが送られています。

1

福大生のためのキャリアデザイン

このクラスではwebexで映像を共有する必要はありません。カメラを共有しない場合の基本設定では、学科の頭文字が表示されます。みなさんのアカウントを写真や画像に設定してもらえればと思います。



2

Webexの動作確認について

1. 音声聞こえるか確認します。
→聞こえたら「挙手」マークをクリックしてください。
2. 映像の確認をします。
→映像が見えたら「挙手」マークをクリックしてください。

(注) すべての学生さんの動作が揃わなくても、大多数が正常であれば授業を進めます。資料や講義内容を後から学べるようにしておきます。

3

授業のまとめのーとについて

授業のまとめノート（Evernote）について

最終更新: 2020年4月28日

福大生のためのキャリアデザインまとめノート (木曜1限・2限)

こんにちは。福大生のキャリアデザインを担当する植上です。藤野です。半年間よろしくお願ひします。

このまとめノートについて
このノートは福大生のためのキャリアデザインのまとめページです。授業のレジュメや資料、課題の連絡などはこのページにまとめられています。

植上/藤野への連絡について
植上: uegami@cis.fukuoka-u.ac.jp 藤野: makoto@fukuoka-u.ac.jp に連絡してください。学籍番号と氏名を必ず記入してください。cisメールでの連絡を推奨しています。

講義の進め方について

回	日時	授業計画	主担当	備考
1	4・20	オンラインデモンストラ	植上・藤野	

4

授業について

1. 授業はレジュメなどの配布資料があります。資料はFU_boxに保存しておきます。印刷しても、データを保存してもらっても大丈夫です。データは7月30日まで公開します。
2. 授業ではワークシートを配布します。印刷してもらっても、ノート・ルーズリーフなどを利用してもらっても大丈夫です。ワークシート自体を提出してもらうことはありません。

5

担当教員の紹介

6

藤野真

- 経営管理論を専攻しています。
- 組織や企業が他人（他者）にとって有用な財やサービスを生み出し、その結果、利潤を獲得します。他人（他者）にとって有用なものを生み出すことを価値創造と言います。
- どんなものを生み出さ重要ですが、どのようにそれを供給するかも重要になってきます。
- そして、それを組織的に行うということであれば、自然にそれが実現するわけではありません。したがって、意識的・人工的取り組みとして経営管理という機能が必要とされます。

7

植上一希

所属：人文学部 教育・臨床心理学科

専門：教育学 青年期教育論

研究テーマ：専門学校教育・大学教育

みなさんに伝えたいこと

青年から大人への移行期としての大学生

大学の可能性を十分に活かして成長する

そのための考え方・知識がとても重要

⇒研究や経験をもとにポイントを伝えたい

8

この授業の説明

9

授業の説明の前に…

シラバスを読んでみましょう！！

シラバスは「授業の計画書(説明書)」

授業の概要、目標、評価基準などをふまえて、
授業への取り組み方を認識することができます

<https://fukuoka-u.box.com/s/vdeu1hi5x46mzxaz5v5p6xwxnihk3phg>

10

授業の概要

✚ 概要

本講義は1年生を対象に行う。
 中心となる問いは、「大学生になる」とはどのようなことか、である。1年生は大学生としてのライセンスを得た状態にいますが、そのライセンスを中身あるものにしていくことが、「大学生になる」ということに他ならない。この「大学生になる」ために必要な考え方や取り組み方について、本講義では、具体的な実践もとりにいれながら習得していく。
 その際、この福岡大学において受講者が「福大生になる」という具体的な観点をとくに重視し、福大生の置かれている社会的位置やかけられている期待、福岡大学において活用できる諸資源とそれを用いての成長可能性などを学んでいく。
 それをもとに、自立とは何か、職業とは何か、キャリアをデザインするとはどのようなことか、キャリアをデザインするために大学でどのようなことを学び、身につけておかなければならないのかなど、自分自身のキャリアを考えるために必要な基本的な知識や考え方を理解することを目的とする。

11

授業の概要

✚ 概要

本講義は1年生を対象に行う。
 中心となる問いは、「大学生になる」とはどのようなことか、である。1年生は大学「大学生になる」ということはどのようなことか
 「大学生になる」ために必要な考え方や取り組み方とは何か
 ために必要な考え方や取り組み方について、本講義では、具体的な実践もとりにいれながら習得していく。
 その際、この福岡大学において受講者が「福大生になる」という具体的な観
 「福大生になる」にあたって活用できる資源とは？
 「福大生になる」にあたってどのような可能性があるのか？
 を学んでいく。
 それをもとに、自立とは何か、職業とは何か、キャリアをデザインするとはどう
 あなた自身は、どのような「大学生」「福大生」になるのか
 それをしっかりと考えるための知識・スキルを学ぶ！！

12

授業の目標

到達目標

大学における学習・生活を有意義に送るための基礎的な知識・方法を理解し、それを自身の経験や関心と関連させて説明することができる。(知識・理解)

大学卒業後のキャリア形成と大学生活を関連させて把握する観点を有し、自らのキャリア形成を主体的に考えることができる。(技能)

福大生としてのキャリアデザインの多様性を理解し、そのなかで自らのキャリアを積極的にデザインしようとする志向性を有する。(態度・志向性)

13

成績評価の方法

※評価方法がシラバスから変更しています！

「レポート課題」(6割)

「Microsoft Forms」(2割)

「定期試験」(2割)

定期試験が実施できない場合

最終講義時に定期試験に代わる課題(2割)を課して成績評価する。

14

授業計画

※ 授業計画も変更しています！

回	日時	授業計画
1	4・30	オリエンテーション
2	5・7	大学生になるってどういうこと(第1章)
3	5・14	大学生生活・大学での学習① なぜ大学生になったのか(第3章)
4	5・21	大学生生活・大学での学習② 未来について考える
5	5・28	課題作成 「どのような大学生になりたいのか①ー過去・現在・未来ーに焦点をあてて」
6	6・4	福岡大学での支援体制① 大学での学習を支援する教務課
7	6・11	大学生生活・大学での学習③ 大学生の学びの特質(第4章)
8	6・18	福岡大学での支援体制② 学生生活を支援するHDセンター
9	6・20	先輩に聞く大学生生活の送り方・学び方
10	6・25	大学生生活・大学での学習⑤ 学生の悩み・躓きやすいことに答えて
11	7・2	課題作成 「どのような大学生になりたいか②」
12	7・4	福岡大学での支援体制③ キャリア形成を支援する就職・進路支援センター
13	7・9	福岡大学での支援体制④ キャリア形成を支援するエクステンションセンター
14	7・16	まとめ

15

生活面でお伝えしたいこと

16

福大生に注意してほしいこと

- SNS上で募集されている「闇バイト」に応募しない。
- 休校・外出自粛長期化で10代の妊娠相談相次いでいます。
- 自宅に居づらい、自宅でのDV被害について

詳細については授業のまとめの一とにリンクを掲載しています。

17

福大生のためのキャリアデザイン 受講生の皆さんへ

ヒューマンディベロップメントセンター
(HDセンター：学生相談室)

妹尾奈津子・大塚彩乃・山田葉

18

● 受講生のみなさん

- ご入学おめでとうございます。
- 今年は新型コロナウイルス感染症の拡大により、入学式がなくなったり、オンライン授業になるなどしています。大学生活のスタートがこのようなかたちとなり、受講生のみなさんは様々な思いをもっていることと思います。
- このような状況だと、なんだか不安になったり、落ち着かなかったりする方も多いのではないのでしょうか。

19

● こんなことで不安になっているかも？

まだ学科の子にも先生にもほとんど会ったことがないのに、遠隔授業でやりとりするのか…

はじめての一人暮らし。不安だし実家に帰りたいけど帰れない…

入学式ができなかった。頑張って受験したのに、大学生になったという実感が持てない。

新型コロナウイルスにかかったらどうしよう！



等々……

20

●不安になるは当たり前のことです。

このような通常とは異なる状況下では…

- ・不安、恐怖、抑うつ、イライラなどの「心の反応」
- ・頭痛、腹痛、食欲不振、不眠などの「身体的な反応」

などが出現する可能性があります。

→こうした反応は、「異常な状態における正常な反応」です。

自分の弱さのせいだと自らを責めたり、
早く回復しなければと焦ったりする必要はありません。

21

●正確な情報を知り、 感染を広げない努力をしましょう

- ・ 不確かな情報、噂やデマなどで気持ちが振り回されないよう、信頼できる情報を適度に得て行動してください。
- ・ 最新の情報を仕入れることは大事ですが、過度に多くの情報に触れ続けていると、動揺したり気疲れしやすくなります。
意識して、見ない時間、触れない時間も持ちましょう。
- ・ FUポータル、大学からのメールをこまめにチェックして、大学の情報を得ましょう。

22

●生活リズムを整えましょう。

- 生活リズムの乱れが気持ちの揺れにつながる場合があります。
以下のことを心がけ、生活リズムを整えましょう。



朝決まった時間に起きる
バランスの良い食事をとる
室内で出来る軽い運動をする



23

●安心できる人と繋がっておきましょう。

- 一人で不安な気持ちを抱え込まないでください。
安心できる誰かと連絡をとったり、話をしてみましょう。
- 直接会えなくても、電話やSNSなどで繋がりを保ちましょう。
お互いに体験したことや感じている気持ちを表現したり、
相手を気遣ったりしましょう。

24

● ストレスや不安に対処しましょう。

このような時だからこそ、自宅で出来る、
あなたが好きなこと、やって安心できることをしてみましょう。

例えば…

運動・学習などの日常的な活動を定期的に行うようにしましょう。
シンプルな達成感、楽しさや安心を感じられる活動に取り組みましょう。



ストレス対処のために
アルコールやたばこ、薬物を摂取するのは避けましょう。

25

● HDセンターについて

- ヒューマンディベロップメントセンター（HDセンター）は、福岡大学の学生相談室です。
- HDセンターでは、カウンセラー（臨床心理士・公認心理師）が在籍しています。
- 現在、不定期でポータルにコラムを掲載しています。
ぜひご覧ください。



ヒューマンディベロップメントセンター
(HDセンター；学生相談室)
(092-871-6631(代表)内線2630)

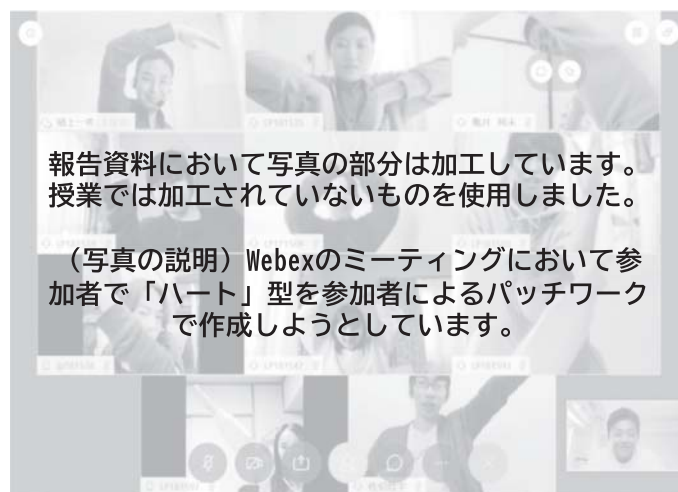
26

教員からのメッセージ

27

植上より

3・4年生のゼミ生と「ハートをつくろう」



28

植上より

こんなときだからこそ、日常が大事

「日常の1つとしての大学での学びがある
と実感しました」

日常としての大学生活は必ず戻ってきます
そのための準備をしていきましょう
そして、この授業も日常にしましょう

29

藤野より

当日口頭でお伝えします

30

授業の感想・質問 -Formsの記入の説明・実施-

31

次回について

テーマ：大学生になるってどういうこと？

用意するもの：

教科書、ワークシート（第2回用）

32

注意してほしいこと

(1～3の詳しい記事は後段にあります)

1. SNS 上で募集されている「闇バイト」に応募しない。
2. 休校・外出自粛長期化で 10 代の妊娠相談相次いでいます。
3. 自宅に居づらい、自宅での DV 被害について

SNS上で“闇バイト”の勧誘相次ぐ 新型コロナ影響(2020年4月19日)

新型コロナウイルスの感染拡大で企業の業績が悪化するなどして解雇や雇い止めが相次ぐ中、SNS上で仕事を求める書き込みをすると振り込め詐欺などの“闇バイト”に勧誘される事態が相次いでいることがわかりました。専門家は「SNSで直接仕事を探すことは第三者のチェックが働かず、違法な労働に巻き込まれる危険性がある」と指摘しています。

厚生労働省によりますと、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、企業の業績が悪化するなどして解雇や雇い止めになった人は、見込みも含めて今月6日までのおよそ2か月間で1473人に上っています。

こうした中、ツイッターなどのSNS上では、生活が困窮し仕事を求める書き込みをすると振り込め詐欺などに加担する“闇バイト”に勧誘される事態が相次いでいることがわかりました。

—中略—

先月から「仕事をしたい」という人が増えているとしたうえで、「応募はコロナ騒動を機に確実に増えている。目に見えてわかるほどで、コロナの影響で働くに働けず、今、手元にお金がなく困っている人が多い」と語りました。

さらに過去の災害の時よりも仕事を失い“闇バイト”に頼る人が多いと感じるとして、「コロナの影響は全国規模なので震災の時よりひどい印象を受ける。日払いで食いつないでいた人、交通費もない、相当、金に困ってる人が多い印象だ」としています。

さらに、“闇バイト”を募集している別の人物は「過去の災害でも詐欺などが増えるのは少し事態が落ち着いた後で、コロナに関しても今はピークではなくもう少し後にさらに増えるだろう」と、犯罪への勧誘はさらに進むと話していました。

専門家「SNSで直接交渉は危険」

労働問題に詳しい東京大学社会科学研究所の玄田有史教授は「SNSを通じて直接仕事を探すことは便利で、現在のように外出が制限される状況で“すぐに仕事がほしい”という緊急な場合、頼りにすることもあると思うが、SNSで直接交渉すると、ハローワークや職業紹介会社など第三者のチェックが働かず、違法な労働に巻き込まれるなど非常に危険性があるということを認識してほしい」と指摘しました。

そのうえで「緊急事態において、“闇のビジネス”がぼこするというのは、歴史的にも明らかだが、1回のトラブルで人生を台なしにすることはあまりにも悲しいことで、“何かおかしいんじゃないか”という疑いを常に持つことが必要だ。仕事や生活に困った人向けの公的な支援制度はあるので、どうすればいいか不安な場合、まずはハローワークや総合労働相談コーナーなど支援窓口にご相談してほしい」と呼びかけています。

(出所)<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20200419/k10012395501000.html>

休校・外出自粛長期化で 10 代の妊娠相談相次ぐ…家に居づく「彼氏の家に」、バイト失い「パパ活」も？(2020 年 4 月 18 日)

外出自粛や休校長期化で 10 代の妊娠相談が相次ぎ寄せられている

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う休校の長期化や外出自粛に伴い、10 代の性被害や望まぬ妊娠への懸念が高まっている。支援団体や窓口の中には濃厚接触を避けるため、面談等の業務をやむなく縮小したり、人手不足に陥ったりするところもあり、支援者らは「このままではセーフティネットがなくなる」と訴える。

■バイトできずパパ活？ 家に居づく「彼氏の家に」

神戸市北区の「小さいのちのドア」が 24 時間 365 日行っている相談窓口には、2 月末以降、特に 10 代の女性から「妊娠したかもしれない」という電話やメール、LINE が相次いで寄せられている。当初は土日が中心だったが最近では毎日数件はあり、既に妊娠検査薬で陽性反応が出ている子もいるという。

詳しく話を聞くと、休校や外出自粛で「恋人や友人の家にずっと入り浸っていた」という例や、「相手はかなり年上」「初めて会った人で、その後連絡がつかない」という内容も増えてきたといい、「飲食店等のバイトがなくなり、パパ活や援交などに手を出している子も少なくないと感じる」と相談に乗る助産師ら。一方で、感染拡大への不安が高まる中、面談をキャンセルする人もおり「目に見えないところで事態が深刻化していきかねない」と危機感を募らせる。

■閉じた家庭内、言葉の暴力から「目に見える虐待」へ

虐待や貧困、いじめなど困難を抱えた子どもへの支援や啓発活動を続ける認定 NPO 法人「3keys」(東京都)が運営する 10 代向け相談支援サービス検索サイト「Mex(ミクス)」には、感染拡大の懸念が高まり始めた 2 月以降、「親からの暴言が酷く、暴力も振るわれる。親が怒鳴るから常におびえてしまうし、食欲もない。リストカットもしてしまう」「最近一緒に暮らし始めた義母とうまくいかず、精神疾患に。自立するまでまだまだ一緒に暮らさなければならぬ」「親からの虐待に耐え続け、言われたこともしているはずなのに、食べもせずご飯を捨てて作り直しと、毎日のように言われるのが辛い」等の声が寄せられている。

代表理事の森山誉恵さんは「今までより、身体的虐待や面前 DV、激しい暴言などの相談が増えている印象がある。親の失業を始めとした経済的ダメージや、密室で一緒にいることによるストレスなどで、子ども自身も『虐待だ』と気付くような身体的暴力や性的虐待などが増加する可能性が高い」と指摘。

■行き場を失う子ども、ボランティア頼みの支援もパンクの恐れ

さらに外出自粛や施設の臨時休業などで子どもの居場所もなくなる中、「虐待や親子間の不和で家に居たくない子どもたちは、友達や恋人の家、カラオケ等の大人の目に付きづらい密室に逃げがち」とも。「元々長期休暇中は性関連の相談が増えますが、ここ最近は特に、児童買春等の犯罪被害やデート DV 等の性暴力、望まぬ妊娠につながる緊張感が高まっている」と警鐘を鳴らす。

現在、ミクスには悩みや被害を相談できる全国の支援機関が 200 ほど掲載されているが、公的機関を中心に「つながりにくさ」が課題に。さらに半数を首都圏の団体が占め、他の地域は 8~28 カ所(今年 2 月時点)と少なく、民間団体の多くは寄付金やボランティア頼みの運営を余儀なくされているという。「今後、緊急事態宣言が全国に広がれば、支援がパンクしかねない」と森山さん。「こんな時だからこそ、SOS を見逃さないよう、国も行政も、子どもに目を向けてほしい」と訴える。

小さいのちのドア：電話 078-743-2403 LINE の ID→inochi-door.mana メールアドレス →inochi@door.or.jp

(出所)<https://maidonanews.jp/article/13305516>

新型コロナで外出自粛 DV被害の相談相次ぐ(2020年4月18日)

新型コロナウイルスの影響で外出自粛が続く中、DV＝ドメスティック・バイオレンスの被害の相談が支援団体に相次いで寄せられています。

外出自粛による生活の変化やストレスによるDVの増加や深刻化が懸念される中、都内にあるDVの被害者や加害者の更生を支援する団体「エープラス」には、先月から相談の電話やメールが相次いでいます。

この中では、新型コロナウイルスの影響で収入が減って配偶者と口論になり、暴力を振るわれたとか、在宅勤務で家にいる配偶者が騒ぐ子どもにいらだって家族に暴力を振るうといった相談や、「夫にマスクを買ってくるよう命じられるが買えず、どなられる」といった相談が寄せられているということです。

また、加害者側からも「新型コロナウイルスによる収入減少を補おうとギャンブルに手を出したら生活がひっ迫し、妻に責められ暴力を振るった」といった相談が寄せられているということです。

この団体では、自宅に加害者がいて電話で相談しにくいケースもあると考え、LINEでの相談受け付けも始めたということで、代表の吉祥眞佐緒さんは「一日中、家族が同じ空間にいることでDVが増えている。不安やストレスを家族に向けるケースが多く、生命の危険を感じるような切迫した相談もあった。地域の窓口や民間団体、警察にためらわずに相談してほしい」と話していました。

「エープラス」に寄せられた被害者からの相談です。

「夫からマスクを買ってくるように言われましたが、どこにも売っておらず、マスクを買えずに帰ると、どなられて長時間説教される」とか、「夫が在宅勤務でずっと家について、こき使われます。子どもが騒ぐと、『俺は仕事をしている』とどなり、子どもに手をあげました。家を出たほうがよいでしょうか」といった、新型コロナウイルスの感染拡大や外出自粛要請が影響したケースが目立っています。

このほか、「DV家庭で過ごす子どもたちの恐怖は想像を超えています。どうにかSOSを発信できたらと思います」とか、「狭い部屋に親子3人で息が詰まる思いをしながらなんとか生きています。キャパオーバーです」といった切迫した相談も寄せられています。――以下、省略――

相談窓口は2つです。

《電話相談窓口》

1つは、最寄りの「配偶者暴力相談支援センター」に相談できる全国共通の電話相談窓口です。

電話番号は 0570-0-55210 で、平日の午前9時から午後4時までは、この番号から各地の支援センターにつながります。各地のセンターによってはこれ以外にも受け付けている時間帯があり、詳しくは内閣府男女共同参画局のホームページでご確認ください。

《DV相談+》

2つめは4月20日に新たに設けられた「DV相談+」です。電話での相談は全国共通で 0120-279-889 です。当面、午前9時から午後9時までですが、今月29日からは24時間受け付けられます。メールやSNSでも相談を受け付けています。アドレスは、<https://soudanplus.jp/>です。来月1日からは、メールなどで英語や中国語など8か国語程度の外国語にも対応できるようになるということです。

(出所) <https://www3.nhk.or.jp/news/html/20200418/k10012393691000.html>

福大生のためのキャリアデザイン 第2回目

大学生になるってどういうこと？ 現在を考える

植上一希・藤野真

第2回目のポイント

第2回目から第4回目はまとまりをもって構成されている。第2回目は、現在(入学した時点)における状況を、第3回目は、現在までの時間・過ごし方(過去)を、第4回目は、現在を起点にした未来について考えることを目的としている。

第2回目は、とくに、大学に入学しただけでは大学生になったとは言えない(授業内での言葉で表現すると「ライセンスを得たに過ぎない」)。したがって、大学4年間を通じ大学生に「なる」ことについて考えることを目的としている(授業内の言葉で表現すると「入学してまもない現在は、ペーパードライバーのような状況なので、4年間でペーパーがとれるように頑張ろう」)。

- 第2回目のポイントは、transition とはないかということ、transition をどのように考えるかという点にある。したがって、高校から大学といった、新しい社会に参入するときの視座を獲得することを目的としている。このことは、大学から社会(社会人)に移行するときにも援用されることを期待している。
- キャリアデザインにおいて重要な観点として(1)自身が参入する「社会」についてしっかり認識(=社会認識)すること、(2)自分自身の資源や希望についてしっかり認識(=自己認識)することを説明した。*テキストを読むときの、また、授業で行うワークの解説と補助線。
- 授業では、授業で学んだことを使って、考える(スループット)ことや表現すること(アウトプット)することに力点をおいているため、できるだけワークを実施している。
- 2020年度は遠隔授業になったために、「友人ができるか?」といった不安や質問が多く寄せられた。したがって、授業に直接関係ないと思われるが、遠隔授業下における大学での学びや生活に関する質問も授業のなかで積極的に取り上げることとした。

授業の進め方

(1)前回の振り返り[15分]、(2)授業の説明[15分]、(3)ワーク[40分]、(4)ワークの課題についての解説[10分]、(5)次回の説明と予習について[5分]、(6)ミニッツ・ペーパー：MS-Forms への回答[残り時間]。

- *ワークに関する学生からの質問や相談およびそれへの教員からの回答は、Webex のチャット機能を利用した。
- * (3)(4)について。ワークへの回答結果の学生間のシェアと回答結果へのフィードバックを授業内で実施した。
- * (6)で回答された質問や相談などは次回の授業の冒頭で回答することとした。

授業の資料

(資料1)「福大生のためのキャリアデザイン」

…授業で利用したスライド

(資料2)「福大生のためのキャリアデザイン(第2回目)」

…ワークシート

福大生のためのキャリアデザイン

- 受講生がミーティングに参加するまでしばらく待っててください。
- カメラは共有する・しないは自由です。
(アイコンを設定してもらえれば、差異が出るなーです)
- マイクは「ミュート」にしておいてください。
(ハウリングしてしまうからです。みんなのマイクがミュートになっていない場合、管理者の権限でミュートさせていただきます。)

福大生のためのキャリアデザインのまとめノート

↓↓↓

FUポータル¹の授業管理とoutlookにURLが送られています。

1

第2回

大学生になるってどういうこと？

2

前回の振り返り（１）

Formsのテクニカルな点について

- 入力した回答を再入力したい場合は、再入力してください。回答にはタイムスタンプが押されるので、最新のものを探点の対象にします（PDFの5枚目に同じ回答が3件記載されてますが、同一の学生さんの入力だと確認しています）。
- Formsへ入力する内容は、手元にメモを残すようにしてください。勉強の足跡を残してくれればと思います。
- Formsへの回答は推敲して入力するようにしてください。推敲は今後「癖」「習慣」にしてほしいなと思います。主語と述語が対応しているか？文が長すぎないか？漢字などケアレスミスがないか？（今回はケアレスなミスを論うことや減点することはしません）。

3

前回の振り返り（２）

回答内容について

- **不安だということについては「声に出して」よいと思います。**
 - 課題が提出できるか？などテクニカルなこと、すぐ回答が出そうなことは、教員や事務職員に確認すればよいと思います。「報告・連絡・相談（ほう・れん・そう）」といったように行動すればいいかなと思います。
 - 「先行きが不安だ？」「友達ができるか不安だ？」といった、すぐには答えや回答が得られそうにないことは、友達やご両親、教員、事務職員などに差し当たり話を聞いてもらうということをするればよいのではないかと思います。

4

前回の振り返り（3）

回答内容について

- **せっかく大学生になって、気分を新たにしているのに、こんなことになって、、、。**

→自分が思うようにいかないことってこれから多くあるのかなと思います。resilience（レジリエンス、復原力、回復力）を築くチャンスにしてくれればと思います。

→「うまくいかない」とき「むしゃくしゃした」ときは時間が必要だと思います。時間の経過のなかで、この状況のことを考えたり、腑に落としたり、つぎのステップへの雨宿りに使ったりしてみてください。

5

前回の振り返り（4）

回答内容について

- **友達をつくれるか？。**

→福大生は英語や体育など基本クラス割でクラス指定されているので、そこで友人を作ってる学生さんが多いかなと思います。そこをスタートとして、サークル、ゼミナールと友人が増えていってるよりの思います。

- **単位が取れるか？**

→個人的な感想です。学部の2年生以上の授業を担当していますが、例年に比べて授業への参加や課題の取り組み状況が良好だと感じてます。みんな勉強してるなと思います。結果はついてくるのかなと思います。

6

第2回の授業の目標と構成

<目標>

- ① キャリアデザインにおいて重要な2つの観点のうち
1つ目の「社会認識」について理解をする。
- ② 「大学生になっていくということ」に関する
基礎的知識をテキスト第1章をもとに獲得する。

<構成>

- ① キャリアデザインにおいて重要な2つの観点の説明①
- ② テキスト全体、パート1の目的・構成の説明
- ③ テキスト1章のワーク
- ④ テキスト1章のワークについての解説
- ⑤ 補足説明とFormsの記入

7

キャリアデザインにおいて 重要な2つの観点の説明①

8

キャリアデザインをするうえで 重視してほしい2つの観点

(1)自身が参入する「社会」について
しっかり認識（＝社会認識）する

(2)自分自身の資源や希望について
しっかり認識（＝自己認識）する

※今回は(1)について説明します。(2)は次回説明します。

9

(1)自身が参入する「社会」についてしっかり認識（＝社会認識）する

そもそも「社会」とは…

「人間が集まって共同生活を営む、その集団。諸集団の総和から成る包括的複合体をもいう。自然的に発生したものと、利害・目的などに基づいて人為的に作られたものがある。家族・村落・ギルド・教会・会社・政党・階級・国家などが主要な形態。」 『広辞苑』

⇒もちろん、大学も「社会」の1つだし、様々な職業や企業も「社会」となる。

10

(1)自身が参入する「社会」についてしっかり認識（＝社会認識）する

「社会」のメンバーシップの認識

それらの「社会」のなかで

- どのような役割・責任を果たすのか。
 - どのような地位につくのか。
- ＝キャリアデザインの重要な要素

例)

- 「△△」職業に就く～日本社会全体のなかでの役割・地位の選択
- 「サークルで部長になる」～サークルという社会での役割選択

<キーワード> 「メンバーシップ」テキストp.13参照

11

(1)自身が参入する「社会」についてしっかり認識（＝社会認識）する

キャリアデザインの基礎は「社会」認識

そして新参者はとくに「社会」について

- メンバーの構成や特徴
 - 目的・価値観・ルール
 - システム・行動様式
- …などなどの認識が不可欠

<キーワード> 「社会化」

「個人がその所属する社会や集団のメンバーになっていく過程」

12

(1)自身が参入する「社会」についてしっかり認識（＝社会認識）する

みなさんにとってまず必要なのは…

- 「大学」・「福岡大学」という
社会についての認識
- 「大学生」・「福岡大学生」という
メンバーシップについての認識
- 「大学生」・「福岡大学生」になる
具体的行動（＝「社会化」）

13

テキスト全体、パート1の 目的・構成の説明

14

テキスト全体の目的・構成について

※テキストpp.3-6と目次を開きながら聞いてください

<目的>

「大学生になる」ことの入門的ガイド

<構成>

パート1 大学で学ぶということ

パート2 大学で学ぶための技法

パート3 キャリアを考える

※今年の授業では直接扱わない章もありますが、ぜひ自習してください。

15

パート1の目的・構成について

※テキストの目次を開きながら聞いてください

<目的>

- ・ 大学という「社会」に関する基礎的知識の獲得
- ・ 「大学生になる」ことについての自己認識の把握

<構成>

1章 大学生になっていくということ

2章 どのような大学生になるのか

3章 なぜ大学生になったのか？

4章 大学生の学びの特質

※授業では第2回-5回、7回がテキストパート1に対応

16

テキスト1章の構成について

1章 大学生になっていくということ

1節 大学生に「なって」いく

2節 初心者として、まず大学になじむために

3節 大学生の社会的位置を意識する

4節 接する世界の広がりに対応する

新入生が大学という社会に参入するにあたって、重視してほしい観点の説明と、大学・大学生に関する基礎的な説明がなされている。このテキストの導入的役割。

17

テキスト1章のワーク

18

ワークの進め方

1. テキストを読む (7分)
2. ワークシートの問いに答える (18分)
3. Formsへの回答記入・送信 (5分)
4. 休憩 (10分)

※ () 内の数字は目安です。ご自身で自由に判断してください。
Forms「授業中のまとめ用」を実施。URLは「まとめノート」参照。
Formの送信は必ず、再開時間の10分前までに終了してください。
ワーク中はミーティングから一度退室されてかまいません。
再開時間は40分後です。

19

テキスト1章のワーク解説

20

ワークシートの解説

口頭で行います。
メモしてみてください。

21

今日の授業のまとめ

口頭で行います。
メモしてみてください。

22

補足説明

23

教員からのコメント

口頭で行います。
メモしてみてください。

24

Forms (ミニッツ・ペーパー) の記入

※Forms (ミニッツ・ペーパー) に記入してください。
URLは「まとめノート」参照。

25

次回について

テーマ：なぜ大学生になったのか？

用意するもの：

教科書、ワークシート（第3回用）

26

福大生のためのキャリアデザイン（第2回）

ワークシート

1. <内容理解>1・2節で述べられている内容について、以下のキーワードを用いて5行程度で要約しましょう。

キーワード：ライセンス ルーキー 慣習 方法 メンバー

2. <内容理解>3節で述べられている2つのポイントを以下の文に沿って整理してみましょう。

(1) 高校までは、同年代のほぼすべてが_____であったが、これからは、専門学校生や労働者など様々な属性があり、みなさんはその同年代の_____を占める大学生というカテゴリーに属していることを認識する必要がある。

(2) したがって、同じ年代といってもその_____は異なり、とくに、_____という点を大学生であるみなさんは意識しておく必要がある。なぜなら、いまでも依然として、_____は高いからである。

3. <論述>4節で述べられているように、大学生は「接する世界が広がる」時期でもあります。その可能性で自身がチャレンジしたいこと、またリスクについて注意しておきたいことについて、書いてみましょう。

4. <論述>新入生が「大学生になっていく」ということどういうことか。この第1章を読んであなたの理解がどのように変化したのかも説明しながら論じましょう。

福大生のためのキャリアデザイン 第3回目

大学になるってどういうこと？ 過去を考える

植上一希・藤野真

第3回目のポイント

第2回目から第4回目はまとまりをもって構成されている。第2回目は、現在(入学した時点)における状況を、第3回目は、現在までの時間・過ごし方(過去)を、第4回目は、現在を起点にした未来について考えることを目的としている。

第3回目は、過去の自分を振り返ることを中心に、現在の自分、そして将来の自分を構想すること(その準備的作業)を目的としている。進路決定過程や進学要求など「過去」の自分を認識するために、便宜的に本学に入学してきた自己認識を「積極型」「不本意型」「あいまい型」「形式型」に分類し、タイプごとの特徴とその課題について考えた。

- 第3回目のポイントは、一部の学生にとっては酷だと思うが、「福岡大学」へ入学したことをこれまでの人生や中学校・高等学校での勉強(=過去)の結果として描き出してもらうことで、「過去」と「現在(過去の時点からすると未来)」との関係やその道筋を振り返ってもらうことにある。すなわち、このことは、「現在」から「未来」への道筋を予感させることでもある。
- 「過去」と「現在」の繋がりを可視化するために、すなわち、「原因」と「結果」と言うコントラストを描き出すために、「積極型」「不本意型」「あいまい型」「形式型」という分類を実施した。この分類を起点に今回の授業をスタートさせた。
- 進路決定過程シートに回答してもらったのちに、進学理由を積極的理由(○)・消極的理由(●)・分類不可(△)に分類してもらい、マークの多寡によりそれぞれの「型」の分類を行ってもらった。
- この授業では、「積極型」「不本意型」「あいまい型」「形式型」に「分類」することを主眼としていない。「型」を分類することは、(1)3回目の時点における「型」ごとに今後の大学生活での注意点を説明すること、(2)現時点でネガティブな気持ちでこの場にいる学生をエンパワーメントすることを目的として行っている。

授業の進め方

(1)前回の振り返り[15分]、(2)授業の説明[15分]、(3)ワーク[40分]、(4)ワークの課題についての解説[10分]、(5)次回の説明と予習について[5分]、(6)ミニッツ・ペーパー：MS-Formsへの回答[残り時間]。

- *ワークに関する学生からの質問や相談およびそれへの教員からの回答は、Webex のチャット機能を利用した。
- * (3)(4)について。ワークへの回答結果の学生間のシェアと回答結果へのフィードバックを授業内で実施した。
- * (6)で回答された質問や相談などは次回の授業の冒頭で回答することとした。

授業の資料

(資料1)「福大生のためのキャリアデザイン」

…授業で利用したスライド

(資料2)「福大生のためのキャリアデザイン(第3回目)」

…ワークシート

福大生のためのキャリアデザイン

- 受講生がミーティングに参加するまでしばらく待っててください。
- カメラは共有する・しないは自由です。
(アイコンを設定してもらえれば、差異が出るなーです)
- マイクは「ミュート」にしておいてください。
(ハウリングしてしまうからです。みんなのマイクがミュートになっていない場合、管理者の権限でミュートさせていただきます。)

福大生のためのキャリアデザインのまとめノート

↓↓↓

FUポータル¹の授業管理とoutlookにURLが送られています。

1

第3回 大学生活・大学での学習① なぜ大学生になったのか

2

前回の振り返り

3

前回の振り返り

第2回の授業の目標と構成

<目標>

- ①キャリアデザインにおいて重要な2つの観点のうち
1つ目の「社会認識」について理解をす
る。
- ②大学に対する自身の進学要求の特徴と課題について
テキスト第3章をもとに理解する。

<構成>

- ①キャリアデザインにおいて重要な2つの観点の説明②
- ②テキスト全体、パート1の目的・構成の説明
- ③テキスト1章のワーク
- ④テキスト1章のワークについての解説
- ⑤補足説明とFormsの記入

4

2回目のミニッツ・ペーパー（1）

・教員の板書が丁寧ではないのでどのようにテスト勉強を行えばよいでしょうか？

アンラーニング（学習棄却）も必要になってきます。

テクニック編

中学校・高校のときの勉強と異なるので、これまでに身につけた勉強方法を変更する必要があると思います。板書や赤線、太字などで重要なことを見分けるのではなく、授業のロジックを追うようにしてください。たとえば、これは論点だとか、これは論点を説明するための事例だとか。論点は3点あります、と言われれば、3個を見つけながら聞くなど。授業の論点は、レジュメに記載されていることが通例です。

5

2回目のミニッツ・ペーパー（2）

・教員の板書が丁寧ではないのでどのようにテスト勉強を行えばよいでしょうか？

大学の授業の特徴編

授業の内容を毎回理解できるというわけではないです。たとえば、2回目では理解できなかったけど、5回目の授業で2回目の授業のことがわかったとか、この授業ではわからなかったけど、他の授業でわかったということはよくあることだと思います。わからなかったこと、あれと思ったことを覚えておく、書き留めておくということが重要だと思います。また、授業では通説を説明しますが、大学教員は自説をもっています。授業の中でぽろっと自説を述べることもあるかなと思います？そういったときそれをあれ？とか思ってもらえると大学の勉強は進むのではないかと思います。

6

2回目のミニッツ・ペーパー (3)

・公欠はありますか？

福岡大学に公欠の制度はありません。

・スマホなのでリアクションをとるのに時間がかかってしまう。どうしたらよいでしょうか？

少し調整できればと思います。

7

第3回の授業の目標と構成

<目標>

- ①キャリアデザインにおいて重要な2つの観点のうち
2つ目の「自己認識」について理解をする。
- ②「大学生になっていくということ」に関する
基礎的知識をテキスト第1章をもとに獲得する。

<構成>

- ①キャリアデザインにおいて重要な2つの観点の説明(2)
- ②テキスト3章のワーク
- ③テキスト3章のワークについての解説
- ④補足説明とFormsの記入

8

キャリアデザインをするうえで 重視してほしい2つの観点

(1)自身が参入する「社会」について
しっかり認識（＝社会認識）する

(2)自分自身の資源や希望について
しっかり認識（＝自己認識）する

※今回は(2)について説明します。(1)は前回は参照ください。

9

自分自身の資源や希望についてしっかり認識（＝自己認識）する

アイデンティティという観点

○「アイデンティティ」とは？

「人格における存在証明または同一性。ある人が一個の人格として時間的・空間的に一貫して存在している認識をもち、それが他者や共同体からも認められていること。自己同一性。」
『広辞苑第7版』

⇒アイデンティティという言葉には、自分の中で自分が連続しているという内的な同一性と、自分という存在が社会からも承認されているという社会的な同一性の2つの意味が含まれている。

10

自分自身の資源や希望についてしっかり認識 (=自己認識) する

自己同一性について確認する

○過去と現在の自分の連続性

<過去の自分> ⇒ <現在の自分>
経験・資源・希望 経験・資源・希望

○現在と未来の自分の連続性

<現在の自分> ⇒ <未来の自分>
経験・資源・希望 経験・資源・希望

例)

- ・高校時代の努力や夢の連続線上に今「福大生」としての自分がある。
- ・今、教職課程を履修しているのは、「教員」としての将来を考えるからだ。

☆自己を認識するためには、<現在>の自己だけではなく、<過去>や<未来>の自己像を認識することが必要かつ有効である。

11

自分自身の資源や希望についてしっかり認識 (=自己認識) する

社会的同一性について確認する

○多様な役割・多面的な自己の「統合」としてのアイデンティティ

社会のなかでの多様な役割を引き受けながら、それに伴う多面的な自己を有していく。その「統合」としてのアイデンティティ。

例) 植上の多面的な役割

福岡大学の教員 (LPの教員、大学院教員、指導教員、共通教育科目担当教員…) 教育学研究者、学会役員、家庭 (父・夫・兄・息子・叔父…)、先輩、後輩、日本人、友人、趣味仲間、…

☆自己を認識するためには、社会的に担っている多様な役割や期待、自己の多面的な側面などを理解することが必要であり有効である。

12

自分自身の資源や希望についてしっかり認識（＝自己認識）する

コロナ禍におけるアイデンティティの確保のためにも

○「アイデンティティ」の危機

①外的（社会的）な多面性の危機

例）学生、バイト、部活、友人、家族、地元…

②内的（自己的）な同一性の危機

例）学生でいられるのか 就職への不安 家族の不安…

○アイデンティティの危機を乗り越えるための学習継続

①社会的多面性を確保する＝「学生」という側面の継続

②自己同一性を確保するための学び

13

パート1の目的・構成について（再掲）

※テキストの目次を開きながら聞いてください

<目的>

- ・大学という「社会」に関する基礎的知識の獲得
- ・「大学生になる」ことについての自己認識の把握

<構成>

- 1章 大学生になっていくということ
- 2章 どのような大学生になるのか
- 3章 なぜ大学生になったのか？
- 4章 大学生の学びの特質

※授業では第2回-5回、7回がテキストパート1に対応

14

ワークシートの解説
-メモをとってみてください-

17

今日の授業のまとめ
-メモをとってみてください-

18

コメント
-メモをとってみてください-

19

授業の感想・質問
-Formsの記入の説明・実施-

20

次回について

テーマ：未来について考える

用意するもの：

教科書、ワークシート（第4回用）

福大生のためのキャリアデザイン（第3回）

ワークシート

1. 「進路決定過程シート」をもとに次の作業をしてください。

(1) テキスト 37～39 ページをもとに、「進路決定過程シート」を埋めてみましょう。

(2) テキスト 39 ページをもとに進学理由を積極的理由（○）・消極的理由（●）・分類不可（△）に分類してみましょう。

2. テキスト 40 ページから 52 ページまでを読んでみて、自分に最も近いタイプを選びましょう。

・積極型 ・不本意型 ・あいまい型 ・形式型

3. 他の人に説明するつもりで、「2」の回答理由を 5 行以内でまとめてみましょう。

なお、冒頭にタイプを明記してください。

（例）「私は○○型を選びました。その理由は大きく 2 つあります。1 つは～」

4. テキストにおける各タイプごとの「特徴と課題」を読んで、自分の進学要求を振り返って、とくに注意した方がよい・改善すべきだと思った点について、その理由も含めて 3 行～4 行程度でまとめてみましょう。

福大生のためのキャリアデザイン 第 4 回目

どのような大学生になりたいか？

藤野真・植上一希

第 5 回目のポイント

第 2 回目から第 4 回目はまとまりをもって構成されている。第 2 回目は、現在(入学した時点)における状況を、第 3 回目は、現在までの時間・過ごし方(過去)を、第 4 回目は、現在を起点にした未来について考えることを目的としている。

第 4 回目は、とくに、第 3 回目の「過去」の回を起点に、「未来」のことについて構想することとした。「過去」「現在」「未来」という時間軸のなかに自分自身を位置付け、「未来」の自分や自身のキャリアを形作するためには、「現在」(「未来の時点から見た場合の「過去」)が重要であると説明した。第 4 回目は、「今日から『未来』』に向けて歩いていく、大学生活のスタートの回と位置付けた。

- 第 4 回目のポイントは、第 3 回目に実施した「過去」と「未来」という関係を下敷きに、ワークを通じて「未来」について具体的に構想することにある。
- 「未来」を考えると、大学卒業後の「夢」や「社会人像」に焦点をあてると、あまりにも遠い未来であり、かつ、「現在」との連続性を感じにくいのではないかと思う。したがって、大学 4 年間に具体的に組み組んでみたいこと、また、注力することを、マインド・マップを利用して描き出してもらった。
- 将来のことを考えるとき、多くの場合、立ち止まってしまうのではないかと思う。「何に興味があるのかわからない?」「何が好きなかわからない?」「夢がない?」といった自分自身を認識することに意味はないのではないかと考えている。したがって、ひとまず、大学卒業後のことは、大学 4 年間を通じ、出来ることが増えた、自分の能力に気づけた段階で具体化することを提案することとした。
- 第 4 回目では、将来を考えると(大学 4 年間の過ごし方を考えるとき)、クランボルの「計画的偶発性理論」を用いた。現時点での状況にとまどったり、打ちひしがれたりするのではなく(もちろんそういった学生ばかりではない)、これからの 4 年間という時間の重要さの再定義を試みてみた。

授業の進め方

(1)前回の振り返り[20分]、(2)授業の説明[20分]、(3)ワーク[40分]、(4)授業のまとめ[5分]、(5)次回の説明と予習について[5分]、(6)ミニッツ・ペーパー:MS-Formsへの回答[残り時間]。

*ワークに関する学生からの質問や相談およびそれへの教員からの回答は、Webexのチャット機能を利用した。

* (6)で回答された質問や相談などは次回の授業の冒頭で回答することとした。

授業の資料

(資料1)「福大生のためのキャリアデザイン」

…授業で利用したスライド

(資料2)「マインド・マップ」

…ワークシート

福大生のためのキャリアデザイン

- 受講生がミーティングに参加するまでしばらく待っててください。
- カメラは共有する・しないは自由です。
(アイコンを設定してもらえれば、差異が出るなーです)
- マイクは「ミュート」にしておいてください。
(ハウリングしてしまうからです。みんなのマイクがミュートになっていない場合、管理者の権限でミュートさせていただきます。)

福大生のためのキャリアデザインのまとめノート

↓↓↓

FUポータルの授業管理とoutlookにURLが送られています。

1

第4回 大学生活・大学での学習② 未来について考える

2

前回の振り返り

自分で振り返る（2分）

3

第3回目のFormsより

積極型の意見(1)

E11 将来の夢をかなえるため

私は、積極型を選びました。その理由は福岡大学で夢を叶えるための勉強ができるからです。私には2つの夢があります。そのうちの一つは、会社を経営する事です。私の父が会社を経営していることもあり会社を経営することに憧れを持っています。そのために私は福岡大学の経済学部産業経済学科での起業家育成プログラムを受け、その準備をしていきたいと考えたからです。さらにこの学部では簿記を履修することの出来将来の自分に役に立つと考えたからです。よって私はこの学科で学ぶために進学したので積極型です。

EE 人の多さ、地元を離れて

自分は、積極型を選べました。その理由は、親元を離れて一人暮らしをしたいと思い県外に行こうと考えたからです。その時に福岡大学を選んだのは、人が多くていろんな人と関わる機会が多くなると思ったからです。いろんな人と関わることで刺激をもらったり、自分のためになることを発見できると考えたからです。

また学部選びでも地歴の教員になりたいという明確な理由があり、その資格が取れる学部学科を選んだので、積極型だとも思いました。

4

第3回目のFormsより

積極型の意見(2)

LP 第1志望には合格しなかったけれど…

私は不本意型と悩んだ末、積極型を選んだ。理由は2つある。1つめは、本来は第一志望の国立大学を目指していたからだ。2つ目は、私は今年の春、福岡大学の教育・臨床心理学科に入るために浪人という選択肢を選んでいたのである。夏頃に第一志望を変えて、受験を迎えたが、結果は不合格であった。そして第二志望であった、去年から憧れていた福大に合格することができて本当に嬉しく思った。福大でやりたいこともあるし、目指している職業もある。今はまだライセンスを得ただけの状態であることを自覚し、夢を叶えるために精一杯頑張りたい。

CC 留学して日本へ・福大へ

私は積極型を選びましたが型式型もあると思います。その理由は、大学の進学は母国の韓国では8割以上みんな進学しているから、本人も行く必要があると思いました。ですがその中で福岡大学を選んだ理由は2つあります。まず私は日本の文化に関心を持って、今後就職も日本でしたいと高校から考えてきました。そのため韓国の大学より日本の大学を出た方が就職しやすいからと思ったからです。次は福岡大学のプログラムが気に入ったからです。日本の多くの大学を探して見ましたが、福岡大学が一番いいと思い、進学を決めました。

5

第3回目のFormsより

積極型で気を付けたいこと (1)

LP 福大生になったことに満足しない

福大生になったことだけに満足しないように注意しなければならなかったと思います。なぜなら私は頑張りがたくないという気持ちはありませんが、福岡大学に非常に強い憧れを持っており、福大生である自分を誇らしく思っているところが少しあるからです。

LA 進学前までのイメージとの違いへの対応

高校生までは大学の現実を知らず自分の想像だけでの理想を築き上げてきたので、これから先その思いが現実と異なる場合にかかりやすくなるかもしれません。けれどその時やり投げるのではなく、大学の現実の合わせて、また自分の基軸に合わせて、進学要求を適宜広げていく、深めていく姿勢をとることが大事だと思います。

6

第3回目のFormsより

積極型で気を付けたいこと (2)

LI 夢に固執しすぎない

自分の夢に固執しすぎないという点に、私は最も注意すべきだと考えます。

どんな教師になりたいか、大学でどんなことを学びたいかがはっきり決まっている私は、大学での現実に落ち込みやすいと思ったからです。自分の夢を叶えることはもちろん大事ですが、今ある環境で一番人が楽しいと思える授業スタイルを見つけていきたいと思えます。

LG 他の科目にも目を向ける

自分の進学欲求を振り返って改善すべきだと思った点は、Cさんと同じように浅く狭かったという点です。なぜなら、ドイツ語圏についての勉強だけが出れば良いと思っていて、ほかの科目はどうでも良いと思ってしまっていたからです。これから大学で学んでいく際には、狭くならないよう様々な分野を広く深く学んでいきたいと思えます。

7

第3回目のFormsより

不本意型の意見(1)

LC 第1志望の大学ではない

私は不本意型を選びました。九州の国立を目指して一生懸命色々がんばりましたが、結局今の大学、福大しか合格していなかったです。福大も良い大学だと思いますが、国立に落ちた悔しさはなかなか消えません。

CB 進学校・家庭環境

自分は不本意型を選びました。その理由は二つあげられます。一つは高校が進学校であり、偏差値が高ければ高いほどいいという環境に慣れてきたこと。もう一つは、自身の兄弟へのコンプレックスです。私には兄がおり、中学高校までは同じだったものの、兄は何でもできてしまう人間で自分には本当に大きなコンプレックスがありました。大学受験で見返そうという思いで受験しようと思いましたが、第一志望に合格することができず、学歴でも兄に劣ってしまい今も立ち直れていません。なので自分は間違いなく不本意型だと思えました。

8

第3回目のFormsより

不本意型の意見(2)

CC 留学をしたい

私は、不本意型を選びました。理由として私は、大学では留学をしたいと強く考えていましたので、留学に対しての援助が充実している西南学院大学を目指していたからです。結果は不合格となり福岡大学に入学しました。しかし、西南学院大学に対して、未練があるため不本意型を選びました。

EE 演劇をしたかったのに…

もともと大学にはいかずに自分の目指している夢である俳優を目指すために演劇一途でいきかったが親が反対したために仕方なく進学したから

9

第3回目のFormsより

不本意型で気を付けたいこと (1)

LC 偏差値の呪縛をとく

偏差値は大学のすべての価値だと思いましたが、こういう価値観を変えて、福大にある価値を探すべきだと思います。今よく考え見ると、福大に在籍中の学生が多くて、様々な人と触れ合うことで、偏差値が高い国立大学から得られない知識と経験を獲得できるでしょうか。福大生としての自分を認めて、福大に存在する価値を少しずつ探そうと思います。

LP 過去のプラスの面を忘れない

過去のことを引きずらず、この大学でやりたいことができる、という肯定的な見方を持ちたい。私がいた高校は最後まで頑張り続けることをモットーとしていたので、過去のそういったプラスの面は忘れず、将来のために勉学により一層励む必要があると感じた。

10

第3回目のFormsより

不本意型で気を付けたいこと (2)

EE 学びたいことの原点に戻る

私は経済学を学びたいという理由があって大学進学を決めていたので、原点に振り返りその上で「大学には偏差値のみでは測ることができない価値」があることを認識する必要があると思いました。その理由は大きく2つあります。1つ目はこのまま大学の4年間を「失敗した」と後悔し続けるのはもったいないと思ったからです。2つ目は、経済学を学ぶのはこの大学でもできる上に独自の学習もできるのではないかと思ったからです。

11

第3回目のFormsより

あいまい・形式型の意見(1)

CB 専門学校に行きたかったのだが…

私はあいまい型を選びました。理由は元々10月まで専門学校を目指しており、周りから「明確な将来の夢がないなら大学に行って決めた方が良い」という意見を聞き大学には一応行こうという気持ちで入ったからです

LP 福大進学が当たり前…

私はあいまい型と不本意型を選びました。その理由は大きく2つあります。一つは推薦を受けることができたからです。私は福岡大学に進学することを前提としたクラスに所属していたのでそれがあたりまえな事だったからです。二つ目は本当は製菓専門学校に進学したかったからです。将来はパティシエになってケーキ屋などで働きたいと考えていましたが福大に進学しないことがもったいないと言われたからです。

12

第3回目のFormsより

あいまい・形式型の意見(2)

EE 大学に行くのが「普通」

私はあいまい型を選びました。大きな理由の一つとして高校が進学校だったという点です。就職するための環境は無く大学に行くのが当たり前の環境でした。特に夢も目的もなかった私はとりあえず受かった大学に行っておこうと考えてました。ですから、大学生だから、この大学だから、といって今やりたいことや目的というのは正直ありません。「普通」という言葉が今の私を大きく表していると思います。

CC 希望が崩れてあいまいに

自分は入試の時に第一志望の大学は福岡大学だったのですが、学科の第一志望は人文歴史でした。（今は落ちて別日に受けた第二志望の商学部に所属しています）自分はもともと小学生のころから日本史が好きだったので大学に行くなら日本史をひたすら学びたいと思っていたし高校時に、授業内容がとても面白い日本史の先生にあってからはにわかに教員になろうかななどと考えたりしていたので、その話は今のところ厳しくなっていました。今の商学の授業にも興味はあったので内容は面白いと思うのですが将来何になりたいか？などの計画としては全く分からなくなってしまう「曖昧型」と解答した次第です。

13

第3回目のFormsより

あいまい・形式型で気を付けたいこと

CB まずはじっくり考えたい

自分は本当に何も考えていなくて、進路決定過程シートが全く埋まらないという状況ですが、まずは今自分が何故この大学に進学したのか、将来何になりたいのかを、じっくり考えてみたいと思います。

CC 目標を見つける

とりあえず大学に進学したいという気持ちで福岡大学付属の高校に入学し、付属高校だから普通に頑張っていれば福岡大学には確実に行けるだろうという余裕を持ってしまっていました。ですので、福岡大学以上の大学を目指そうという努力もせず卒業してしまいました。そのことについて今とても後悔しています。与えられたもの、用意された未来ではなく、自分自身で目標を見つけ努力すべきでした。過去に戻ることはできないので、これからは後悔しないように自分自身で目標を見つけ努力していきたいです。

LP 自分の考えを持つ

今までずっと親の意見に流されてきたので自分が本当に何したいかどうして大学生になったのかを考えたいと思いました。自分が本当にやりたいこととは違うかもしれないけど大学生になったのだから色々を探したいです。親や社会の風潮に必要以上に固執せず自分の意見を持つことが重要だと思いました。

14

第3回目のFormsより

授業全体の感想

LJ

同じ大学に所属していても、大学生活を不本意な気持ちで送っている人や、夢や目標過って頑張っている人、大学生というライセンスを手に入れただけで満足してしまっている人など、様々なタイプの学生がいることがわかりました。今回、なぜ大学生になることを選んだのかについて分析することで、自己認識することにもつながり、今後の大学生活の中での課題や改善点を見つけられたので良かったです。

○多様なタイプの学生 そのなかでの自身の特性を知ること
ということ

○福岡大学の魅力～多様なタイプの学生がいるということ

15

第3回目のFormsより

授業全体の感想

EE

私はこの授業を通して嫌なこととは向き合うべきだなと思いました。現在映像授業や課題提出など、パソコンを通してやらなければいけないことで不安が増して感じられます。それにより感じているストレスはとても大きいですが、この授業を受けている間は、現在を考えるのもそうだけど、将来について考えることが多いので、いったん現在自分が置かれている状況からは離れます。その授業が終わったら、気持ちがリセットされて現在与えられている不安と向き合おうと思えます。なので、嫌なことは一度向き合って、ひとつずつ解決していこうと思いました。

GH

過去について考えることは大事だなと思いました。「過去を振り返る」ことは、「過去を後悔する」のではなく、「過去から学び今の自分、未来の自分に役立てる」ということと再確認できました。自分の過去の成功も失敗も大切にしようと思えました。

○自分に向き合う

自分の過去や現在を引き受けるということ

16

第3回目のFormsより

授業全体の質問

BB

現在、緊急事態宣言を受けて世の中の様々な事が狂ったり変化したりしていて、その慣れてしまった環境から緊急事態宣言前の生活に戻れて、尚且つ、まだ一度も会ったことのないので（face to faceで）、不安な点が多々あります。環境に慣れるためにはどうすれば良いですか？

LE

自分の将来の夢とは関係ない授業のやる気を出すにはどうしたらいいですか。将来の夢が決まっている分、その専門的なことを学べる専門学校の方があっていたんじゃないかなとか今更考えてしまいます。でも高2から目指していた大学の学科に入れたので今の大学生活をどうしても自分にとって意味のあるものにしたいです。

○新しい環境に慣れることの難しさ・不安 その工夫
（教科書1章も再読してみてください）

○関係のない授業のやる気を出すのは実は困難
…必要性と興味関心 自身のなかにそうした芽をつくる

17

第3回目のFormsより

授業全体の質問

LP

大学生になるだけではだめでその環境を生かして何ができるのかということを考えさせられました。自分はどこからも合格がもらえず、前期の試験で落ちた後に後期を受けて奇跡的に合格したので積極的な気持ちで入学してきましたが自分がこの先どんなことをしたくてどんな人間になりたいのかということが全く定まっていないのでそこをきちんと決めて頑張っていきたいです。(webexが調子が悪くて音声が届かない状態が続いておりじぶんでテキストや資料を読み、解釈することが続いているので何か別途で授業を確認できる方法を作っていただけると助かります。)

⇒録画データの公開を検討します

なお、「まとめノート」のURLについては授業管理でみなさんにメールをお送りしていますので、確認ください。

18

第4回の授業の目標と構成

<目標>

- ①現在（2回目）・過去（3回目）・未来（4回目）について考えてみる。
- ②「大学4年間」という時間軸で未来のことを考えてみる。

<構成>

- ①キャリアデザインにおいて重要な観点の説明
- ②ワーク（1）-自分の大学4年間を考える
- ③Formsへの記入
- ④ワーク（2）-他者に学ぶ

19

現在（2回目）・過去（3回目）・ 未来（4回目）について考えてみる。

3回目は「現在」という時間にたち「未来」のことを考えてみようと思います。

- 今回はこれから4年間のことを考えてもらいます。4年生のとき今日考えたことは「過去」のことになっています。そして、4年生の「現在」の土台となっているのは、いまから考える「未来」のことですが。
- 2回目の分類は変えることができませんが、4年後にあのときのことを振り返った場合、その気持ちは変わってるのではないかと思います。

20

「この1年」という時間軸で未来のことを考えてみる。

計画的偶発性理論Planned Happenstance Theory

- 計画的偶発性理論は、キャリアを築くときの一つの理論的枠組みです。計画的偶発性理論は、キャリアは予想しない偶発性によって決定される。したがって、偶発性を計画的に設計することでよりよいキャリアを形成していくという考え方です。
- まだ将来の夢がない、進路がわからないという学生さんは多いと思います。これからどんどんいろいろなことを経験し、できることを増やしていくとまた選択肢や景色は変わるのだと思います。

21

第4回の授業の目標と構成（再掲）

<目標>

- ①現在（2回目）・過去（3回目）・未来（4回目）について考えてみる。
- ②「この1年」という時間軸で未来のことを考えてみる。

<構成>

- ①キャリアデザインにおいて重要な観点の説明
- ②ワーク（1）-自分の1年を考える
- ③Formsへの記入
- ④ワーク（2）-他者に学ぶ

22

ワークの進め方

1. 大学4年間で力を注ぐこと。チャレンジすることを「マイン・ドマップ」を使って考える (15分)
2. Forms(1)への回答入力 (5分)
3. 受講生が入力したForms(1)の回答を読む (5分)
4. Forms(1) の回答を読んで「再考する」 (5分)

休憩は10分程度適宜とってください。

23

マインド・マップ (1)

マインドマップとは

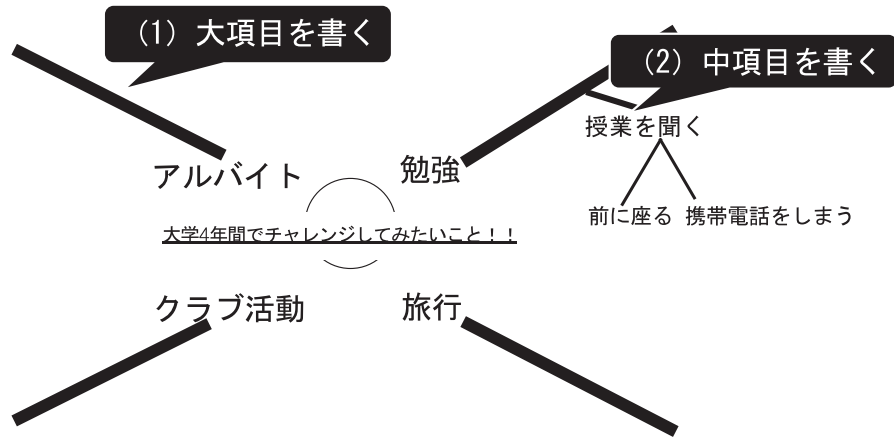
「やりたいことが頭の中にいっぱいあるので、やりたいことを洗い出したい!」と思うのは、よくあることです。思いついたことを、箇条書きで順番に書くのもいいですが、こんな「頭の中をスッキリさせたい!いろいろと洗い出したい!」というときに、マインドマップは効果を発揮します。

マインドマップ作成の順序

- (1) まずチャレンジする大きな括りを考える。
- (2) それをやり遂げるための具体的な計画を考える。
- (3) 書き終わったら、全体を眺める。修正すべきところは修正する。

24

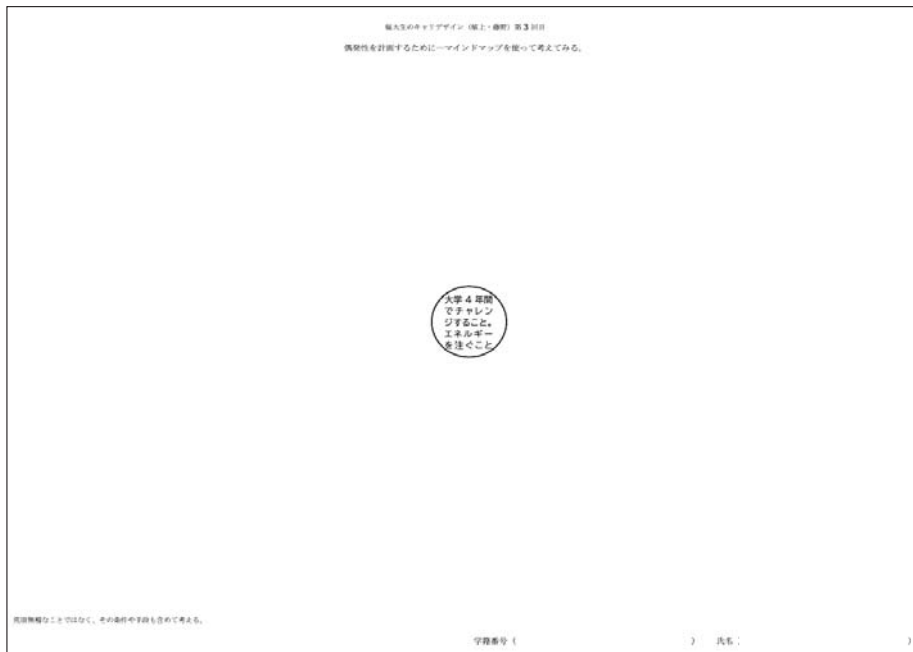
マインド・マップ（2）



- ・ 「大学生」のときにチャレンジ。タイミングって重要だと思います。
- ・ 「階層」を意識してください。

25

マインド・マップ（3）



26

第4回の授業の目標と構成（再掲）

<目標>

- ①現在（2回目）・過去（3回目）・未来（4回目）について考えてみる。
- ②「大学4年間」という時間軸で未来のことを考えてみる。

<構成>

- ①キャリアデザインにおいて重要な観点の説明(2)
- ②ワーク（1）-自分の大学4年間を考える
- ③Formsへの記入
- ④ワーク（2）-他者に学ぶ

27

今日の授業のまとめ
-メモをとってみてください-

28

- 1年後にどうだったかな?とリフレクション（内省）して欲しい。
- 背伸びをして欲しい。当初の計画を超えてできることが増えてきた場合、さらに背伸びをして欲しいと思います。新しいチャレンジをして欲しいと思います。
- 他者から学んで欲しいと思います。尊敬できる同級生や先輩、後輩、先生などいろいろな人のよいところをまねしてください。
- 自分のことができるようになったら、周りの人のことも考えてあげられるようになって欲しいと思います。

29

授業の感想・質問 -Forms(2)の記入の説明・実施-

30

次回について

課題研究型授業

5月28日（木）の授業冒頭で課題を説明します。

箱大生のキャリアデザイン（植上・藤野）第3回目

偶発性を計画するためにキャリアマップを使って考えてみる。



荒唐無稽なことではなく、その条件や手段も含めて考える。

学籍番号（

） 氏名（

）

福大生のためのキャリアデザイン 第 5 回目

どのような大学生になりたいか？

藤野真・植上一希

第 5 回目のポイント

第 5 回目は、第 2 回目から第 4 回目までの総括的回として課題作成型授業を実施した。

- 第 5 回目のポイントは、一旦立ち止まって自分自身と自分自身のこれからを言語化することにある。
- 「どのような大学生になりたいか？」。この問いに対する答えを考える前提として、第 2 回目から第 4 回目の授業では、受講している学生がどのような気持ちでここにいるのか、過去についてどう総括しているのか、未来をどのように構想しているのかということをお互いにシェアすることを心がけた。
- 対面授業の時は、グループでシェアし、数グループにその結果を発表してもらっていた。いま振り返ると、極めて狭い範囲の意見交換や偏った意見表明にとどまっていたのではないかと反省している。新型コロナウイルスの影響により Microsoft Forms を利用し学生の考えを募り、それをフィードバックしたが、これまで以上に多様な意見を受講生間で共有できたのではないかと感じている。

授業の進め方

(1)前回の振り返り[30 分]、(2)課題についての説明[10 分]、(3)課題作成[残り時間]

*課題作成型授業であるが、1 年生を対象とした授業であるため、授業の残り時間はチャットを解放し、課題作成に関する質問を随時受け付けた。

* (3)以降は Webex のミーティングから退出することを認めた。

授業の資料

(資料1)「福大生のためのキャリアデザイン」

…授業で利用したスライド

(資料 2)「福大生のためのキャリアデザイン」レポート執筆要領と今回のレポート」

…執筆要領

(資料3)「1 回目課題_レポートひな型_福大生のためのキャリアデザイン」

…雛形

福大生のためのキャリアデザイン

- 受講生がミーティングに参加するまでしばらく待っててください。
- カメラは共有する・しないは自由です。
(アイコンを設定してもらえれば、差異が出るなーです)
- マイクは「ミュート」にしておいてください。
- 遅くなりましたが先週のwebexの録画をまとめノートに掲載しています。

福大生のためのキャリアデザインのまとめノート

↓↓↓

FUポータル授業管理とoutlookにURLが送られています。

1

第5回 課題作成

「どのような大学生になりたいのか
—過去・現在・未来—に焦点をあてて」

2

前回の振り返り

自分で振り返る(2分)

3

第4回の授業の目標と構成

<目標>

- ①現在(2回目)・過去(3回目)・未来(4回目)について考えてみる。
- ②「この4年」という時間軸で未来のことを考えてみる。

<構成>

- ①キャリアデザインにおいて重要な観点の説明(2)
- ②ワーク(1)-自分の4年を考える
- ③Formsへの記入
- ④ワーク(2)-他者に学ぶ

4

一緒に勉強する意味

-勉強させてもらった学生-

僕は生野さんと諸橋さんという学生
さんに勉強させてもらいました

5

第4回目のFormsより（藤野）

<薬用リップの少女さん>

- 今、ダラダラしてしまっている僕を考え直させてくれることが書いてあったからです。
- 勉強する時は勉強、遊ぶ時は遊ぶ！というふうに、メリハリをつけること。
- 勉強10割、娯楽10割という言葉がとてもいいなと思いました。どっちも全力でメリハリをつけることが大切だなと思いました。

<低反発素材さん>

- 私も今まで人の顔色を窺って、八方美人であったので、自分の意思をしっかり持ちそれを人に伝えたり、それをもとに行動できる人になりたいです。
- 低反発素材さんの自分の意思をしっかりとった人間になる、という意見に共感しました。私も人に流されることが多くあり、改善したいとずっと思っていたので今回の授業を機に自分の意思を持ち、人に流されない人間になろうとおもいました。
- 自分の生き方における流儀を構築することを自分は考えたことがなかったなので、これからの人生で人に流されないためにもそのようなものをいけないのかもしれないと参考になった

6

第4回目のFormsより（藤野）

<晴れ女さん>

- バイトをしたり、サークルに入ることであくさんの人との関わりを持ちたいと考えている人がいて、自分と同じ考えの人がこんなにいるということは嬉しいと思いました。また、語学の勉強に力を入れる人や、留学を考えている人が多く、グローバル化を感じました。
- 自分の中でどうせ無理だと決めつけず、やりたいことに積極的にチャレンジしていこうとする意識を持つことが大切だということ。

<最近縄跳び買いましたさん>

- 留学生の私の立場と似てるような気がしました。バイトや勉強両方頑張りたいの思いが同じだと思います。また福大に進学を決めたときの理由と似てるように思います。福大の多くの人々の中でいろいろな考え方を学び、自己開発に努めたいです。
- 福大にはいろいろな考えの人がいるから吸収したいというところに共感しました。私はやりたいことを見つける上でいろいろな人と交流することが大事だと思いました。

7

第4回目のFormsより（藤野）

<みかんさん>

- 将来、人の支援をしたいからボランティア活動をしたいというのが、4年間だけでなくその先も見据えていると思った。
- ボランティア活動に参加して現地の方と交流を深めたいという考えが参考になった。私も同じようなことに挑戦したい。また、サークル活動を通して学部学科を越えた人間関係を築くという考えにも共感した。

<ジャム持参さん>

- 私がTOEIC800点台を目指している中、この方は900点台を目指していたのでこの人を追いかけるような気持ちで頑張りたいと思った。。
- ジャムを持参さんのTOEICを受けて900点を目指すという目標に自分も共感します。自分もTOEICで高得点を取って、就職活動に少しでも活かせるようにしたいです。

8

第4回目のFormsより（藤野）

<ぎよむさん>

- 一人暮らしをすることで自立をしたいというところに共感。今、私は一人暮らしをしています分からないことだらけでなかなか慣れるのが大変でした。家事をすべて自分でしなければならないこと、お金を自分で管理すること、新しい土地、場所に一人でいかなければならないことなどほんとうに自立していくのを身にしみて感じていきます。一人暮らしができる今の環境にそして親にも改めて感謝したいと思いました。
- 一人暮らしをし、親のありがたみをするといったことはとても大切だと思います。一緒に家族と生活していて、親にありがたみを感じることもあるでしょうが、やっぱり一人暮らしとは比べ物にならないくらいです。私自身一人暮らしですが（今は実家に帰ってきています）、いつも家族と笑い合いながらご飯を食べていた時のことを思い出し、毎晩泣いてました。家事をしてくれること、好きなものを買ってくれること何もかもが当たり前だった私にとっていきなり家族がいなくなるととてもやっていけないと思いました。今は実家に帰省中ですが、両親は共働きなので親が帰ってくる前に家事はすべて終わらせ、みんなで食卓を囲むことができるようにしております。

9

ミニッツ・ペーパーについて

-2回から4回目の総括-

10

第4回目のFormsより（植上）

<具体的なキャリアデザインについて>

今日のようにマインドマップなどを使って未来の計画を立てて、その通りに行くことはほとんどないと思うが、“未来のことを考える”ということをするだけで、自分がどのような未来を過ごしていきたいかを再確認出来、自分がどのような努力や経験をするべきかというのが明確になると思った。計画通りの未来になるか、ならないかが重要なのではなく、計画を立ててみるか、全く立てないかに大きな違いがあり、そして意味があると強く感じた。

<今の自分の言葉を記していく>

マインド・マップを書いてみて、凄く漠然とした叶えられるか分からない大きな夢を持っていますが、それらを叶えるためには誰よりも努力しないといけないと改めて感じました。マインド・マップに書いたことは絶対に有言実行したいです。今までの自分はいつも中途半端で楽な方に流されていました。大学生では、そんな自分を変えたいです。その思いをより強く実感することができました。必ず有言実行します。

11

第4回目のFormsより（植上）

<4年後の自分のために>

四年間を福大で過ごした私が最後に言う言葉として「成長したな、頑張ったな、福大でよかったな。」この3つが今のところあげられます。この言葉が自然に言えるようにこの4年間を無駄なものにせず意味のあるものにしていきたいなと思います。

<背伸び>

背伸びをしようと思う。迷ったらチャレンジするぐらいの心意気でいようと思う。そうすればきっとどんどん自分の世界や視野は広がっていくだろうし、より多くを学べると思う。

<教育の質について>

九大を目指していたが結局福大に通うことになっている私にとって「教育の質が福大は九大より劣っているという訳では無い」という言葉はかなり救いでした。

12

第4回目のFormsより（植上）

○過去のことにについて

少し話が変わるのですが、僕はこの20年ぐらい「日記」を書いています。

別に何か決まったことを書いているわけではなく、毎日書く時もあれば、2月以上書かなかった時もあります。書きたいことを書いています。本当のことを書かない時もあります。

たまに読み直したりするのですが、それが、自分の道標になっているなあと感じます。「あの頃の自分はこんなことを考えていたのか」とか「頑張っていたんだな」とか、「今とあんまり変わらないな」と思ったり…。

それは過去の自分と今の自分を結びつけるものになるし、ときに迷う自分を取り戻すものにもなります。

別に「日記」を書いたらいいよという話ではないです。

写真をとるのもいい。作品をつくるのもいい。SNSを利用するのもいい。

なんでもいいので、自分の道標になるものをつくるのはおすすめですよ、ということです。

13

第4回目のFormsより（植上）

○未来のことにについて

マインド・マップとは違うのですが、僕は1年・3年・5年ぐらいでの研究計画を作っています。

時期が短くなればなるほど、行動や成果目標は具体的になります。たとえば、「専門学校調査を15人分3か月以内で行って、その成果を8月の学会発表する」とか。

一方、時期が長くなればなるほど、行動や目標はやや大きめになります。たとえば、35歳のときには、「5年以内に研究成果を1冊の本にまとめて単著にする」としました。（なお、結果は1冊の単著ではなく6冊の共著でしたが…。）

そして、その研究計画を他の人と共有します。そもそも、研究費申請をする場合は、誰かに認めてもらわないといけないので、共有が前提なのですが、研究費申請をしない場合（本の執筆など）も研究仲間などに宣言したりします。そうすることで、一種の強制力が発生して、それを一つのモチベーションにもしているのです。

だから、マインド・マップ的なものもいくつかの種類作るのはお勧めですし、それを他者と共有するというのも一つのアイデアです。

14

課題作成の説明

15

授業の感想・質問 -Forms記入の説明・実施-

16

次回について

テーマ:

福岡大学での支援体制①
大学での学習を支援する教務課

用意するもの:

ノートなど

「福大生のためのキャリアデザイン」レポート執筆要領と今回のレポート

1. 書式（各レポートは以下で統一）

用紙：A4

字数：45字×45行

字体（本文）：MS明朝、（見出し等）：MSゴシック

余白：上25mm, 下・左・右25mm

- ・ 1行目にレポートタイトル、サブタイトルがある場合は2行目に入れる。タイトルは14pt.中央寄。字体はMSゴシック。
- ・ 2行目（サブタイトルがある場合は3行目）に学籍番号および氏名をMSゴシックで入れる。MSゴシック11pt.を右寄せで入れる。
- ・ 1行あけて本文。
- ・ 小見出し、節などのタイトルはMSゴシック10.5ptで左寄せにする。

（例）

=====

社会サービスにおける政策分析・政策評価の手法の開発と適用

GS069123 平岡公一

氏名のあと1行あける

はじめに

本レポートの目的は・・・

タイトル14pt.中央寄せ
学籍番号・自分の名前11pt.右寄せ
MSゴシックで

=====

2. 今回のレポートテーマ等について

○テーマ

第1回目から第4回目の授業をふまえて、あなた自身がどのような大学生になりたいのか、そしてその際にどのような観点を重視したいか・どのようなことに気をつけたいのかについて、議論を展開しなさい。

なお、レポートにおいては授業・テキストで用いた「キーワード」を最低でも3つ以上用いること。各キーワードの初出に下線を引くこと。

○提出期限など

- ・ 提出期限

6月17日（水）24時まで

- ・ 提出方法

FU_boxへアップロードしてください。

1限：<https://fukuoka-u.app.box.com/f/025aaf47f2ea4c4a940a414fdf4d7103>

2限：<https://fukuoka-u.app.box.com/f/c091e281d9de4b28a43426955e0477ae>

- ・ レポート量

2ページ。なお、2ページ目の30行目までは記入すること。

- ・ レポートのファイル名

「学生番号・名前」

タイトル

学籍番号 名前

はじめに

※ここから論述を始める。

必要に応じて、小見出しをつけたり、改行をすること。

福大生のためのキャリアデザイン 第 6 回目

福岡大学の支援体制① 大学での学習を支援する教務課

福本豪(教務課)・植上一希・藤野真

第 6 回目のポイント

第 6 回目は、教務課職員による教務関連制度の説明を実施した。

- 入学後に履修登録ガイダンスが実施されるものの、年度ははじめでもあるため、ガイダンスは駆け足にありがちである。したがって、第 6 回目は大学における教務関連制度に関する説明を実施することで、大学での学びに対する理解を深めることを目的としている。
- 事務職員に職務に関することの授業を担当いただくことは、普段の職務の振り返りであると同時に外化のきっかけを提供するのではないかと予想される。各部署の管理職の方に直接お伺いしたことはないが、福大生のためのキャリアデザインに登壇される職員の方は中堅職員(ジュニア)の方が多いように思う。Off-JT の場と捉えていただけているのであれば光栄である。

授業の進め方

(1)前回の振り返りと第 6 回目の説明[20 分]、(2)教務課による授業[60 分]、(3)ミニッツ・ペーパー:MS-Forms への回答[残り時間]

授業の資料

- (資料1)「福大生のためのキャリアデザイン」
…授業で利用したスライド(教員)
- (資料 2)「福大生のためのキャリアデザイン」
…授業で利用したスライド(教務課)

福大生のためのキャリアデザイン

- 受講生がミーティングに参加するまでしばらく待っててください。
- カメラは共有する・しないは自由です。
(アイコンを設定してもらえれば、差異が出るなーです)
- マイクは「ミュート」にしておいてください。
- 先週のwebexの録画をまとめノートに掲載しています。

福大生のためのキャリアデザインのまとめノート

↓↓↓

FUポータルの授業管理とoutlookにURLが送られています。

1

第6回 福岡大学での支援体制① 大学での学習を支援する教務課

2

前回の振り返り

3

第5回目のFormsより（藤野）

先週は「ピ」だけだったので、これといって振り返ることがないです。

個人的なことですいません。

日本学生支援機構の奨学金の一部の返還が終了しました。

大学…あと16万円ぐらい返還が残ってます。

大学院（修士課程）…今回200万ぐらい返還しました。返還し終わりました。

大学院（博士課程）…あと2年ぐらいで免除になります。

奨学金があったから大学行けたなと思ってます。

→もちろん、借金だろう！との批判があることは承知しています。なんの信用もない18歳に多額の額を貸してくれたことには感謝してます。そのおかげで選びたい人生を選ぶことができました。

奨学金を返せてよかったなとおもっています。

→ちゃんと返せてよかったなとおもっています。お金を手に入れる術や能力は大学を含めて学校で身につけたなとおもっています。みなさんも、その能力を磨いて欲しいなとおもってます（もちろん、さまざまな理由で返還ができない人を責めてはいません）。

4

第5回目のFormsより（植上）

TOIECって福岡大学で受けれますか？

⇒はい。積極的でいいですね。福大のエクステンションセンターは充実しています。その講座を調べてみましょう。

レポート課題は、Wordで作成でしたよね？

⇒はい。どんどんWordに慣れていきましょう。

レポートはまだ一回しかしてませんか？

⇒はい、前回の提示が1回目です。

大学のお知らせの中で、遠隔授業のみでは技術の習得および技能を身に付けることが困難である実験および実習科目について段階的に実行していく予定だとありますが、今後本講義で対面授業が実施される予定はあるのでしょうか。また、定期試験の代わりとなる課題の詳細を知りたいです。

⇒この授業はすべて遠隔です。また、定期試験の代替課題は後日お知らせします。

5

第5回目のFormsより（植上）

植上先生が20年ほど日記をつけている話が印象に残りました。また日記は毎日つけなきゃいけないという固定概念があったけれどそれよりもその時に思ったことを形に残すことが大切だと思ったので私もしてみたいと思いました。ワードでレポート作成は初めてなので不安ですができるように頑張ります。

⇒ありがとうございます。ぜひ、つけてみてください。

僕もコロナ禍で1か月ぐらい日記は空白でした。やっと5月の下旬から再開しました。なお、僕が好きな漫画家のヤマシタトモコさんは『違国日記』という作品を書いています。おすすめです。

6

第5回目のFormsより（植上）

植上先生は、長期の計画を立てたときに、その計画の進行度はどういう方法で管理、確認しますか？

⇒研究費関係の強制的なものでは、1年に1回、研究実績書・報告書を書くことになっています。自主的には、研究仲間と「研究計画」の交流を定期的に行っています。そうした研究会等やそれにかかわる準備のなかで、計画の管理・確認をしています。

あと、短期的には手帳ですね。これは1週間単位でわかります。

7

第5回目のFormsより（植上）

まだはっきりとした夢ではないのですが、スクールカウンセラーに興味を持っています。スクールカウンセラーになろうと思ったら教職課程を取っていないとだめなのでしょうか。調べてもよくわからなくて、もし教職課程が必要であればもう目指すのは難しいのかな、と考えています。もしわかることがあれば教えていただきたいです。お願いします。

⇒スクールカウンセラーには教職免許は必要ありません。また、特に求められることもありません。教育・臨床心理学科に在籍されている方なので、そこでしっかりと教育・教育学についても学んでください。そのうえで、大学院進学等を経て公認心理士になるというのが一般的なキャリアルートです。

8

6・8・12・13回の目的

9

第2回の授業の振り返り

キャリアデザインをするうえで 重視してほしい2つの観点

- (1)自身が参入する「社会」について
しっかり認識（＝社会認識）する

- (2)自分自身の資源や希望について
しっかり認識（＝自己認識）する

※今回は(1)について説明します。(2)は次回説明します。

10

第2回の授業の振り返り

(1)自身が参入する「社会」についてしっかり認識（＝社会認識）する

そもそも「社会」とは…

「人間が集まって共同生活を営む、その集団。諸集団の総和から成る包括的複合体をもいう。自然的に発生したものと、利害・目的などに基づいて人為的に作られたものがある。家族・村落・ギルド・教会・会社・政党・階級・国家などが主要な形態。」 『広辞苑』

⇒もちろん、大学も「社会」の1つだし、様々な職業や企業も「社会」となる。

11

第2回の授業の振り返り

(1)自身が参入する「社会」についてしっかり認識（＝社会認識）する

「社会」のメンバーシップの認識

それらの「社会」のなかで

- どのような役割・責任を果たすのか。
 - どのような地位につくのか。
- ＝キャリアデザインの重要な要素

例)

- 「△△」職業に就く～日本社会全体のなかでの役割・地位の選択
- 「サークルで部長になる」～サークルという社会での役割選択

<キーワード> 「メンバーシップ」テキストp.13参照

12

第2回の授業の振り返り

(1)自身が参入する「社会」についてしっかり認識（＝社会認識）する

キャリアデザインの基礎は「社会」認識

そして新参者はとくに「社会」について

- メンバーの構成や特徴
 - 目的・価値観・ルール
 - システム・行動様式
- …などなどの認識が不可欠

<キーワード>「社会化」
「個人がその所属する社会や集団のメンバーになっていく過程」

13

第2回の授業の振り返り

(1)自身が参入する「社会」についてしっかり認識（＝社会認識）する

みなさんにとってまず必要なのは…

- 「大学」・「福岡大学」という
社会についての認識
- 「大学生」・「福岡大学生」という
メンバーシップについての認識
- 「大学生」・「福岡大学生」になる
具体的行動（＝「社会化」）

14

6・8・12・13回の授業の目的

福岡大学の「ルーキー」として
各部署の職員の方々のお話を聞いて…

1. 福岡大学のメンバーの理解を深める
2. 大学内の様々な取り組みにおける
ルールやシステムの理解を深める
3. 福大生になるための具体的な行動を考える

⇒第6回は教務課の福本さんのお話です

15

授業の感想・質問 -Forms記入の説明・実施-

16

次回について

テーマ:

大学生活・大学での学習③
大学生の学びの特質(第4章)

用意するもの:

テキスト、ノートなど



福大生のためのキャリアデザイン

(2020.06.04)教務部教務課 福本 豪

福岡大学
FUKUOKA UNIVERSITY

目次

- ① 高校と大学の違いを整理
- ② 大学の授業形態
- ③ カリキュラムと学び
- ④ 授業アンケート「FURIKA」の活用
- ⑤ 教務課の業務(授業支援)について
- ⑥ 最後に…

人をつくり、時代を拓く。
福岡大学

① 高校と大学の違いを整理

高校までと大学では、学ぶ内容も学び方も大きく異なります。

所属・構成

高校 ・いろいろな興味・関心を持ち、個別の進路をめざす生徒が同じ教科・科目を勉強。



大学 ・同じ分野に興味を持つ人が学部・学科に集い学ぶ。
 ・学部・学科、さらにはコース、専攻という特定の専門分野を学ぶ組織に、自分と同じ分野に興味、関心を持つ人たちが集まり、それぞれに編成されたカリキュラムに従って学ぶ。

教員

高校 ・教科の教員免許を持つ先生が、教育者として学生の指導や生活指導などを行う。



大学 ・教育者・研究者の2つの顔を持つ大学の先生。
 ・大学の授業には、先生の優れた研究の成果が反映されている。

① 高校と大学の違いを整理

高校までと大学では、学ぶ内容も学び方も大きく異なります。

時間割

高校 ・クラス全員が決まった時間割に沿って勉強。



大学 ・たくさんの授業科目から自分だけの時間割を作って学ぶ。
 ・大学では学部・学科ごとに、授業計画を明示した「シラバス」が学生に提供される。これをもとに、何をどう学ぶかを自分で判断し、履修計画を立てて受講科目を登録し、自分だけの時間割を作って学ぶ。

授業形態

高校 ・講義形式でクラス単位の授業



大学 ・講義のほか、演習・実習など多彩。
 ・大学では、講義形式の授業のほか、5～20人の少人数制で、自分のテーマに沿って調査・研究発表、討論などをしながら学ぶゼミナールや演習、実験、実習など、多彩な形式の授業がある。

② 大学の授業形態

・高校とは異なり、大学での学習は学生が授業を選択し、履修する。授業形態としては様々なものがあり、座学や実験・検証・討論・発表などといった形態を設けて、学生の理解を高める方法が組み込まれている。

・大学で行われる授業は、内容が多様で分量も多い。学習を効率的、より成果のあるものにするには授業に臨む姿勢が大事。授業前にシラバスを確認し、その日に行われる授業の内容を授業計画で確認し、事前にテキストを読むなど……事前準備が重要です。

・形態は多様、大教室で教員が一方的に話し続ける講義以外にも学生に体験をさせたり、参加を促したりと、学生が「主役、主体」となる授業が増えている。



人をつくり、時代を拓く。
福岡大学

② 大学の授業形態

① 講義

- ・最もオーソドックスな授業の形態。教員から学生に対する知識の伝達为中心。
- ・学部・学科のカリキュラムに沿って、教員が学問の一端を学生に講義する。

【シラバスより例】

- ・〇〇の概要や基本的な知識を系統的に身につける。
- ・〇〇の概要と特徴をよく理解し、次の年次以降の学習・研究の基礎…
- ・〇〇の「知識」ひいては「見識」に裏打ちされた倫理意識を身に付け、
- ・〇〇の基本となる知識と技術を理解し、その習得した計画原論を応用して〇〇に活かせるようになることを目指す
- ・幅広い現代の問題に通じる哲学的なアイデアを、詳細に検討することで、皆さん自身が正確かつ柔軟な思考の技能を身につけることが目指す

講義 = 知識の伝達

当該科目分野においての基本的な知識や考え方を養い、研究方法と姿勢を学び問題解決能力を身に付ける。



人をつくり、時代を拓く。
福岡大学

② 大学の授業形態

② 演習

- ・教員の指導のもとに学生が主体的かつ研究活動を行い発表する授業の形態。演習は、「ゼミナール」とも呼ばれる。
- ・少人数の受講者が教員の指導を受けながら、特定のテーマについて取り組む。

【シラバスより例】

- ・テーマに関する資料の検索・収集方法および論文の書き方について指導する。
- ・テーマに関する情報の収集、実験計画の立案、実験装置の整備、データの評価、グループでの議論、そこから導かれる結論など、自分が中心となって取り組む。
- ・問題発見・根拠ある意見の構築といったスキルを身につけるトレーニングとします。自分自身で問題発見し、処理・解決する。
- ・調査や実験によって得られたデータの処理や分析等を行い、論文としてまとめるための方法を学習する。

情報収集

プレゼン
テーション

問題発見

分析

論文執筆

コミュニ
ケーション

演習 = さまざまな学問的刺激を受ける

教員指導のもと学生が研究・発表・討議を行うことを主眼とした、少人数の授業の形式のため、積極的に授業に参加することが求められる。



福岡大学

② 大学の授業形態

③ 実験

- ・教員および学生が見出した理論や仮説が正しいのか、一定の条件を設定して実地に確かめる授業の形態。
- ・器具・道具などを用いて学生が参加して行う科学的合理的な方法、スキル、データにもとづき観察され証拠や効果を分析する。一般には理工系において演習に代わる必須な授業の形態。
- ・実験は、仮説が正しいかどうかを検証することが目的。そのために、準備段階から前提条件や手順を定めて行う。同じ条件で別人が実行しても、同じ結果が得られるようでないといけない。

④ 実習

- ・学生の実地または実物について学習、あるいは、実技や技能の修得を中心として進行する授業形態。
- ・実習は、技術を習得することが目的。そのため、現場あるいは、それを模した環境下で、学んだ操作や手続きを実行してみることに。

⑤ 実技

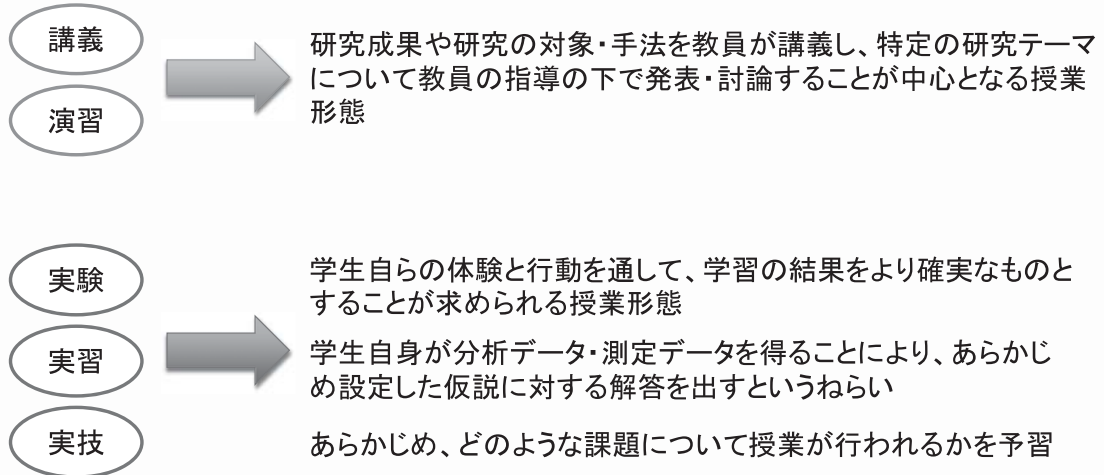
- ・技術や演技などを実際に行うこと。
- ・教育においては、実験や実習とともに、学生自身の行動によって習熟させることが基本。



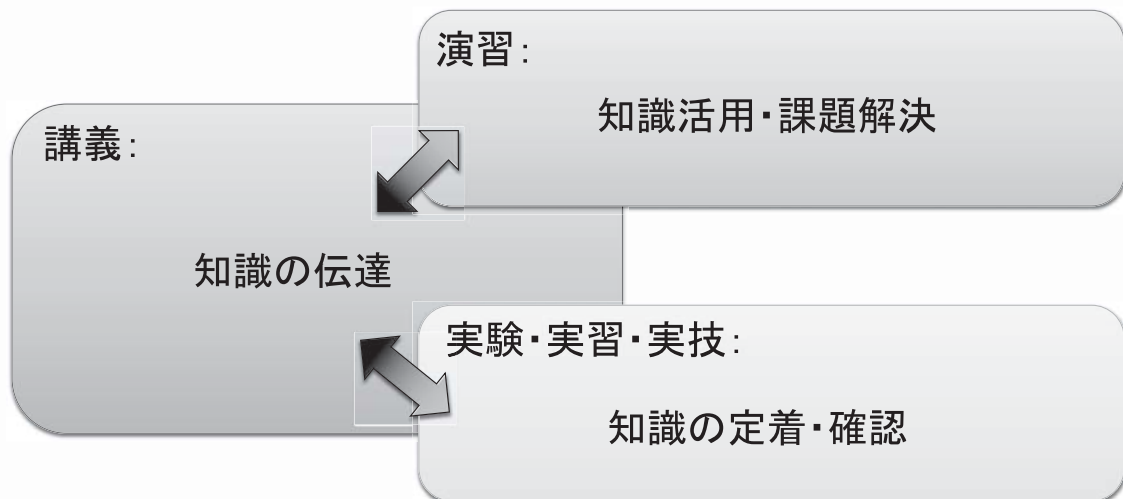
人をつくり、時代を拓く。

福岡大学

② 大学の授業形態



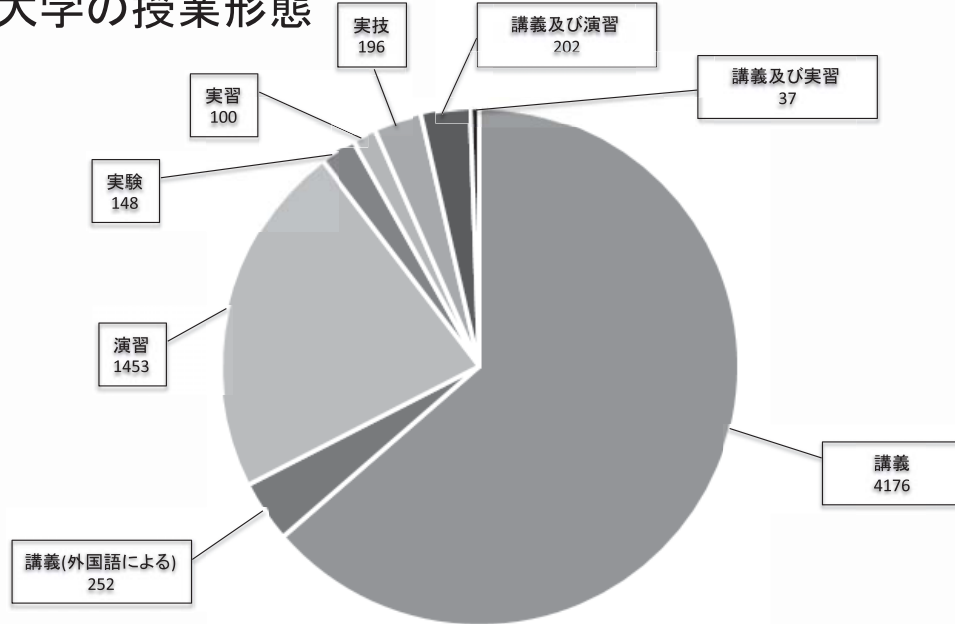
② 大学の授業形態



出典:「アクティブラーニングで学生が成長するのか」(河合塾編著)より加工

大学には多様な授業形態の科目があるが、どれも
自ら積極的に学び取る姿勢(自主性)が大切。

② 大学の授業形態



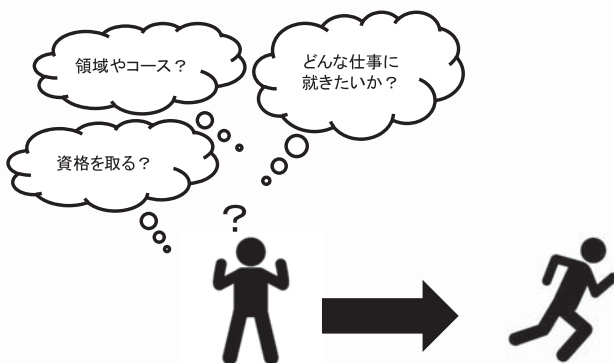
いずれの授業形態においても、教員と学生とのコミュニケーションは重要

③ カリキュラムと学び

履修計画

履修計画とは、卒業までの4年間でどのような科目を選び、どのように単位を修得していくかを定めることである。

大学では、将来の職業などを考えて、**皆さん自身**が受講したい授業科目を選択し、履修計画を立てる。将来の進路、専攻、自分の興味・関心・目的に合わせて、科目の区分ごとに決められた卒業に必要な単位数に不足しないように選択し、学習する必要がある。



	必修科目	選択必修科目	選択科目
共通教育科目	フレッシュマン・イングリッシュ、生涯スポーツ演習 など	総合教養科目 科目区分ごとに履修しなければ ならない単位が決まっています。	
専門教育科目	各学部で個別に設定 学修ガイドの「授業科目表」で確認しましょう。		
	必ず履修 しなければならない科目	指定された 複数の「科目」の 中から選択	自由に選択 できます

③ カリキュラムと学び

履修計画



学修ガイド

授業、試験、履修登録に関すること、学習を始める上での基本的なあらゆることが掲載されている。授業に関して分からないことがあれば、まず、自分の学部の『学修ガイド』を開き、確認してみましょう。

大学においては、一定の制限に沿って、学生自身が授業科目を選択し履修計画を作成することになっている。

授業科目の選択に当たっては、自分の好きな科目を自由に選択するのではなく、学科の特色や特性、将来の進路、自分の個性などを考慮しながら系統的に選択し学習する必要がある。

卒業するために必ず修得しなければならない必修科目、指定された授業科目群の中から選択して修得する選択科目に分けられている。

学生は、卒業するまでの4年間に、一定の制限に沿って受講する授業科目を選択し、年次計画を立て履修計画を作成する必要がある。



③ カリキュラムと学び

科目選択

シラバスとは...

各授業科目の詳細な授業計画のこと。シラバスには、科目名だけではわからない詳細な情報が記載されている。

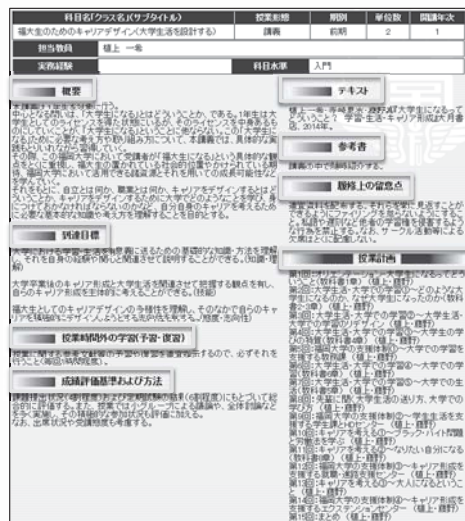
シラバスの役割

- ① 授業選択ガイドとしての機能
- ② 授業の雰囲気伝える文書としての機能
- ③ 授業に関する諸ルールを示す事務的な連絡文書
- ④ 学習効果を高める文書としての機能



シラバス = 授業計画のバイブル

- ・どのような授業を受けたいのか、また授業を通してどのような知識・理解を深めたいのかを考える時の参考。
- ・個々の授業科目の履修前だけでなく履修中も目を通し、効果的に使って学習に役立ててください。



③ カリキュラムと学び

科目選択

福大生のためのキャリアデザイン

この科目を選択したポイントは何？

- ① 科目の概要
- ② 科目の授業計画
- ③ 科目の到達目標
- ④ 科目の成績評価方法
- ⑤ 授業形態
- ⑥ 何となく
- ⑦ 先輩に進められた
- ⑧ その他

科目名「クラス名」(サブタイトル)	授業形態	期別	単位数	開講年次
福大生のためのキャリアデザイン(大学生活を設計する)	講義	前期	2	1
担当教員	植上 一希			
実務経験	科目水準	入門		

概要	テキスト
<p>本講義は1年生を対象に行う。中心となる問いは、「大学生になる」とはどういうことか、である。1年生は大学生としてのライセンスを得た状態に在るが、そのライセンスを中身あるものにしていくことが、「大学生になる」ということに他ならない。この「大学生になる」ために必要な考え方や取り組み方について、本講義では、具体的な実践もとりいれながら習得していく。</p> <p>その際、この福岡大学において受講者が「福大生になる」という具体的な観点をとくに重視し、福大生の置かれている社会的な位置やかけられている期待、福岡大学において活用できる諸資源とそれをを用いての成長可能性などを学んでいく。</p> <p>それをもとに、自立とは何か、職業とは何か、キャリアをデザインするとはどういうことか、キャリアをデザインするために大学でどのようなことを学び、身につけておく必要があるのかなど、自分自身のキャリアを考えるために必要な基本的な知識や考え方を理解することを目的とする。</p>	<p>植上一希・寺崎里水・藤野真「大学生になるってどういうこと？ 学習・生活・キャリア形成」大月書店、2014年。</p>
到達目標	参考書
<p>大学における学習・生活を有意義に送るための基礎的な知識・方法を理解し、それを自身の経験や関心に関連させて説明することができる。(知識・理解)</p> <p>大学卒業後のキャリア形成と大学生活を関連させて把握する観点を有し、自らのキャリア形成を主体的に考えることができる。(技能)</p> <p>福大生としてのキャリアデザインの多様性を理解し、そのなかで自らのキャリアを積極的にデザインしようとする志向性を有する。(態度・志向性)</p>	<p>講義の中で随時紹介する。</p>
授業時間外の学習(予習・復習)	履修上の留意点
<p>授業に関する参考文献等の予習や復習を適宜指示するので、必ずそれを行うこと(毎回1時間程度)。</p>	<p>適宜資料を配布する。それらを常に見返すことができるようにファイリングを怠らないようにすること。私語や遅刻など他者の学習権を侵害するような行為を禁止する。なお、サークル活動等による欠席はとくに配慮しない。</p>
成績評価基準および方法	授業計画
<p>課題提出状況(4割程度)および定期試験の結果(6割程度)にもとづいて総合的に評価する。また、授業では小グループによる議論や、全体討論などを多く実施し、その積極的な参加状況も評価に加える。なお、出席状況や受講態度も考慮する。</p>	<p>第1回:オリエンテーション-大学生になるってどういこと(教科書1章) (植上・藤野) 第2回:大学生活-大学での学習①~どのような大学生になるのか、なぜ大学生になったのか(教科書2-3章) (植上・藤野) 第3回:大学生活-大学での学習②~大学生活・大学での学習のリデザイン (植上・藤野) 第4回:大学生活-大学での学習③~大学生の学びの特質(教科書4章) (植上・藤野) 第5回:福岡大学の支援体制①~大学での学習を支援する教務課 (植上・藤野) 第6回:大学生活-大学での学習④~大学での学習(教科書6章) (植上・藤野) 第7回:大学生活-大学での学習⑤~大学での生活(教科書5章) (植上・藤野) 第8回:先輩に聞く-大学生活の送り方、大学での学び方 (植上・藤野) 第9回:福岡大学の支援体制②~学生生活を支援する学生課とHセンター (植上・藤野) 第10回:キャリアを考える①~ブラック・バイト問題と労働法を学ぶ (植上・藤野)</p>

③ カリキュラムと学び

科目選択

到達目標と成績評価

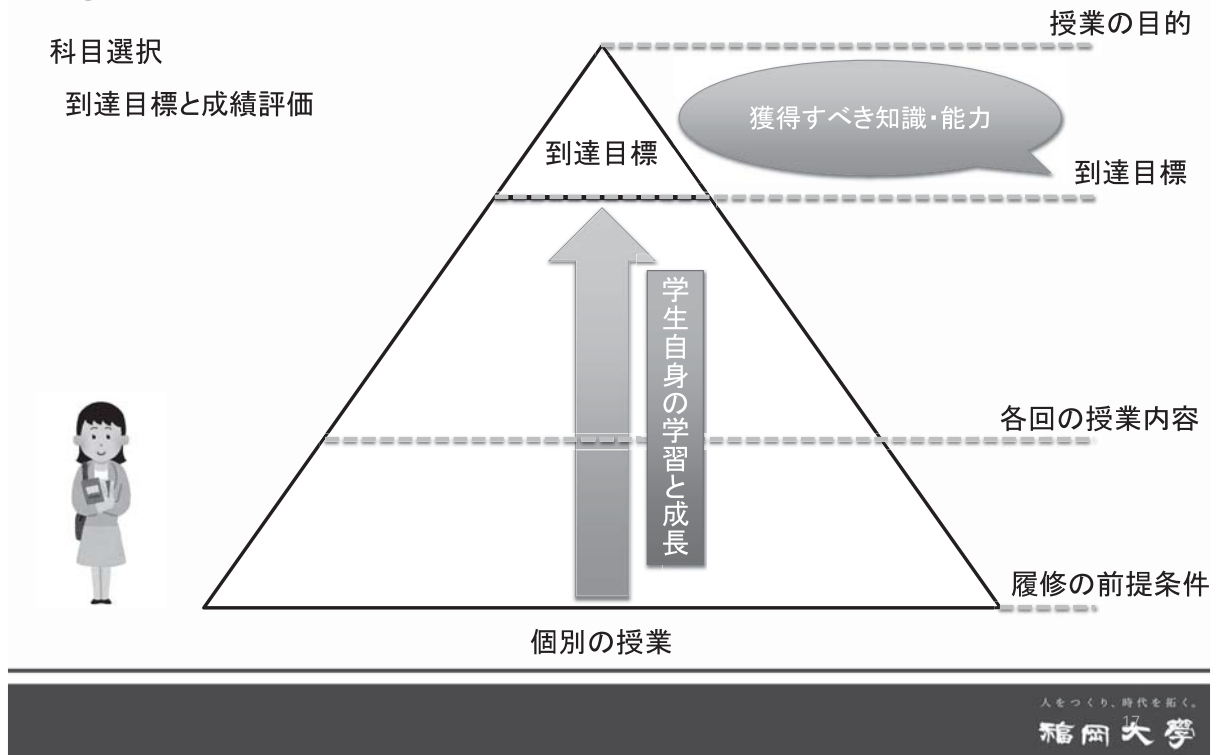
到達目標は、授業を履修すると「こんなことができる」「こんなことを知ることができる」というイメージ。到達目標は、授業を通じて学生の皆さんがどのような成長を遂げてほしいか具体的に示している。「成績評価の方法」は、「到達目標」の達成度を測定する方法でもある。

つまり、最終的に単位(担当教員による成績評価で合格点)を取得するためには…

その授業の到達目標にどれだけ到達したのかという観点が重要！！



③ カリキュラムと学び



③ カリキュラムと学び

科目選択

到達目標と成績評価

福大生のためのキャリアデザイン

大学における学習・生活を有意義に送るための基礎的な知識・方法を理解し、それを自身の経験や関心と関連させて説明することができる。(知識・理解)

大学卒業後のキャリア形成と大学生活を関連させて把握する観点を有し、自らのキャリア形成を主体的に考えることができる。(技能)

福大生としてのキャリアデザインの多様性を理解し、そのなかで自らのキャリアを積極的にデザインしようとする志向性を有する。(態度・志向性)

自立とは何か、職業とは何か、キャリアをデザインするとはどういうことか、キャリアをデザインするために大学でどのようなことを学び、身につけておかなければならないのかなど、自分自身のキャリアを考えるために必要な基本的な知識や考え方を理解することを目的とする。

ここまでの内容をまとめると……

多様な授業形態が大学にはあり、どれも、自ら積極的に取り組む姿勢(自主性)が大事。



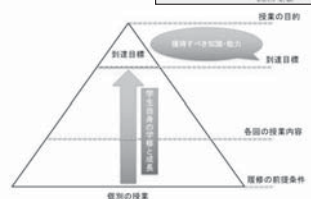
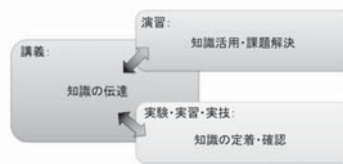
実際に、履修登録をする際には、学修ガイド、シラバスを参考とし、授業、試験、履修登録に関すること、学習を始める上での基本的なあらゆること、また、どのような授業を受けたいのか、また授業を通してどのような知識・理解を深めたいのかを事前に確認。



授業を通じて学生の皆さんがどのような成長を遂げてほしいか具体的に示している「到達目標」を確認し、授業に臨む。



担当教員による成績評価。



人をつくり、時代を拓く。

福岡大学

④授業アンケート「FURIKA」の活用

【1つの疑問…】

皆さんが「福大生のためのキャリアデザイン」が80点だったとします。

【「福大生のためのキャリアデザイン」の到達目標】

- ①大学における学習・生活を有意義に送るための基礎的な知識・方法を理解し、それを自身の経験や関心と関連させて説明することができる。(知識・理解)
- ②大学卒業後のキャリア形成と大学生活を関連させて把握する観点を有し、自らのキャリア形成を主体的に考えることができる。(技能)
- ③福大生としてのキャリアデザインの多様性を理解し、そのなかで自らのキャリアを積極的にデザインしようとする志向性を有する。(態度・志向性)



どの到達目標がどの程度達成できたの?????

人をつくり、時代を拓く。

福岡大学

④授業アンケート「FURIKA」の活用

客観的な「直接評価」
(例: 先生の成績評価など)を補完

学生自身が何を、どこまで学んだのか、自分自身の学習を振り返る「間接評価」(学生の自己評価)

①学習時間

一回の授業に対してどれくらい学習(予習復習、資料の取集・閲覧を含む)しましたか? 授業前後に友人と内容について話したり、試験勉強や課題のレポートを書いた時間も含みます。

0 分

②到達度

この授業のシラバスには、以下の到達目標が設定されています。あなたはこの授業をつけて、各到達目標にどの程度到達できたと感じますか?

1) データベースの重要性とデータベースのモデルを理解する。

- 1.全くできなかった
- 2.あまりできなかった
- 3.どちらともいえない
- 4.ややできた
- 5.充分にできた

2) SQLによるデータベース操作ができるようになる。

- 1.全くできなかった
- 2.あまりできなかった

③積極性

この授業に対してどの程度主体的・積極的に取り組むことができましたか? (前向きな姿勢での出席、予習復習、課題の提出、授業での発言、グループワークでの活動への参加、等)

- 1.全くできなかった
- 2.あまりできなかった
- 3.どちらともいえない
- 4.ややできた
- 5.充分にできた

④理解度

この授業の内容はどの程度理解できましたか?

- 1.全くできなかった
- 2.あまりできなかった
- 3.どちらともいえない
- 4.ややできた
- 5.充分にできた

⑤学んだこと

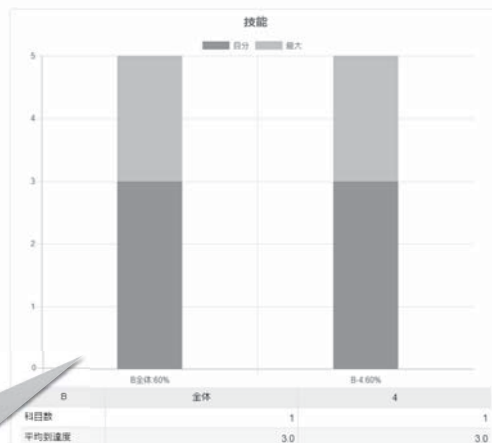
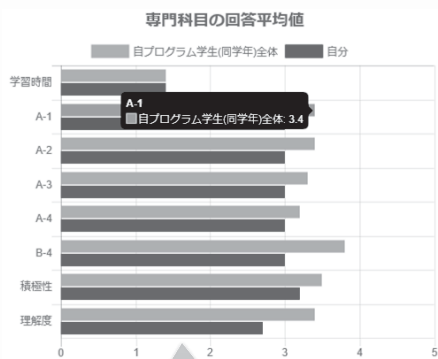
この授業で特にあなたが学んだことは何でしょうか。

シラバスの到達目標と連動している。そのため、先生は学生が自己評価しやすいように、学生を主体とし、到達目標を設定しています。

人をつくり、時代を拓く。

福岡大学

④授業アンケート「FURIKA」の活用



全体に対して、自分自身がどの程度達成できているのか視覚的に確認できる。

④授業アンケート「FURIKA」の活用

「FURIKA」とは、自分や他の学生たちがその授業やその学期で何をどんな風に学んだのか、「自分の学び」を確認できるフィードバック情報のこと。フィードバックとは、今回の結果を次回の行動に活かしていくような仕組みのこと。



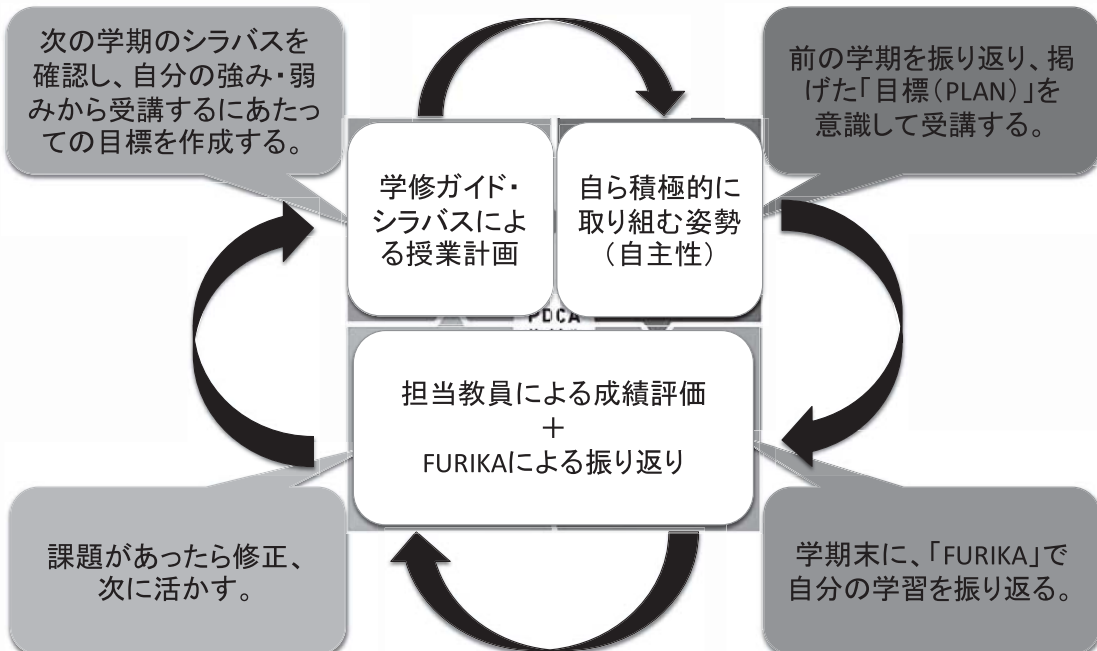
授業アンケート「FURIKA」の目的

- ・学習した内容を関連付ける。
- ・自身の学習の傾向、課題発見。
- ・学生が主体的・自律的な学修者として成長。
- ・科目選択の際の情報源として活用。

PDCAサイクル



④授業アンケート「FURIKA」の活用

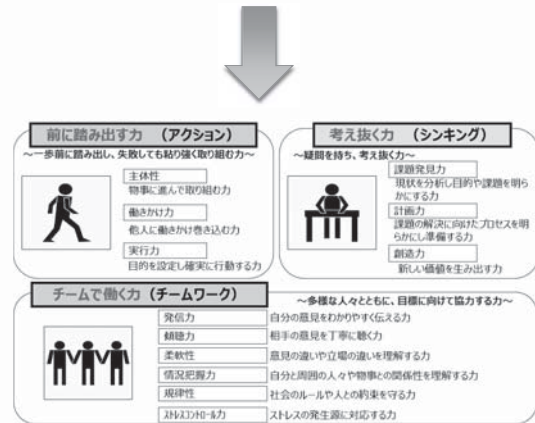


④授業アンケート「FURIKA」の活用



※薬学部や医学部医学科は6年間

自分自身の学習を振り返る経験を授業ごと、学期ごとに積み重ねていくことによって、次第に、学習した内容に関連付けたり、自身の学習の傾向、課題を発見するなど、より主体的・自律的な学習者として成長していく。

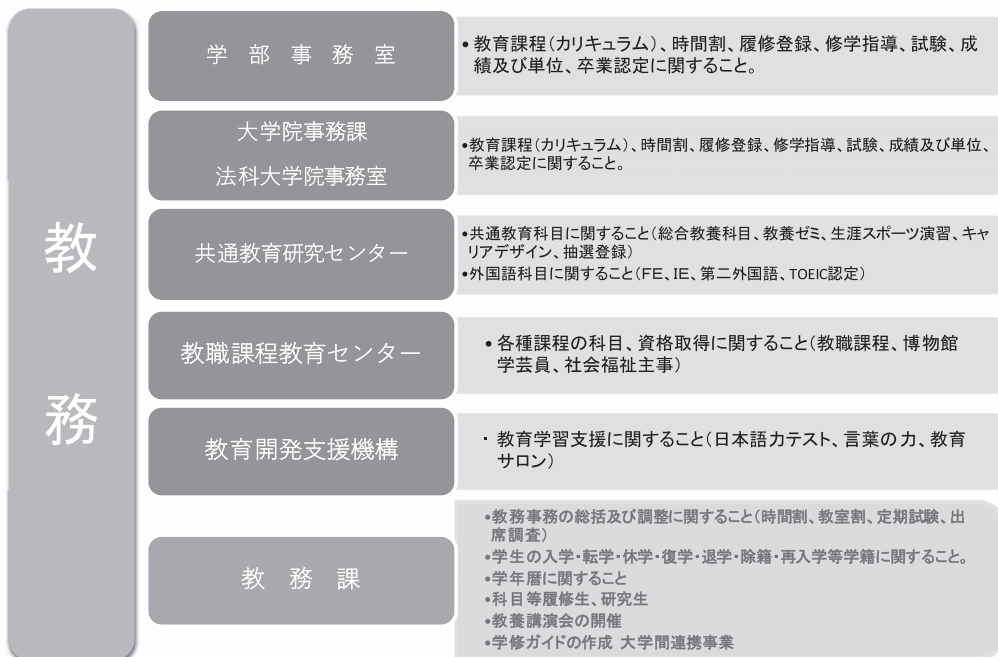


引用：経済産業省ホームページ「人生100年時代の社会人基礎力」説明資料より

人をつくり、時代を拓く。

福岡大学

⑤教務課の業務(授業支援)について



人をつくり、時代を拓く。

福岡大学

⑤教務課の業務(授業支援)について

● 学年暦、教務関係行事の企画

- 履修指導ガイダンス、履修登録、授業日、振替授業、補講、定期試験、集中講義、成績発表など
- 9 学部31 学科 10 研究科が同一キャンパス ⇒ 全学行事との調整
- 授業回数 15 回+試験 1 回 ⇒ 振替授業日、学修ガイド年間カレンダー

● 授業時間割の編成

- 2020年度の開講科目数(学部) 約6,600科目(医学部の上位学年科目を除く)
- 共通教育科目、外国語科目、保健体育科目、専門教育科目のバランス

● 教室の管理、授業のサポート

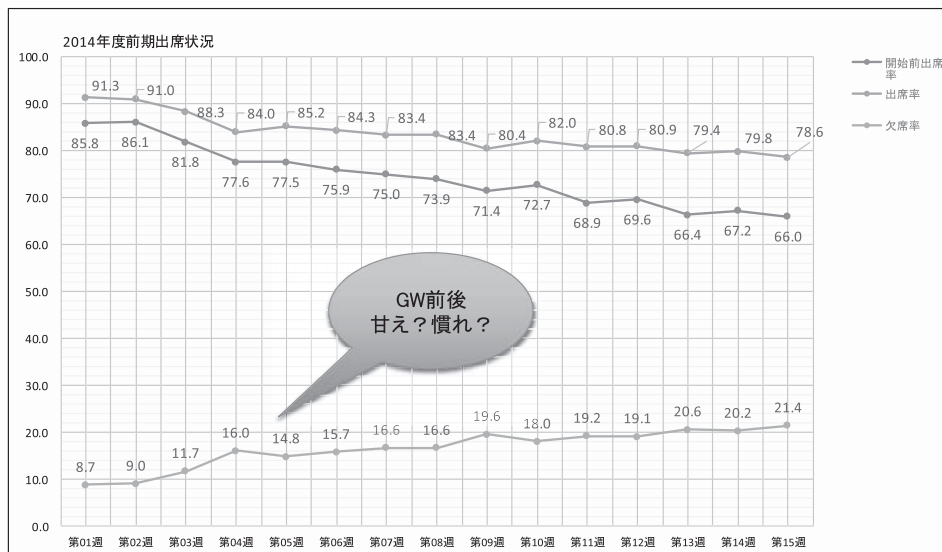
- 授業教室数 380 教室(研究室、一部実験室除く)
- 教室の規模(収容) + 登録者数 + 授業方法(プロジェクタ、マイク、DVD、パソコン)



⑤教務課の業務(授業支援)について

● 出席管理の運用・サポート

- IC学生証を使い、センサーを設置した教室等で出席状況を記録
- 学生の皆さんが自ら生活管理を行い、着実に修学を進めていくもの



⑤教務課の業務(授業支援)について

● 定期試験に関する調整

- 前期試験(7月〇日～8月〇日)、後期試験(1月〇日～1月〇日) 各8日間
- 試験の時間割は学生によって各々違います。
- 試験教室は、いつもの講義教室とは異なります。また、試験時間も、通常の授業時間と異なります。
- 試験は『座席』が指定されています。
- 入室が許されるのは、試験開始後20分まで！
- 試験場では監督者の指示に従うこと。
- 不正行為は絶対にしてはいけません！前期(後期)完結の全授業科目及び通年で実施する全授業科目の登録を「放棄」として取り消します。進級・卒業に大きな影響を与えます。

試験時間	1時限 9:30-10:30	4時限 13:50-14:50	夜1時限 18:20-19:20
	2時限 10:50-11:50	5時限 15:10-16:10	夜2時限 19:50-20:50
	3時限 12:30-13:30	6時限 16:30-17:30	

<試験座席表>

(1)	(32)	(63)
EE100355	EE100408	EE100
(2)	(33)	(64)
EE100357	EE100409	EE100
(3)	(34)	(65)
EE100359	EE100411	EE100

⑤教務課の業務(授業支援)について

● 追試験、再試験に関する調整

- 追試験
 - 前期や後期の定期試験を、病気その他やむを得ない事情によって受験できなかった者に所定の手続と審議を経て許可される試験
 - 前期追試験(8月下旬に実施予定)、後期追試験(2月下旬～3月上旬に実施予定)
- 再試験
 - 定期試験で不合格となった者については、願い出により再試験を行う(制限あり)
 - 第4年次以上(薬学部は第6年次以上)の卒業見込者にして、既得単位数と新たに登録した単位数との和が卒業に必要な単位数に達し、かつ、その必要単位数のうち8単位以内の不合格点を得た者
 - 再試験(2月下旬～3月上旬に実施予定)
 - 例年 1,000 ～ 1,200名程度(科目数2,500科目程度) ※計画的な単位修得を！

● 学修ガイド・シラバス等の企画・調整

- 学則や学科履修規程を熟読して慎重に履修登録をするよう心がけること

⑤教務課の業務(授業支援)について

学生の入学・転学・休学・復学・退学・除籍・再入学・転部転科等学籍に関すること。

「学籍」とは、大学での所属を示すもの。学籍は、入学によって発生し、卒業、退学または除籍によって喪失。

＜学籍台帳＞ 永久保存！

本学に入学した者の在籍期間における学籍異動等の学生情報を管理するもの、いつ「入学」し、またいつ「卒業」したのか、休学や退学、再入学など学生一人ひとりの記録を管理



異動に伴う手続き・窓口相談

異動に伴う理由は様々・・・

異動の中でも、退学予定者にとって、教務課は 『最後の窓口』

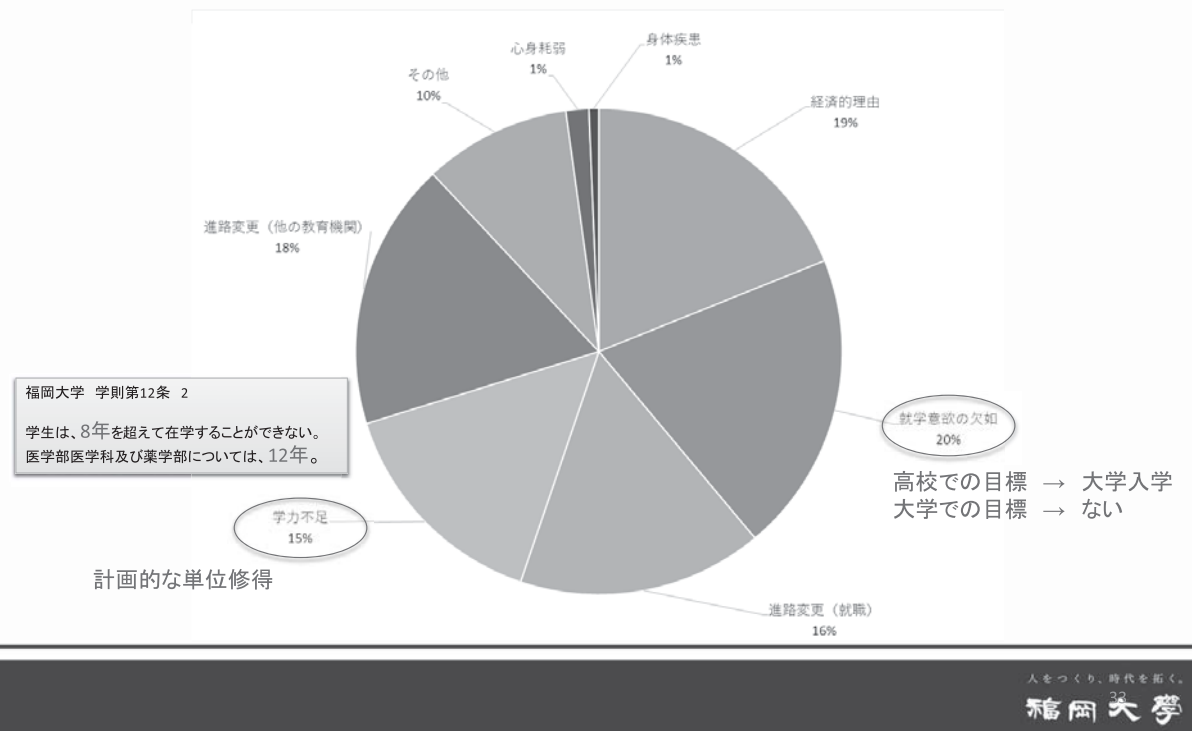
⑤教務課の業務(授業支援)について

＜2019年度の学籍異動状況＞

- ・退学者数 398名(内1年次 50名)
- ・(未納)除籍者数 62名
- ・通年休学者数 57名(私費留学含む)
- ・半期休学者数 258名
- ・転部 24名
- ・転科 4名
- ・ストレート卒業率 8割弱

⑤教務課の業務(授業支援)について

・退学事由による割合



⑥最後に…

皆さんに対するメッセージ

ご清聴ありがとうございました。

福大生のためのキャリアデザイン 第 7 回目

大学生の学びの特質

植上一希・藤野真

第 7 回目のポイント

第 7 回目は、大学での学びの特質に関して講義を行なった。

- 第 7 回のポイントは、大学生の学びの特質について、学問的な「言葉」の獲得という観点から理解することを目的としている。授業では(1)大学という場の特質の理解、(2)大学生が学べることの理解、(3)大学生の学びのステップの理解、(4)「言葉」を学ぶ際の注意という観点から説明した。
- この回の授業内容の難易度は、その他の回と比較して高いものとなっている。具体的な事例を提示しながら説明を進めるが、授業内容は抽象的で、概念的である。学生が容易に理解しづらい難易度および内容であるということは理解している。しかし、こういった授業も大学の授業であるとの認識から授業に組み入れることにしている。

授業の進め方

(1)前回の振り返りと第 6 回目の説明[20 分]、(2)教務課による授業[60 分]、(3)ミニッツ・ペーパー:MS-Forms への回答[残り時間]

授業の資料

(資料1)「福大生のためのキャリアデザイン」

…授業で利用したスライド

(資料 2)「ワークシート」

…授業で利用したワークシート

福大生のためのキャリアデザイン

- 受講生がミーティングに参加するまでしばらく待っててください。
- カメラは共有する・しないは自由です。
(アイコンを設定してもらえれば、差異が出るなーです)
- マイクは「ミュート」にしておいてください。
(ハウリングしてしまうからです。みんなのマイクがミュートになっていない場合、管理者の権限でミュートさせていただきます。)

福大生のためのキャリアデザインのまとめノート

↓↓↓

FUポータル¹の授業管理とoutlookにURLが送られています。

1

第7回 大学生活・大学での学習③ 大学生の学びの特質

2

前回の振り返り

※2分時間を取りますので、まずはご自身で前回の振り返りをしてみましょう。

3

前回の振り返り(1)

キーワードについて

- 多かった回答(大学の制度編)
FURIKAと自己評価、シラバス(シラバスを定期的に見る)、到達目標、
講義・演習・実習・実験・実技
- 多かった回答(大学生として編)
自主性(主体的に学ぶ)、積極性、目的意識、PDCA(PDCAサイクル)
- いろいろな意見
能動的、積み重ね、問題解決能力、主体・主役、学力不足、ストレート卒業率
事前準備、受講生が多い授業では埋もれがちになる、卒業後のキャリア、
退学、1日一人以上が退学、福大は退学が多い、留年、高校と大学の違い、
学籍、当事者意識、履修計画、

4

前回の振り返り(2)

教務課と学生(自分自身)との接点

- 退学をする際に足を運ぶ、「最後の窓口」である。授業に使うプロジェクターや机や椅子など授業環境を整える仕事をしている。また、定期試験のスケジュールリングも行っている。
- 授業時間割の作成。教室の管理・サポート。退学・休学・転学などの相談、申請受付。
- 自分の学習について不安な点が発生したときに訪ねる部署であると思った。
- 学年歴・教務関係行事の計画、授業時間割の編成、教室の管理・授業、出席管理の運用のサポート、試験に関する調整の仕事を行っている。異動に伴う手続きや窓口相談を行っている。
- 時間割や教室割、定期試験、出席調査、また、webexの立ち上げなどの授業に関することや、学生の入学・転学・休学・復学・退学・除籍・再入学・転部転科等学籍に関する事など、私たちが福岡大学の学生として活動するための環境を作ってくださっている。

5

前回の振り返り(3)

なんでも質問箱

- 留学を考えているのですが、留学するにあたってしなければいけないことってありますか？(TOEIC～点以上など)
→語学のスコアは大学ごとに定まってると思います。GPAのスコアも大切だと思います。
- 自分も大学院進学を考えており、自分なりに調べてみても情報が少なく、わからないことが多いので教えていただきたいです。特に国公立大学院の難易度や取り掛かる時期、就職活動との両立について知りたいです。
→大学院の試験は専門科目と語学と研究計画に基づく面接が一般的かと思います。大学での勉強をしっかりやれば良いと思います。大学院は国立・私立問わず、シユレがあると思います。その研究のメッカに行くのがよいと思います。どの先生のところに進学するかということも重要なと思います。

6

前回の振り返り(4)

なんでも質問箱

- 総合教育科目の人文科学・社会科学・自然科学、各分野から4単位以上16単位と書いてありました。私は、人文科学8単位、社会科学0単位、自然科学4単位、総合系列科目2単位、学習基盤科目2単位です。社会科学の単位が0のなで心配になりました。これでも大丈夫なんですか？

→来年以降履修すればよいと思います。

- 福岡大学を卒業してからそのまま福大に就職する人は多いですか？

→ほぼいないと思います。

7

前回の振り返り(5)

なんでも質問箱

- 課題のレポートの件なのですが、レポートの中にキーワードを3つ入れるように指示がありました。そのキーワードは、各回の講義資料に乗っていない、先生方が口頭でおっしゃられたことや講義で扱った教科書のページに載っている言葉でもいいのでしょうか？

→もちろん大丈夫です。

- 自分の将来の夢がある程度きまっているんですけど、その夢をかなえるのにおすすめな履修登録とかを相談したら教えてもらえますか？

→夢の内容はわからないのですが、履修登録に関係するのであれば、学科専攻に関係する夢なのか？と考えました。であれば、学科の先生に聞く方がいいのではないかと思います。事務職員のひとは制度の運用を担当されています。必ずしも教育内容やコンテンツに詳しいわけではありません。

8

第7回の授業の目標と構成

<目標>

大学生の学びの特質について、学問的な「言葉」の獲得という観点から理解する。

<構成>

- ①大学生の学びの特質についての導入的説明
- ②テキスト4章のワーク
- ③テキスト4章のワークについての解説
- ④補足説明とFormsの記入

9

大学生の学びの特質についての導入的説明

大学生の学びについて理解するための論理

1. 大学という場の特質の理解

- (1)「学問的な言葉」という観点の設定
- (2)「学問的な言葉」による
世界の諸事象の把握という大学の目的・機能の把握

2. 大学生が学べることの理解

3. 大学生の学びのステップの理解

4. 「言葉」を学ぶ際の注意

- (1)「言葉」は手段
- (2)「言葉」の多様性

※こうした順序はテキスト1章の「ルーキーとしての心得」と関係

10

大学生の学びの特質についての導入的説明

1. 大学という場の特質の理解

※そもそも、大学とは何か、についての理解が必要だ。これもめっちゃくちゃ難しいのだが、思い切って「学問的な言葉」という観点から整理してみよう。

(1)「学問的な言葉」という観点

大学という社会で流通・駆使される言葉＝「学問的な言葉」
例)概念、理論、データ…

(2)「学問的な言葉」による 世界の諸事象の把握という大学の目的・機能の把握

大学の研究者や学生・院生は「学問的な言葉」を用いて、それぞれの対象に対する分析を行っている。
それは、それぞれの事象を把握することが目的。

11

大学生の学びの特質についての導入的説明

2. 大学生が学ぶことができることの理解

※まずは、大学生の学びのメリット・特質を理解しよう。
これを勘違いしたり、わかってない学生が多い！

(1)諸事象をとらえるための「学問的な言葉」 (2)「学問的な言葉」でとらえる世界の諸事象

※同世代の専門学校生や労働者と比較して考えてみよう…
「学問的な言葉」を専門的に学ぶことができるのは大学のみ
そして、その「学問的な言葉」でしかとらえることができない事象をとらえることができるのが、大学生の強み

⇨専門学校生は「専門的な知識・技能」の獲得に強み
労働者は現実的な労働世界における知識・技能の獲得に強み

⇒大学生になったのだから、その学びのメリットは自覚すべき！！
強みである「学問的な言葉」を獲得できないのは不利

12

大学生の学びの特質についての導入的説明

3. 大学生の学びのステップの理解

※次に、学びのステップを理解しよう。
それによって、大学における学び方(方法)も身についていく！

(1)第1のステップ
学問的な言葉を得ること。

(2)第2のステップ
学問的な言葉を用いて社会認識や自己認識を培っていく。

※上記の点についてはテキスト58-59頁に書いてありますので、詳しい説明は省略します。

13

大学生の学びの特質についての導入的説明

4. 言葉を学ぶ際の注意について

※皆さんに知っておいてほしい2つの注意点を。

(1)手段と目的を間違えない(60頁)

「言葉」はあくまで手段。
世界の諸事象の把握や、自己認識と社会認識を培うことが、目的。
手段が目的化してしまわないように注意。

(2)言葉の性質・文脈に注意する(62-65頁)

「言葉」はツール。そのツールとしての特徴に注意して使う。
その言葉が使われる目的や文脈によっても、意味合いが変化。

⇒1・2年生のうち、「言葉」を得ることが中心になりがちだが、(1)を
念頭においておくと学び方が変わってくる。そして、それぞれの学問
領域や使う人(研究者など)の特徴を理解することも大事。

14

ワークの進め方

1. テキストを読む（8分）
2. ワークシートの問いに答える（20分）
3. Formsへの回答記入・送信（7分）
4. 休憩（10分）

15

ワークシートの解説 と Formsのフィードバック

メモを取りながら聞いてみて下さい。

16

今日の授業のまとめ と コメント(植上・藤野)

メモを取りながら聞いてみて下さい。

17

次回について

テーマ:

福岡大学での支援体制②

学生生活を支援するHDセンター

用意するもの:ノート

18

福大生のためのキャリアデザイン（第7回）

ワークシート

1. テキスト・授業をふまえて、以下の文章を読んで次の作業をしてみましょう。

①理解できる部分に赤の下線を、あまりよく理解できない部分に青の下線を引きましょう。

大学の大衆化が進展する中、初年次キャリア教育の重要性も高くなっている。その際、診断的評価として学生のレディネスをとらえるためには様々な手法が適応されてしかるべきであるが、その一つの方法として、学生の進路決定過程や進学要求の把握が有効であろう。とくに、私立中堅大学においては進路決定プロセスも多様であることから、学生の進学要求の類型化は、教員・学生にとっても有効性が高いと考えられる。進学要求の類型としては、その「積極型」「不本意型」「あいまい型・形式型」といった区分などがある。

②なぜ、上記のようになったのか、について「大学における言葉」（もしくは「学問的な言葉」）、「第1の段階」（もしくは「第1のステップ」）という2つのキーワードを用いてその理由を考えてみましょう。

2. この授業で『計画的偶発性理論』を参考に、大学における自身のキャリアデザインの方向性について800字程度で論じなさい」というレポート課題が出たとします。

この課題が、みなさんに期待する学びについて、「大学における言葉の獲得の第2段階」というキーワードを用いて説明しましょう。

3. テキスト4節を参考に将来的なパートナーについて、他者に対してその人を指す言葉を以下から選び、その理由を考えましょう。また、自分自身がパートナーから用いられたい言葉についても同様に選び、その理由を考えましょう。

妻、配偶者、連れ合い、嫁、家内、かみさん、愚妻、奥さん、ワイフ、その人の名前、その他
 夫、配偶者、連れ合い、婿、主人、だんな、亭主、ハズバンド、その人の名前、その他

福大生のためのキャリアデザイン 第 8 回目

福岡大学の支援体制② 学生生活を支援する HD センター

大塚彩乃・山田葉(HD センター)・植上一希・藤野真

第 8 回目のポイント

第 8 回目は、HD センターのカウンセラーによる HD センターの紹介と学生のメンタルヘルス、コロナ禍におけるメンタルヘルスに関する講義を実施した。

- 大学生のメンタルヘルスに関する問題は、近年、大学においても大きな問題となっている。メンタルヘルスに関する問題は、(可能性としては)誰にでも起こりうる問題であり、かつ、ある日突然顕在化する問題であると思われる。したがって、潜在的には全ての学生に関係する事項である。第 7 回目の目的は、もしものときのセーフティ・ネットとして HD センターが存在しており、もしものときの窓口であることを周知することにある。
- 授業では一般的な知識だけでなく、普段の生活の tips について説明されます。また、コロナ禍による遠隔授業の受講の tips が説明された。

授業の進め方

(1)前回の振り返りと第 6 回目の説明[20 分]、(2)HD センターによる授業[60 分]、(3)ミニッツ・ペーパー:MS-Forms への回答[残り時間]

授業の資料

(資料1)「福大生のためのキャリアデザイン」

…授業で利用したスライド(教員)

(資料 2)「福大生のためのキャリアデザイン」

…授業で利用したスライド(HD センター)

*このスライドは授業用スライドを公開用スライドに修正しています。

福大生のためのキャリアデザイン

- 受講生がミーティングに参加するまでしばらく待っててください。
- カメラは共有する・しないは自由です。
(アイコンを設定してもらえれば、差異が出るなーです)
- マイクは「ミュート」にしておいてください。
- 遅くなりましたが先週のwebexの録画をまとめノートに掲載しています。

福大生のためのキャリアデザインのまとめノート

↓↓↓

FUポータル授業管理とoutlookにURLが送られています。

1

第8回 福岡大学での支援体制② 学生生活を支援するHDセンター

2

前回の振り返り

2分ほど自分で前回の振り返りをしてみましょう。

3

前回の振り返り

大学生の学びについて理解するための論理

1. 大学という場の特質の理解

(1)「学問的な言葉」という観点の設定

(2)「学問的な言葉」による

世界の諸事象の把握という大学の目的・機能の把握

2. 大学生が学べることの理解

3. 大学生の学びのステップの理解

4. 「言葉」を学ぶ際の注意

(1)「言葉」は手段

(2)「言葉」の多様性

※こうした順序はテキスト1章の「ルーキーとしての心得」と関係

4

第7回目のFormsより（植上）

この授業のレポートや他の授業のレポートで先生方はどのようなところを見て点数をつけるのですか？

- 最も大事なものは、レポートの要求に適確に応えることです。レポートの評価が低い人のほとんどは、レポートの要求に正確に応えないことで大きな減点をされています。
- たとえば、「～～について要約しなさい」といった要求が出ている場合は、あなたの意見をレポートに入れ込むことは求められていません。一方で、「～～について、授業をふまえてあなたの考えを展開しなさい」の場合は、上記とはまた異なる回答が必要となるでしょう。
- もちろん、レポートのタイプは様々なので（それこそ、学問の言葉の多様性です）、それに対応する回答の仕方も身につける必要があります。それも、大学生になっていくことの一部なのです。

5

第7回目のFormsより

将来に関する資格の勉強は今のうちから始めた方がいいですか？

- エクステンションセンターの回で話されます。

奨学金を借りているのですが返済が心配です。いま何も考えずに使ってしまったら将来後悔しそうで。

- 個人的な意見です。生存者バイアスだと思います。借りたのであれば使うべきかなと思います。奨学金を使って、それで知識や能力、経験を獲得し、それを土台に返済すればよいのかなと思います。兄弟3にいますが、みんな奨学金をちゃんとつかって、ちゃんと返してます。もしものときのために、借りていて、それを使わなくても大丈夫であれば、溜めていても良いのかなと思います。

一部運動系の実技科目が6月の後半から始まるという話は本当でしょうか？

- わかりません。

6

6・8・12・13回の目的

7

第2回の授業の振り返り

キャリアデザインをするうえで重視してほしい 2つの観点

- (1)自身が参入する「社会」について
しっかり認識(=社会認識)する
- (2)自分自身の資源や希望について
しっかり認識(=自己認識)する

8

第2回の授業の振り返り

(1)自身が参入する「社会」についてしっかり認識（＝社会認識）する

キャリアデザインの基礎は「社会」認識

そして新参者はとくに「社会」について

- メンバーの構成や特徴
- 目的・価値観・ルール
- システム・行動様式
…などなどの認識が不可欠

<キーワード>

「社会化」…「個人がその所属する社会や集団のメンバーになっていく過程」

9

第2回の授業の振り返り

(1)自身が参入する「社会」についてしっかり認識（＝社会認識）する

みなさんにとってまず必要なのは…

- 「大学」・「福岡大学」という社会についての認識
- 「大学生」・「福岡大学生」というメンバーシップについての認識
- 「大学生」・「福岡大学生」になる具体的行動（＝「社会化」）

10

6・8・12・13回の授業の目的

福岡大学の「ルーキー」として各部署の職員の方々のお話を聞いて…

- 福岡大学のメンバーの理解を深める
- 大学内の様々な取り組みにおけるルールやシステムの理解を深める
- 福大生になるための具体的な行動を考える

⇒第8回はHDセンターの山田先生のお話です

11

授業の感想・質問 -Forms記入の説明・実施-

12

次回について

次回について

次回は6月20日(土)の振替講義日に実施されます。

時間は木曜日と同じ時間帯になります。

ミーティング番号等も同じです。

テーマ:

先輩に聞く大学生活の送り方・学び方

用意するもの:

ノートなど

8回目の授業でのスライドとまとめノートにある配布用のスライドは異なっています。

配布用のスライドは、授業で紹介した事例などを割愛しています。

福大生のためのキャリアデザイン 第8回

福岡大学の支援体制②
— 学生生活を支援するHDセンター —

HDセンター

●HDセンターについて

- ヒューマンディベロップメントセンター（HDセンター）は、福岡大学の学生相談室です。
- HDセンターでは、カウンセラー（臨床心理士・公認心理師）が在籍しています。
- 一對一の個別カウンセリングを行っています。
- 相談は予約制です。
- 秘密は守られます。安心してお話してください。
- 必要に応じて、適切な部署のご紹介もします。

●利用の流れ（現在）

- 現在、電話を中心とした相談対応をしています。
- カウンセリングをご希望の場合は、日時をご予約いただいたの対応になります。
- 相談は、1回30分間です。
- Webexを用いた遠隔ビデオ相談もを行っています。
- 遠隔相談ではなく直接来談をご希望の場合は、ご相談ください。

HDセンター（学生相談室）のご利用案内

- ◇現在、原則として電話での対応をしています。まずはお電話にて希望する日時を予約してください。
- ◇6月8日より電話相談に加えて遠隔ビデオ相談も実施します。
- ◇遠隔相談ではなく直接来談をご希望される方は、ご相談ください。
- ◇カウンセリングの予約日時や担当者・相談方法について、急な変更等の場合はご希望に沿えないことがあります。
- ◇相談体制の変更があれば、直ちにFUポータルにてお知らせします。



<相談時間枠>

① 9:30～10:00	
② 10:10～10:40	希望の時間を
③ 10:50～11:20	予約してください
④ 11:30～12:00	
⑤ 12:50～13:20	
⑥ 13:30～14:00	
⑦ 14:10～14:40	*以下の時間は火曜日のみ
⑧ 14:50～15:20	⑩ 16:30～17:00
⑨ 15:30～16:00	⑪ 17:10～17:40
	⑫ 17:50～18:20

*どんなことでもかまいません。
*相談は無料です。
*プライバシーは厳守します。

【問合せ・予約電話】 092-871-6631 (代表) 内線2630
月曜 ～ 金曜 9:30 ～ 16:30 (土・日・祝 は閉室)
※火曜 17:00～18:20 は092-871-6670 (代)

●HDセンターについて

- 不定期でコラムを作成しています。ポータルをご覧ください。

健やかなところからのために ～長期化する感染症対策の中で生活する皆さんへ～

今このようなことでストレスを感じていませんか？

<input type="checkbox"/> Web検索に繋がらない	<input type="checkbox"/> これからの大学生活が見通せない	<input type="checkbox"/> 授業のことを誰にも聞けずわからない
<input type="checkbox"/> サークル活動が出来ない	<input type="checkbox"/> 就職の状況がわからない	<input type="checkbox"/> アルバイト収入が減ってしまった
<input type="checkbox"/> 実家に帰れない	<input type="checkbox"/> 自分や家族の安全が心配	<input type="checkbox"/> 手持ちの資金が尽きてしまっている
<input type="checkbox"/> 友だちと遊べない	<input type="checkbox"/> 経済生活の不安が大きい	<input type="checkbox"/> カネが足りなくなっている
<input type="checkbox"/> エンビニ裏ばかりで行動した	<input type="checkbox"/> 1日だらだら過ごして虚しい	<input type="checkbox"/> 家族がウイルス感染に不安を感じている

その他にも、感染症対策のために、これまでの日常生活が乱れてきて、多くの人がいろいろなストレスを抱えています

ストレスが長期継続くと、私たちの心身はいろいろなSOS(症状)を発信します

心身 心	心身 体	心身 心	心身 体
気分が落ち込む	集中力が続かない	記憶	下痢、便秘
興味を感じない	思いこみばかり考える	疲労	めまい
おっくうで何もやる気が起きない		吐き気	じんましん
ふらふらしたことがよくある		寝入り	寝れない
眠ってばかりで食事がとれない		動悸	一息がつかない

心地良い眠り、取れていますか？

これまで日常生活の一環として、睡眠のリズムが崩れてしまっている方が少なくないのではないかと思います。睡眠リズムが崩れると、集中力の低下や、体調不良の原因にもなります。

ここでは、心地良い眠りを取るためのポイントをお伝えします。ぜひ参考にしてみてください。

◎睡眠のリズムを整えるには、生活リズムを整えることが大切です。
*朝起きたら必ず日光を浴びます。夜更かしを避け、規則正しい生活を心がけてください。

◎睡眠のリズムを整えるには、リラックスすることが大切です。
*寝る前はスマートフォンやテレビを止めます。リラックスできる音楽や香りを聴いたり、お風呂をゆっくり入浴したり、お茶を飲むなど、リラックスできることをしてみてください。

◎睡眠のリズムを整えるには、心地良い寝具が大切です。
*枕やマットレスは、自分に合ったものを揃えましょう。また、室温や湿度も快適な状態に保ちましょう。

◎睡眠のリズムを整えるには、規則正しい生活が大切です。
*毎日の生活リズムを整えることで、心地良い睡眠が得やすくなります。

◎睡眠のリズムを整えるには、リラックスすることが大切です。
*寝る前はスマートフォンやテレビを止めます。リラックスできる音楽や香りを聴いたり、お風呂をゆっくり入浴したり、お茶を飲むなど、リラックスできることをしてみてください。

◎睡眠のリズムを整えるには、心地良い寝具が大切です。
*枕やマットレスは、自分に合ったものを揃えましょう。また、室温や湿度も快適な状態に保ちましょう。

●HDセンターについて

- オンラインでグループ活動も行っています。

【ランチグループ オンライン】
対象：1年次生
テーマ：同じ学年で集
HDセンターへ電話
【実施日 ・ 時
6月22日（月）1
6月30日（火）1
【定 員】
各回2～10名

今後も開催予定です。
興味があれば、
ぜひ参加してください！

●HDセンターの紹介①●

- HDセンターは、学生課がある建物の3階にあります。



●HDセンターの紹介②●

学生課横の入口を
入って・・・



階段を3階まで上がったら・・・



●HDセンターの紹介③●



まず目に入るのが受付

そして、フリースペース



●HDセンターの紹介④●



面接室



●HDセンターの紹介⑤●



集団指導室

東側にも入口が…



●1年生によくある相談

- 友達がなかなかできない。
- 想像していた大学生活と違った。
- 人が多くてつらい。
- サークルに入りそびれた。
- 入りたい大学や学部・学科に入れなかった。

●2～4年生によくある相談

2年生

- 友達がなかなかできない。（関係の深まり）
- 他大学を受け直したい。
- 授業についていけない。

3年生

- 就職活動に向けて何をしたらよいかわからない。
- 大学院に進学したいが、親からは就職するようと言われる。

4年生

- 就職活動がなかなか進まない。
- 社会に出るのが不安。
- 卒論が書けない。

● 2～4年生によくある相談

- 2年生
- 友達がなかなかできない。（関係の深まり）
 - 他大学を受け直したい。
 - 授業についていけない。

- 3年生
- 就職活動に向けて何をしたらよいかわからない。
 - 大学院に進学したいが、親からは就職するようと言われる。

- 4年生
- 就職活動がなかなか進まない。
 - 社会に出るのが不安。
 - 卒論が書けない。

● 2～4年生によくある相談

- 2年生
- 友達がなかなかできない。（関係の深まり）
 - 他大学を受け直したい。
 - 授業についていけない。

- 3年生
- 就職活動に向けて何をしたらよいかわからない。
 - 大学院に進学したいが、親からは就職するようと言われる。

- 4年生
- 就職活動がなかなか進まない。
 - 社会に出るのが不安。
 - 卒論が書けない。

● 学年問わず聞かれる相談

- 友達に自分をどのようにどこまでみせるか
- 家族との関係
- 経済的な問題
- 恋愛やセクシュアリティに関すること

● アンケートより

- 部活・サークルに入りそびれてしまった
- アルバイトができず家計が心配

学生課

部活、愛好会（サークル）、ボランティア活動
奨学金
お金のトラブル（投資詐欺など）
障がい学生支援 ……など

HD センター（学生相談室）のご利用案内


◇現在、原則として電話での対応をしています。まずはお電話にて希望する日時を予約してください。

◇6月8日より電話相談に加えて遠隔ビデオ相談も実施します。

◇遠隔相談ではなく直接来談をご希望される方は、ご相談ください。

◇カウンセリングの予約日時や担当者・相談方法について、急な変更等の場合はご希望に沿えないことがあります。

◇相談体制の変更があれば、直ちに FU ポータルにてお知らせします。



*どんなことでもかまいません。
*相談は無料です。
*プライバシーは厳守します。

<相談時間枠>

①	9:30~10:00		
②	10:10~10:40		
③	10:50~11:20	希望の時間を	
④	11:30~12:00	予約してください	
⑤	12:50~13:20		
⑥	13:30~14:00		
⑦	14:10~14:40	*以下の時間は火曜日のみ	
⑧	14:50~15:20	ⓐ 16:30~17:00	
⑨	15:30~16:00	ⓑ 17:10~17:40	
		ⓒ 17:50~18:20	

【問合せ・予約電話】 092-871-6631（代表） 内線2630
月曜 ~ 金曜 9:30 ~ 16:30（土・日・祝 は閉室）
※火曜 17:00~18:20 は 092-871-6670（代）

●もしよかったら参考にしてください

- 「新型コロナウイルスの 3つの顔を知ろう！ ~負のスパイラルを断ち切るために~」日本赤十字社，2020，
http://www.jrc.or.jp/activity/saigai/news/200326_006124.html

福大生のためのキャリアデザイン 第 9 回目

先輩に聞く大学生活の送り方・学び方？

渡邊 晶帆(福岡大学大学院)・植上一希・藤野真

第 9 回目のポイント

第 9 回目は、本学人文学部を卒業し、現在、福岡大学大学院・人文学研究科・博士課程に在学している渡邊晶帆さんに、先輩として登壇していただいた。

- 第 9 回目は、受講生が今後目指して欲しい大学生活を送っている先輩に登壇してもらい、ロールモデルを獲得してもらうことを目的としている。雑駁な言い方だが、受講生には大学生活において「少し背伸びをする」ということにチャレンジして欲しいと考えており、その一つのきっかけになることを期待してこの回を実施している。
- 例年は、約 5～6 人ぐらいの在學生に登壇してもらっている。この授業では「経験学習」のサイクルについて紹介している。登壇する大学生は、経験をただの経験に終わらせるのではなく、経験を生かしストレッチをしていることを話してもらうようにしている。

授業の進め方

(1)前回の振り返り[15 分]、(2)渡邊さんの授業および質疑応答[60 分]、(3)ミニッツ・ペーパー:MS-Forms への回答[残り時間]

授業の資料

(資料1)「福大生のためのキャリアデザイン」

…授業で利用したスライド

(資料 2)「大学生の過ごし方-進路選択の再考-」

…渡邊さんのスライド

福大生のためのキャリアデザイン

- 受講生がミーティングに参加するまでしばらく待っててください。
- カメラは共有する・しないは自由です。
（アイコンを設定してもらえれば、差異が出るなーです）
- マイクは「ミュート」にしておいてください。
- 遅くなりましたが先週のwebexの録画をまとめノートに掲載しています。

福大生のためのキャリアデザインのまとめノート

↓↓↓

FUポータル授業管理とoutlookにURLが送られています。

1

第9回 先輩に聞く大学生活の送り方・学び方

2

前回の振り返り

2分ほど自分で前回の振り返りをしてみましょう。

3

第8回目のFormsより（植上）

4

第8回目のFormsより（藤野）

5

今回の目的

6

第2回の授業の振り返り

(1)自身が参入する「社会」についてしっかり認識（＝社会認識）する

みなさんにとってまず必要なのは…

- 「大学」・「福岡大学」という
社会についての認識
- 「大学生」・「福岡大学生」という
メンバーシップについての認識
- 「大学生」・「福岡大学生」になる
具体的行動（＝「社会化」）

7

今回の授業の目的

福岡大学の「ルーキー」として
福大の先輩の話を聞いて…

1. 福岡大学のメンバーの理解を深める
2. ロールモデルを見つける
3. 福大生になるための有効な方法などを知る
4. 自身の未来のことを考える

⇒福大卒で現在、福大大学院生の渡邊さんのお話です

8

授業の感想・質問 -Forms記入の説明・実施-


9

次回について

テーマ:大学生活・大学での学習⑤
学生の悩み・躓きやすいことに答えて

用意するもの:
ノートなど


10



大学生活の過ごし方 —進路選択を再考すること—

(2018.5.31)

福岡大学大学院 人文科学研究科
教育・臨床心理専攻 博士課程前期2年
渡邊晶帆




FUKUOKA UNIVERSITY


1

私は何者か。

- 渡邊晶帆(わたなべあきほ)
- 1994年10月生まれ、23歳、A型
- 福岡県福岡市、県立高校出身
- 2013年 福岡大学人文学部
教育・臨床心理学科、進学
- 2017年 同大学大学院、進学。現在2年生
- 取得資格:英検準2級
教員免許状:中学社会、高校公民



なぜ、進路変更をしたのか。



人をつくり、時代を拓く。
福岡大学

2

大学入学時の渡邊。

■ 将来の夢はずっと「学校の先生」

不登校から中退
してしまった友達

当時の教員
への不満

とはいえ、
学校が好き

- 大学進学は「教員になるなら当然。」で、偏差値の高い大学を志望。が、不合格。
- 教員になれるならどこでも同じという考えで、福岡大学に進学。

人をつくり、時代を拓く。
福岡大学

3

大学1年目の渡邊。

- 高校時代の同級生を見返すために勉強。
 - ・・・文系だが、数Ⅲ・Cをやったりもした。
- とにかく「教員」になるための勉強。
 - ・・・教職課程は必修が多い。

今思うと..

自分のやりたいこと、
今やっていることの「楽しさ」は
見いだせずにいた。

4

人をつくり、時代を拓く。
福岡大学

4

大学2年目の渡邊。

- 必修科目に余裕ができ、自由に履修。
・・・ようやく自分の興味関心に沿った
講義を取るようになる。とても楽しい。

若者・青年の現状

学校以外の教育

教員文化の再検討

その中で...

ほかの教員志望学生と、
自分の学ぶ姿勢って、
何かが違う...

5

人をつくり、時代を拓く。
福岡大学

5

渡邊の迷い。ある意味、絶望。

- 周囲の教員を目指す人たち
〈将来〉につながる〈現在〉の学び
- 渡邊
〈現在〉の学びを〈将来〉につなげる

微妙に違う

自分の興味関心に即した
将来展望ってなんだろう...

そもそも教員以外の職業を
何も知らないまま教員を
目指してたな...

6

人をつくり、時代を拓く。
福岡大学

6

渡邊の決断。(大学3年生の中頃)

大学院に進学しよう！

今自分のやりたい「学問」を
とことんやってみよう。

そのために当然、
親を説得したりなど
越えなければならないものも
たくさんありました。
でも、自分で決めた道を
今までよりも「胸を張って言える」
ということが、何より心地いいです。

7

人をつくり、時代を拓く。
稲岡大学

7

皆さんにお伝えしたいこと。

- 自分の今の将来展望を疑ってみましょう！
- 他者から見た「諦め」も、
自分がしたひとつの大事な決断です。
- もし自分の「今」に退屈さや違和感を
覚えたなら、それが「今」を考え直す
いい機会です！グットラック！

8

人をつくり、時代を拓く。
稲岡大学

8

ご清聴、ありがとうございました。

渡邊晶帆



9

福大生のためのキャリアデザイン 第 10 回目

学生の悩み・躓きやすいことについて

藤野真・植上一希

第 10 回目のポイント

第 10 回目は、大学生活のなかにおける大学生の悩みや躓きやすいことについて授業を行った。

- 第 10 回目のポイントは以下である。(1)大学生は複数の社会に属していること、そして、社会ごとに価値観や役割があることについての気づきをえることと、(2)そのなかで生じる悩みやつまずきについての対策を身につけること。
- 大学生活で重要な点として、(1)自分でルールを作る自由についての理解と、(2)自分で自分を律することの理解を提示した。自分でルールを設定し、自分で自分を律すること、そして、それができるようになることの重要性を説明した。
- 上記の点にもあるように、大学生は「個」を確立することが求められている。また、自分(一人で)決める、行動することが求められている。しかし、いついかなるときでも「一人で」ということを求められることは人間として苦しいことであり、不可能なことであると思う。したがって、留意して欲しいこととして、(1)中間集団について(2)サーード・プレースの存在を学生に提示した。
- ワークでは、実際に学生が遭遇することがと予想される事柄について、映像を視聴したうえで事柄の追加調査を実施してもらった。ワークで取り扱った事柄は、(1)働くルールとブラックバイト、(2)デートDV、(3)不同意性交、(4)アルコールハラスメント、(5)マイクロ・アグレッション、(6)性的指向と性自認、(7)大麻・薬物について、(8)カルト宗教について、(9)マルチ商法・悪徳商法についてである。

授業の進め方

(1)前回の振り返り[20 分]、(2)授業およびワークの説明[30 分]、(3)ワークおよびミニッツ・ペーパー:MS-Forms への回答[残り時間]

授業の資料

(資料1)「福大生のためのキャリアデザイン」

…授業で利用したスライド

福大生のためのキャリアデザイン

- 受講生がミーティングに参加するまでしばらく待っててください。
- カメラは共有する・しないは自由です。
(アイコンを設定してもらえれば、差異が出るなーです)
- マイクは「ミュート」にしておいてください。
- 遅くなりましたが先週のwebexの録画をまとめノートに掲載しています。

福大生のためのキャリアデザインのまとめノート

↓↓↓

FUポータルの授業管理とoutlookにURLが送られています。

1

1

大学生活・大学での学習⑤

第10回

2

前回の振り返り

2分ほど自分で前回の振り返りをしてみましょう。

3

3

本日の授業のポイント

渡邊さんからの回答

大学生における生活のポイント

- 自分でルールを作る自由
- 自分で自分を律する
- 留意してほしいこと

大学生活での悩み事や気を付けてほしいこと

- 先週のFormsの回答(心配なことについて)
- 例年の悩み事について

ワーク

4

4

本日の授業のポイント

渡邊さんからの回答

大学生における生活のポイント

- 自分でルールを作る自由
- 自分で自分を律する
- 留意してほしいこと

大学生活での悩み事や気を付けてほしいこと

- 先週のFormsの回答(心配なことについて)
- 例年の悩み事について

ワーク

5

5

第9回目のFormsより(渡邊)

質問への回答 (1)

大学1年で特に何をすべきですか？

- 大学で色んなことができることを知る。
- 自分のキャパシティを見極め、それを少し広げようという姿勢をもつ。

人前で話したりするときに渡邊さんみたいにそんなにしっかりと話せないんですが、昔からそんなにはっきり話せていたんですか？

- 結構淡々と話していますが割と足震えたり手汗すごかったりしますよ。あと私は焦ったりすると口数が増えるタイプですし早口になります。でも年齢を重ねる中で語彙が増えたことで話せるようになったと思っています。

進路をたとえ変えるとなっても、いつも本当にそれでいいのかすごく不安になることが多いんですが、どうすれば勇気を持ってきっぱり決断できるようになれるか？

- 進路変更は就職後でも全然ありなので、きっぱり捨てなくてもいいと思います。実際、私はNPOに勤務する中で教員免許もっていてよかったなと思ったので完全に捨てる必要はないと思います。
- どうしても「きっぱり」したいのであれば、新しい進路選択に関してアクションを起こすことですかね。

6

第9回目のFormsより(渡邊)

質問への回答 (2)

NPO法人の企業に興味を持ったのですが、心理的な視点からも役に立ってますか？

- 一点補足としては、NPO法人は企業ではないです。(調べてください)NPO法人はあくまで団体の形なので分野はとても多様です。ただ、心理学は対人系の職業にはわりと汎用的に役立つと思います。

教員免許を取得しながらも、一般の企業を受けることは可能ですか。

- 全然可能です。ただ教員採用試験と一般企業の就活時期は被るので要注意。あと、「教員免許とったのになぜ先生にならないの？教職課程で何を学んだの？」ということは往々にして聞かれるので回答できるように。

人から言われた言葉で気にしないと思っけていても気にしてしまう時どうすればいいでしょうか。

- 私は悲しまず怒る、ようにしています。ただしその相手を傷つけないように怒るということが大事です。誹謗中傷してはその相手とやっけることは同じなので。私はデスノート作ってます。(植上さん覚えていたら補足願います)

友達を作るうえでサークルへの参加は必要だと思いますか？

- 「友達作りたなら」入っていいと思いますが、そのような目的だと大体空回りしますよ。

7

第9回目のFormsより(渡邊)

質問への回答 (3)

大学生活(勉強やプライベートも含めて)の中で1番やって良かったことは何ですか？

- 学業！

教員志望の学生と自分の学ぶ姿勢が違うことに気づいたと仰っていましたが、その違いはどのようなきっかけで知ることができたのですか？

- 教職課程科目の選び方です。単位が取れば何でもいいのか、教員経験のある教員を選択する人が多かったですが、私は難しくても豊かな授業計画の方を選択したし、実践的よりも学問的な方を魅力に感じました。

渡邊さんは課題におわれたことなどありますか？また、そのさいにおこなった自分の焦りの気持ちなどを落ち着かせる対処方法などあれば教えていただきたいです。

- 焦った時はスケジュール帳に細かく1日ごとのタスクを整理して気持ちを落ち着かせていました。(今もそうです)

大学院に行きたいと親に説得した時、了承してもらえるまでにどのぐらい時間がかかりましたか？

- 段階的に数回にわたってプレゼンしたので1年くらいかかりました。

8

第9回目のFormsより（渡邊）

発展的課題、アイデアに対する補足

教員という目標を変更する前に、教育実習や実際に子どもたちと関わるきっかけに参加すれば、夢が変わることはなかったのではないですか？

志望していたものと違って失望したり、悲観しすぎることなく、自分がそこで何を為せるかということを考え、気持ちの持ち方を変えるということも大事だと思います

もっと教員たちの良さに目をつければよかったのではと思った。それぞれにそれぞれの良さが絶対あると思うし、人を信じることはとても大切だと思う

- 上記のように「夢を変えないために」という視点のコメント多数でした。それに対するポイントとしては以下です。
- 福大は4年生まで教育実習を受けられません。その中で私は大学2年で学校にボランティア(学サポ)に行っていたうえで進路変更したので、いずれにせよ変わっていたのではと思います。
- 当然「何を為せるか」も考えましたが、それよりも「何を為せないか」が教員の場合多かったです。「為せること」がより多かったのが教員でした。
- 人それぞれの観点がある中で、私が重視した観点が前回の報告ただけです。一応ですが、私は学校教員のことを尊敬しています。また、過去の先生方のことは私が嫌だただけでそれぞれに良さがあると思っていますよ。

9

本日の授業のポイント

渡邊さんからの回答

大学生における生活のポイント

- 自分でルールを作る自由
- 自分で自分を律する
- 留意してほしいこと

大学生活での悩み事や気を付けてほしいこと

- 先週のFormsの回答(心配なことについて)
- 例年の悩み事について

ワーク

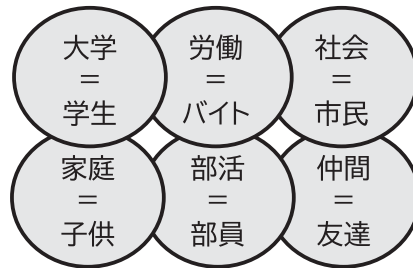
10

10

連続と断絶-イントロダクション

大学生活はこれまでの生活と連続していると同時に断絶している。

- 大学生という文化に入っていたけれど、いつも大学生でいるわけではない。みなさんは複数の社会を歩き来している。複数の社会に並存しながら役割を果たしている。心と体は一つしかないのに、果たさなければいけない役割が複数ある。



- 今回は、身に付けるべきものは身につける、拒否すべきものは拒否する。学生のみなさんには「取捨選択」してほしいと思っています。

11

11

自分で自分を律する 大学での生活(1)

自分でルールを作る自由


- 「大学では何より「自分で決める」ということが重視される。…理解しなければいけないのは、決められたルールをちょっと破って感じる『自由』と、自分でルールを作らなければならない『自由』の違いです」(69頁)。
- 大学また大学生としての「相応しさ」を自分で決めて、自分で行動していかなければいけない。

何を考え、どう学ぶ?
力をつける4年間にするために

大月書房

12

12



自分で自分を律する 大学での生活(2)

自分で自分を律する

- 「みなさんがこれまでと変わらず、あるいはこれまで以上に心地よく過ごせるかどうかは、みなさん自身にかかっています。属している社会の常識や、大学の期待をよく理解し、自分で自分を律する。つまり、自分自身でルールを作れる力を発揮しましょう(73頁)。
- 「行動する」ということが重要です。この点は重要だけどすごく難しい点です。

13

13

留意してほしいこと(1)

中間集団-intermediate group

- 大学においては、一方で、「一人で」ということが強調されますが、他方で、「一人」はいつでも強く・信頼すべき存在かというところではないと思います。
- 中間集団は、国家(強いもの)一個人(弱いもの)という関係の中で、個人を強いものから守ってくれる機能を果たします。カール・マンハイムさんは「甲羅のない蟹」という比喩を使ってそのことを説明します。

14

14

留意してほしいこと(2)

サード・プレイス-Third places

- 自宅(ファーストプレイス)や職場・学校(セカンドプレイス)ではない、一個人としてくつろぐことができる第三の居場所。
- 「道草」する場所を持ちたいものです。

*Oldenburg, Ray (1991). *The Great Good Place*. New York: Marlowe & Company.

15

15

本日の授業のポイント

渡邊さんからの回答

大学生における生活のポイント

- 自分でルールを作る自由
- 自分で自分を律する
- 留意してほしいこと

大学生活での悩み事や気を付けてほしいこと

- 先週のFormsの回答(心配なことについて)
- 例年の悩み事について

ワーク

16

16

先週のFormsの回答(心配なことについて)

友達などができるか心配になります

高校の時の友達と全員違う大学だったので友達ができるか不安だった。



こんにちは👋
私は、初めは基礎ゼミの人と仲良くなりました！その後は、フレマンや生涯スポーツで基礎ゼミで仲良くなった人の友達の友達とか数珠繋ぎ的交流が増えた気がします。いま密に関わってるのはサークルとかゼミの人が中心になってます…😓



こんにちは👋
私もおすすと同じで基礎ゼミや生スポで初め友達出来ました～
オンラインじゃなくて会えるようになったら自然と出来るかな？と思います！みんな友達欲しいだろうし！



こんにちは！
私はサークルに入ることによって交流を増やしました！しかし今は活動ができていないところが多いと思います🥲興味のあるサークルのSNSに連絡してみることで、既にサークルに参加している1年生や縦の繋がりができるのでオススメです！

17

17

先週のFormsの回答(心配なことについて)

通学時間が長いのですが、授業とバイトは両立できますか？

通学が微妙に遠く、(電車で一時間ちょい)電車通学をしたことがないので不安。



こんにちは。通学中わたしはずっとイヤホンで音楽聴くか、帰りは寝てるのがほとんどです。入学してすぐの頃は電車に慣れないと思うけど、割とすぐ慣れると思います！
わたしは土日+5限まである日以外は平日もバイト入ってます！多分ほとんどの人平日もバイトだと思います。テスト期間はバイトしません。
そのほかは、1年生ではなるべく単位を落とさないほうが良いです！



こんにちは！通学中は課題をやったり読書したりしていましたと言いたのですが、朝早く家を出るので8割型寝てました🥲バイトは土日と、授業が午前で終わる日に入っていました！大変なのは、授業終わりに夕飯を食べに行ったりして帰りが遅くなり、次の日1限だったりした時です！その時は友達の家泊まらせてもらったりしてました～あと、起きれなくて1限に遅刻したくないので、2年生からはなるべく1限に授業を入れないようにしました！👊

18

18

先週のFormsの回答(心配なことについて)

授業についていけるか不安です？

単位が取れるか心配です。



(2)今年オンラインということで私自身も不安でいっぱいですが、きちんと出席して話も聞いておけば特に問題は無いかと思います！私の場合は、不安なことや疑問点は先生や同じ授業を受けている人に聞くようにはしていました！



(2)とりあえず分からなくても授業に出て話聞いとくだけでも大丈夫だと思います。どう考えても訳が分からないところは周りの学生も分かってない場合が多いので後から先生が説明してくれたり、他の学生が質問していることを聞き逃さないのが大切ですね。

勉強の仕方はこれまでと変わりないのかもしれないです。コツコツやる、わからないことは聞きに行く。試験のイメージは高校などの中間・期末試験というよりは模試という感じではないかと思います。

19

19

先週のFormsの回答(心配なことについて)

授業と授業の間は何をして過ごすのですか？

1-5限という感じではないので、大学での過ごし方がよくわからない。



(1)私は意図的に空きコマを作らないようにしています。家が遠いため、一時帰宅する事は出来ないし、学校で何もしない時間を作りたくないので極力授業詰め込みます。それでも空きコマがある時は、課題をするか友達と話すか、です。

図書館行ったり、空いてる教室で過ごしたり、ご飯食べたり(お昼休みに食堂でご飯を食べるのはなかなか熾烈な感じがします)、勉強したりいろいろな事して過ごしているようです。

20

20

先週のFormsの回答(心配なことについて)

今は帰省していますが学校が本格的に始まると家事やアルバイト、勉強など両立していけるのか心配です。

- 大丈夫ではないかなと思います。多くの福大生ができているように思います。困った場合は、学生課やHDセンター、学部事務室に相談してください。

大学4年間を過ごすにあたって、パソコンを全てiPadで代用は可能かどうか。

- 個人的にはPCがあった方が便利かなと思います。PCはマルチタスクが可能ですが、iPadはマルチタスクができないのでエネルギーがかかるかなと思います。大学に登校できるようになればPC教室が利用できます。

病気や忌引きなどで授業に出席できなかった場合授業の遅れはどうやって取り戻したらいいですか？

- 教員に教員に相談することになるとと思います。その場合アカウントビリティ(説明責任)を求められると思います。

21

21

例年の悩み-代表的な事例

大学に入ってから、出費が増えました。

- サークルの飲み会で、2000~2500円、3000円程徴収されるのですが、こうした額は、大学生では普通なのでしょうか...？また、先輩におごってもらうこともあるのですが、1年生の間はいいかもしれないけど、2年生になったらおごる立場になって、多くのお金が必要になりそうで心配です。

大学の先生とどのように関わったらいいのかわかりません。

- 高校までは、先生との距離が近くて、普段の生活面や進路面等で親切丁寧に指導してもらっていたし、そのなかで不規則になっていたら、しっかり注意されていました。また、先生をあだ名で呼んだり、ため口で話すこともできました。しかし、大学の先生は、学生に無関心そうで、冷たく感じます。どう関わったらいいのが、難しいです。

自分の服装・持ち物・振る舞いに、自信がありません。

- 周りにいる学生がみな、身なりや持ち物、言動において、とても年の離れた大人のように感じます。それに対して自分だけが子どもっぽく感じてしまい、苦痛になっています。

22

22

本日の授業のポイント

渡邊さんからの回答

大学生における生活のポイント

- 自分でルールを作る自由
- 自分で自分を律する
- 留意してほしいこと

大学生活での悩み事や気を付けてほしいこと

- 先週のFormsの回答(心配なことについて)
- 例年の悩み事について

ワーク

23

23

ワークの説明

大学生に入って注意してもらいたいことや大学生がよく巻き込まれがちな課題について研究をしてください。

1. 研究する課題を1つ選択する。
2. 研究のきっかけとして映像のURLが添付されています。それをまず視聴して課題の概要を捉えてください。
3. 映像に出てきたキーワードをメモしておき、Googleなどで課題に関する記事などを読み、課題の研究をしてください。
4. Formsに記入してください。
 - 自身が選択した課題について課題研究により明らかになった内容を要約してください。
 - あなたがどう思ったか？ということはありません。

(注意)

- 課題研究が本日の授業中にお話ならないこともあると思います。Formsの入力は、6月29日(月)まで可能な設定にしておきます。
- リンクはまとめページにもまとめてあります。

24

24

ワークの参考リンク(1)

働くルールとブラックバイトについて

<https://www.youtube.com/watch?v=nOcxZ6TiUtE>

デートDV(交際相手に対する暴力)・不同意・性交について

↓デートDVについて

<https://www.youtube.com/watch?v=BFX1ZgEozyQ>

<https://www.youtube.com/watch?v=FX-egzFzfss>

↓不同意・性交について

<https://www.youtube.com/watch?v=-cxMZM3bWy0>

*映像はイラストで構成されています。視聴したくない人は視聴しなくても大丈夫です。

アルハラ(アルコールハラスメント)について

<https://www.youtube.com/watch?v=EPNNho-QeKU>

25

25

ワークの参考リンク(2)

マイクロ・アグレッション(自覚がない小さな差別)について

↓より公式のページ(言語を自動翻訳に設定すると日本語字幕が出ます)

<https://www.youtube.com/watch?v=cPqVit6TJjw>

↓私的な意見ですが、マイクロアグレッションについてイメージしやすい動画

<https://www.youtube.com/watch?v=B5tALteIB4>

SOGI(性的指向と性自認:そじ)ハラとアウトティングについて

<https://www.youtube.com/watch?v=Kj3qPG-BPDs>

大麻・薬物について

<https://www.youtube.com/watch?v=xkl1v5BJMG0>

<https://www.youtube.com/watch?v=jO1xaj-Gchk>

26

26

ワークの参考リンク(3)

カルト宗教(勧誘)について

<https://www.youtube.com/watch?v=gdNnCFIgQGU>

<https://www.youtube.com/watch?v=flAzglveAg>

<https://www.youtube.com/watch?v=YZRzy8GZpYk>

<https://www.youtube.com/watch?v=GSQNfCCMowQ>

マルチ商法・悪徳商法

<https://www.youtube.com/watch?v=vlkHx1TSqjc>

27

27

次回について

テーマ: 課題作成(課題研究型授業)

「どのような大学生になりたいか②」

・授業の冒頭はwebex(20分程度)での授業になります。

28

福大生のためのキャリアデザイン 第 11/15 回目

どのような大学生になりたいか？

藤野真・植上一希

第 11 回目のポイント

第 11 回目は課題作成型授業を実施した。第 6 回教務課、第 8 回 HD センター、第 12 回就職・進路支援センター、第 13 回エクステンションセンターの講義について要約し、各部署と自身との関わりについてコメントを作成することを課した。12 回目、13 回目についてはそれぞれの授業終了後に第 15 回目(学年暦が 14 回分しか組まれていなかったため、プラス 1 回分を 12 回目と 13 回目の授業についてまとめる課題作成型授業に割り当てた)として実施した。

- 第 11 回目の課題や要約の練習を目的とした。合計 4 回分の授業を、パワーポイントの総ページ数 231 ページ(教務課:34 ページ、HD センター:45 ページ、就職・進路支援センター:82 ページ、エクステンションセンター:70 ページ)からそのエッセンスを抽出することを課題とした。
- 膨大な資料を吟味し、各回を 200 字程度に要約することは、パワーポイントの印象的な部分を抜き出すだけでは授業の本質的な内容を引き出すことが不可能である。学生には、アウトプット(レポートの量)を少ないものに設定しているのは、スループット(授業内容を要約する行為)に多大な時間を要するためであると解説した。
- 一般的に、アクティブ・ラーニング＝活発なディスカッションというイメージを持つように思う。穿った見方をすれば、外観としては・観察できる範囲では「アクティブ」であるが、その内実は「アクティブ」ではないということがあるのではないかと思う。今回の課題は、そのオルタナティブとして、「ひとりで静かに考えるアクティブ・ラーニング」と位置付け実施した。

授業の進め方

(1) 課題についての説明[10 分]、(3) 課題作成[残り時間]

* 課題作成型授業であるが、1 年生を対象とした授業であるため、授業の残り時間はチャットを解放し、課題作成に関する質問を随時受け付けた。

* (2)以降は Webex のミーティングから退出することを認めた。

授業の資料

(資料1)「福大生のためのキャリアデザイン」レポート執筆要領と今回のレポート」

…執筆要領

(資料2)「2回目課題_レポートひな型_福大生のためのキャリアデザイン」

…雛形

「福大生のためのキャリアデザイン」レポート執筆要領と今回のレポート

1. 書式(各レポートは以下で統一)

用紙:A4

字数:45 字×45 行

字体(本文):MS明朝、(見出し等):MS ゴシック

余白:上 25mm, 下・左・右 25mm

- ・1行目にレポートタイトル。タイトルは 14 pt.中央寄。字体はMSゴシック。
- ・2行目に学籍番号および氏名をいれる。MS ゴシック 11pt.を右寄せでいれる。
- ・1行あけて本文。
- ・小見出し、節などのタイトルは MS ゴシック 10.5pt で左寄せにする。

(例)

=====

社会サービスにおける政策分析・政策評価の手法の開発と適用

GS069123 平岡公一

氏名のあと 1 行あける

はじめに

本レポートの目的は・・・

=====

タイトル 14pt.中央寄せ
学籍番号・自分の名前 11pt.右寄せ
MS ゴシックで

2. 今回のレポートテーマ等について

○テーマ

第 6 回教務課、第 8 回 HD センター、第 12 回就職・進路支援センター、第 13 回エクステンションセンターの講義について、それぞれ 5 行程度で要約しなさい。

そのうえで、あなたは各部署の支援をどのように活用していくのかについて、4 行程度で論じなさい。

題名は適宜自分で考えて設定してください。

○提出期限など

・提出期限

7 月 15 日(水)23 時 59 分まで

・提出方法

・レポート量

1 ページ。

・レポートのファイル名

「学生番号・名前」

・提出方法

FU_box の「ファイルリクエスト」からファイルをアップロードしてください。

タイトル

学籍番号 名前

1. 教務課

(例) 教務課の〇〇さんのお話は以下の×点にまとめることができる。第1に～。

以上が教務課の〇〇さんのお話の要点である。※要約5行程度

〇〇さんの話をうかがい、私は今後の履修にあたりとくに、～に気をつけたいと考えた。なぜなら～だからだ。その際、教務課が発信する様々な情報にも注視したい。そして～～。※コメント4行程度

2. HD センター

3. 就職・進路支援センター

4. エクステンションセンター

福大生のためのキャリアデザイン 第12回目

福岡大学の支援体制② キャリア形成を支援する就職・進路支援センター

疋田桃子・假野陽介(就職・進路支援センター)・藤野真・植上一希

第12回目のポイント

第12回目は、就職・進路支援センターによる就職および就職の準備期間としての大学での勉強・大学生活(大学生の進路が就職だけに限定されているわけではないが、多くの学生が就職するために就職を念頭にいた大学での学びや大学生活について説明していただいた。)の関する授業を実施した。

- 第12回目のポイントは、現時点で大学での学びを通じて employability を自分自身に蓄積することを推奨することにある(所属学部・学科によっては職業的レリバンス(意義)が低いと思われるがちな学部の学びを通じても、employability が育成されていことも付言した)。
- 授業では、「新規学卒一括採用」や「メンバーシップ型採用」など日本における労働市場の特性の説明、職業選択の要点および大学生活を通じた employability の獲得について説明が行われた。
- これまでは、大学卒業後の進路、おもに企業に就職した場合の状況について就職・進路支援センターにご担当いただいた回以外に、労働法などの説明の回を設けていた。しかし、授業のリアクションペーパーなど反応から、そういった主旨の授業を取りやめることとした(もちろん、そういった知識が不要であるということをいっているわけではない)。1年生の時点で、「もし、職場で〇〇のような状況に陥ってしまった場合」との仮定で授業を行なっても教育効果が得られないと判断したためである。労働法などについては、第10回の「学生の悩み・躓きやすいこと」の回で、アルバイトおよびブラック・バイトとの関連で説明することとした。1年前期の段階でアルバイトをはじめた学生もおり、目の前の課題としてこの種の問題を考えてもらう方が教育効果が高いと判断したからである。

授業の進め方

(1)第 12 回目の説明[5 分]、(2)就職・進路支援センターによる授業[70 分]、(3)ミニッツ・ペーパー:MS-Forms への回答[残り時間]

授業の資料

(資料1)「福大生のためのキャリアデザイン」
…授業で利用したスライド(就職・進路支援センター)

福大生のためのキャリアデザイン ～進路選択に向けて～

就職・進路支援センター事務室

假野 陽介

疋田 桃子

1

1

自己紹介

假野 陽介（カリノ ヨウスケ）

福岡大学経済学部経済学科卒業

福岡大学入職 財務部会計課⇒就職・進路支援センター

年 齢：38 歳

出身地：福岡県豊前市

家族構成：妻 1人、子ども 3人

部活動歴：中学・高校・大学ともにソフトテニス部

2

自己紹介

疋田 桃子（ヒキタ モモコ）

福岡大学 人文学部教育・臨床心理学科 卒業

福岡大学大学院 人文科学研究科（教育分野）

修了

学校法人福岡大学 就職・進路支援センター

年 齢：24歳（現在、1年目）

専 攻：教育学，青年期教育（専門学校等）

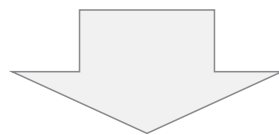
3

3

キャリア観，進路選択は多様

前提として…

- ・ 様々な価値観を持ってよい
- ・ 進路決定の時期や進路選択は人それぞれ
- ・ キャリア観も労働観も人それぞれ



これを踏まえて今回は今後多くの人が経験すると予測される就職活動の話がメイン

4

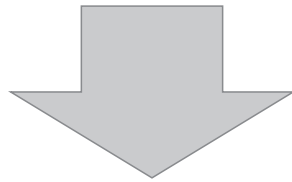
4

なぜ
学校法人福岡大学の事務職員を
選んだのか

5

5

自分がやりたいことや自分ができ
ることを明確化して、就職活動や今
後のキャリアの軸を決定



その軸をもとに学校法人福岡大学の
事務職員を選択

6

6

就職活動の軸とは？

会社選びや仕事選びの自分なりの基準のことを指しており、大きく「自分に関する基準」と「自分以外に関する基準」の2つに分けられる

自分に関する基準：「こういう人になりたい」

「こんなキャリアを積みたい」

→仕事を通して自分がどうなりたいか

自分以外に関する基準：「企業の規模」

「〇〇のスキルが役立つ企業」

→企業の状況

リクナビ 就活準備ガイド (<https://job.rikunabi.com/contents/howto/9956/>) より

7

7

私の就職活動の軸

- ①これまで学んできた教育学と繋がりがある
- ②仕事以外の日常生活や趣味等も含めてキャリアを形成することができる（余裕がある）
- ③経済的自立や精神的自立といった、自立した生活を営むことができる

8

8

軸を踏まえて考えた企業

- 学校法人 福岡大学（福岡）
…教育（大学・中高）・医療／事務職
- 学校法人 片柳学園（東京）
…教育（大学・専門学校）／事務職
- 株式会社 サンリオ（東京）
…卸売業／総合職
- その他、人材業界など・・・



9

実際の就職活動（初期）

本命である教育機関の事務職員（やサンリオ）は選考時期が4～5月頃と遅いため、なんとなく人材業界にエントリーするものの…

全くうまくいかない…



10

10

失敗した原因

- そもそも関心がなく、就職活動での軸と重なる点が少ない業界だった
- それ故に面接でうまく話せず、相手に伝えたいことがほとんど伝わらなかった

→自己理解、業界理解、企業理解の不足

11

11

実際の就職活動（中期）

5月から始まる第一志望群に向けて切り替えて、とにかく業界研究や企業研究をおこなう

興味関心がある業界だから積極的に取り組むことができた

就職活動初期よりも

自信を持って

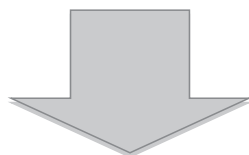
臨むことができるようになる

12

12

就職活動の最終的な結果

学校法人福岡大学（内々定）と学校法人片柳学園（選考途中）で迷う（いずれも①と②はクリアしている）



就職活動の軸のひとつである③「自立した生活を営むことができる」という点から学校法人福岡大学を選択する

13

13

入職後・現在の仕事

就職・進路支援センター事務室に配属

【具体的な業務】

- ・ 就職・進路支援センターのSNS（一部）の管理
- ・ 相談業務
- ・ 就職活動支援行事の準備

など

14

14

まだ入社して間もないですが…

学生時代に身につけた知識や能力を活かしつつ、新たな知識や経験を得ることができているため、毎日やりがいを感じながら楽しく働くことができている

15

15

その理由は？

- 就職活動の段階で明確に就職活動、今後のキャリアの軸を決めていたから
- それに伴い、自分がやりたいことと自分ができるところを明確にして、積極的に進路（企業）を選択したから
- 自分の考え方を大事にしつつ、就職・進路支援センターの方向性も大事にして、2つをあわせながら仕事をするように意識しているから

16

16

それを裏付ける経験とは？

大学院生時代、講義以外に指導教員や研究室の先輩等が紹介してくれる活動や仕事に積極的に挑戦した

【主な経験】

- 研究室や研究会への参加、研究アルバイト
- TAやLA（授業補助や学生対応）
- 学童保育の有償ボランティア

など

17

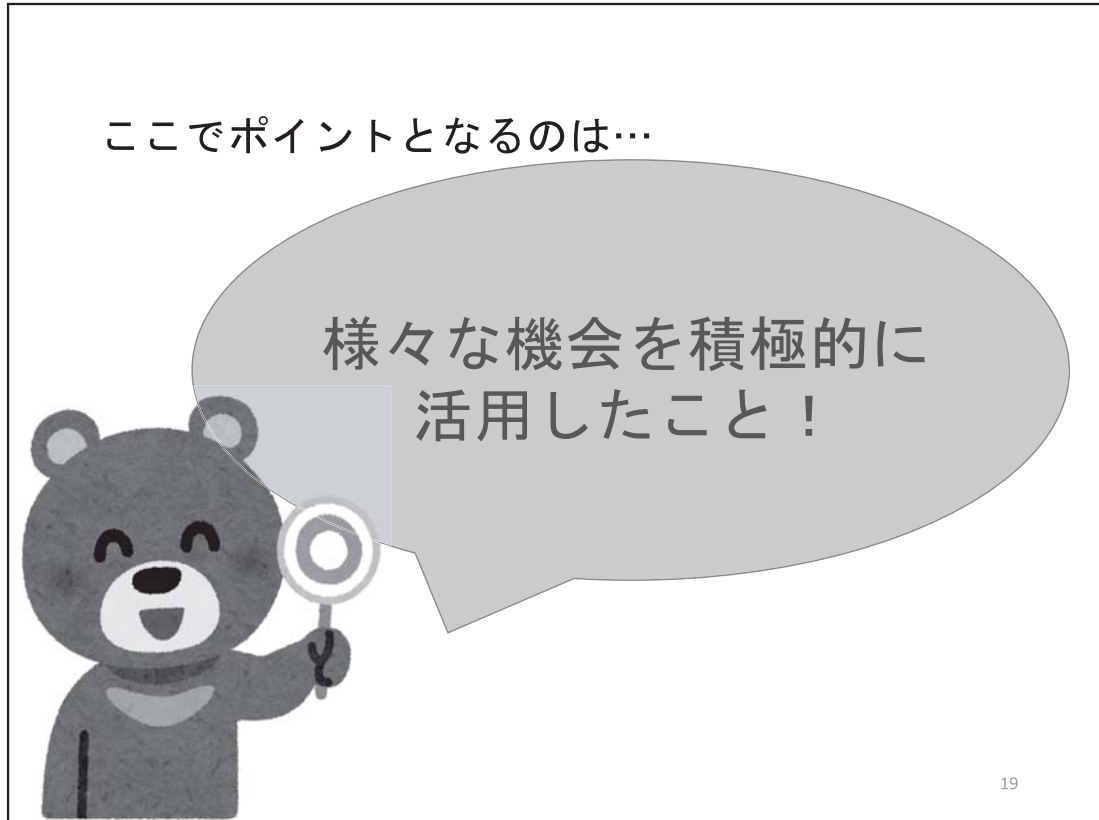
17

経験を通して得たもの

- 教育学に関する知識や知見
- 様々な機会に対して、できる範囲で積極的に挑戦したことによって多様な価値観があることを知った
- その上で自分の価値観と他者の価値観の融合や折り合いのつけ方を学んだ
- それらと比較することで、自分自身の価値観や軸を形成することができた


18

18



19

計画的偶発性理論



スタンフォード大学
ジョン・D・クランボルツ教授

- 個人のキャリアの8割は予想しない偶発的なことによって決定される
- その偶発的なことを計画的に導くことでキャリアアップをしていくべき

参考：ジョン・D・クランボルツ、A.S.レヴィン、花田光世ら訳『その幸運は偶然ではないんです!』、ダイヤモンド社、2005

20

20

5つのポイント①

- ①「好奇心」： 絶えず新しい学習の機会を模索し続けること
- ②「持続性」： 失敗に屈せず、努力し続けること
- ③「楽観性」： 新しい機会は必ず実現する、可能になるとポジティブに考えること

21

21

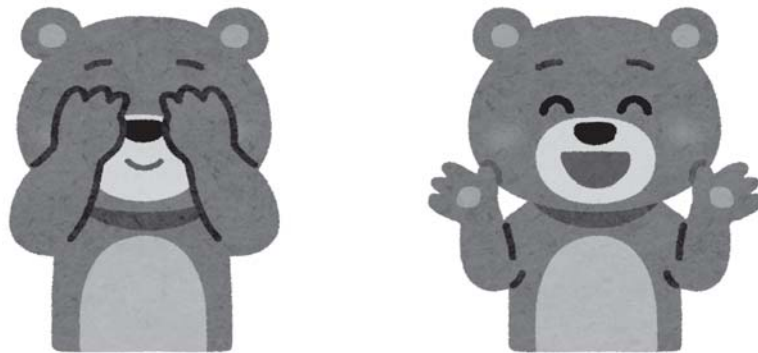
5つのポイント②

- ④「柔軟性」： こだわりを捨て、信念、概念、態度、行動を変えること
- ⑤「冒険心」： 結果が不確実でも、リスクを取って行動を起こすこと

22

22

大学入学当初まで遡ると、
「計画的偶発性理論」と
重なる行動が見えてくる…？



23

23

学部生時代①

【福岡大学人文学部教育・臨床心理学科入学】

○入学当初

心理学に惹かれたものの大学選択については
なんとなく

○2年次

学びたいことに違和感を感じつつ、教育学に
興味をもつようになる（葛藤あり）

①好奇心

○3年次

ゼミ選択時に思い切って教育学のゼミを選択

③楽観性
④柔軟性

24

24

学部生時代②

○4年次

進路を考える段階で、いま学んでいる教育学についてもっと学びたいと思うようになり、不安を抱きつつも大学院進学を決める

⑤冒険心

▽大学院

学部時代から引き続き教育学について学びながら紹介したような活動や仕事に取り組む

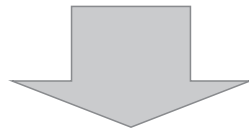
②持続性

25

25

学生生活をどのように過ごすか

この事例からも分かるように「学生生活をどのように過ごすか」が今後のキャリアや自分の価値観に影響を与える




様々な学習機会を積極的に探し、参加しながら、その都度リフレクションとフィードバックをして、計画的にキャリア形成をしていくことが重要となる

26

26

ここでポイントとなるのは…

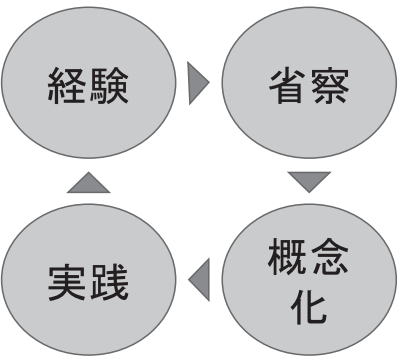


リフレクションとフィードバックをすること！

27

27

経験学習モデル



- ①具体的な経験をする
- ②経験を多様な観点から振り返る
- ③他でも応用できるように概念化する
- ④新しい場面で実際に試してみる

→何度も繰り返す！

28

28

このような「計画的偶発性理論」
や「経験学習モデル」が
就職活動においても、
今後より一層重要になってくる！

29

29

その背景となる出来事

就活ルールの変更

経団連は、2018年10月9日に2021年春に入社する学生から従来の就活ルールを廃止することを発表



30

30

就活ルール廃止の理由



これまで経団連が「採用選考に関する指針」として就活ルールを定めてきたが、拘束力がなかったためルールを逸脱する企業が多く、形骸化が指摘されていた

→経団連から政府主導に

日本経済新聞「21年卒の就活ルール、15日協議」2018/10/09

31

31

就活ルール廃止以前の
就職活動の特徴

32

32

今年度の就職活動時期

3年次生(院1年次生)												4年次生(院2年次生)											
2019年						2020年						2021年											
5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
インターンシップ												★採用活動開始											
第1回, 第2回 就職ガイダンス												面接・内々定											
業界研究 セミナー												面接・内々定											
全員面談												面接・内々定											
OB・OG 訪問会												内定式											
①自己分析												会社説明会											
②業界研究												エントリーシート 提出											
③筆記試験対策												リクレーター面談											
												筆記試験											
												面接・試験											
												秋・冬採用											
												求人数減少?											
												卒業											

33

33

現在の新卒採用

【ポテンシャル採用】

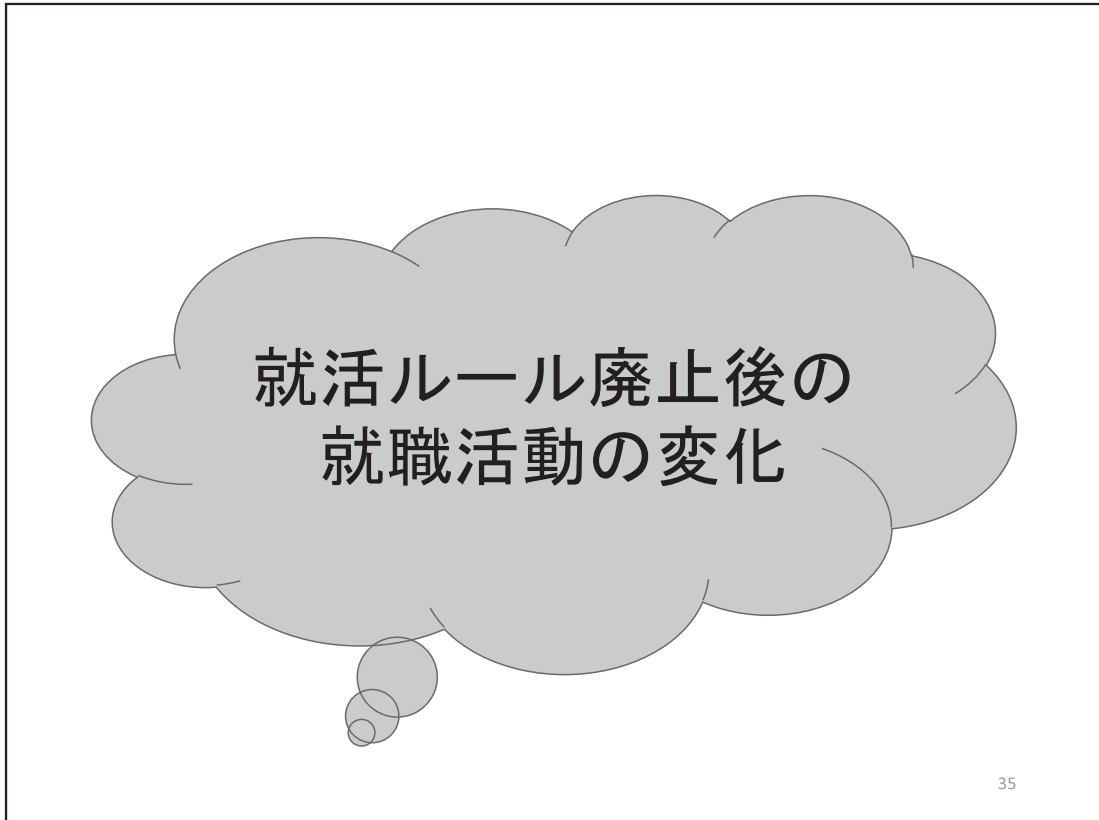
志望者の過去や現在の経験に焦点を当てて、潜在能力を重視した採用形態

【総合職採用】

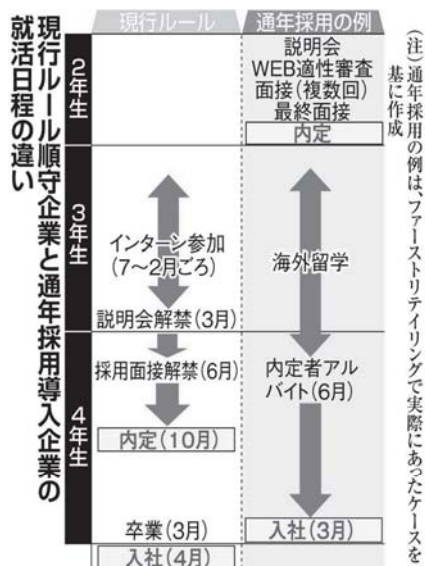
入社後、各人の希望や適性に合わせて営業、総務、企画、マーケティング等に配属を決める採用形態

34

34



新たな採用活動・採用形態①



【通年採用】

年間を通し、必要性に応じて自由に採用活動をおこなう採用形態で、就活ルールの廃止に伴い、導入する企業が増えている

新たな採用活動・採用形態②

【ジョブ型採用】

各人の専門性に応じた形で、仕事にひとを割り当てる採用形態

○特徴

職務：職務や勤務地が限定されている

採用：欠員補充時に募集

雇用保障：弱い

給料：職務によって決まる＝職務給

教育：社内教育は少ない

37

37

その他にも…

- ギャップイヤーの導入
- 卒業要件の厳格化の徹底
- 採用における成績評価を卒論など学位取得に至る全体を評価する
- 専門知識を活かす長期インターンシップの実施
- データ分析や語学、教養の習得

38

38

コロナウィルスの現在の影響

＜就職活動への影響＞

- ・ 就職情報会社や大学主催の合同企業説明会、個別企業説明会の中止
- ・ 説明会や選考、面接がWEB上に切り替わって実施
- ・ オンライン上でのOB・OGとのやりとり
- ・ 企業の採用人数、時期等、採用計画の見直しなど

39

39

今後の影響は？

- ・ Web化が進むことが予測される
就職活動：Web面接・面談，オンライン説明会等の
「オンライン就職活動」
働き方：リモートワーク・Web会議等
- ・ 一部業界や業種に影響があることが予測される
 - 航空業界や旅行・観光業界に一時的な影響
 - …同時に求人も減少することが予測される
 - 安定志向が強まる可能性

40

40

企業はどんな人材を求めている？

【社会人基礎力】

「社会人基礎力」とは



平成18年2月、経済産業省では産学の有識者による委員会（議長：諏訪康雄法政大学大学院教授）にて「職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力」を下記3つの能力（12の能力要素）から成る「社会人基礎力」として定義づけ。

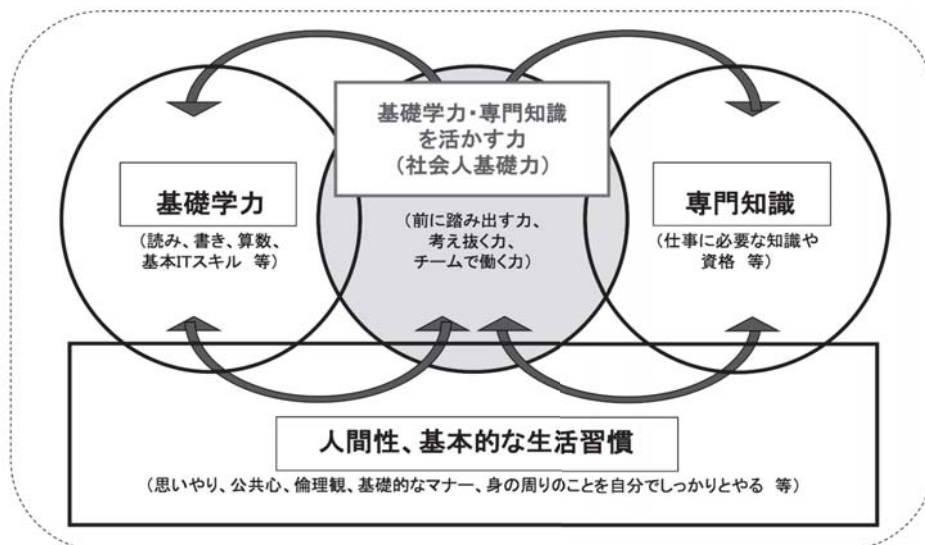
<3つの能力 / 12の能力要素>



41

41

社会人基礎力を培うために…



42

42

そのためにも、学生生活を
「どのように」
過ごすかが重要になる

・
・
・

多様な学習機会とそこで
身につけることができる能力を
常に意識しよう！

43

43

大学生の学習機会と身につく能力

学業・ゼミ活動

課題発見力，計画力，情報
収集力，文章力，発信力

部活動

主体性，働きかけ力，忍耐
力，計画性，規律性，体力

ボランティア

創造力，主体性，発信力，
実行力

アルバイト

状況を把握する力，報連相
の基本，柔軟性

44

44

本学における多様な学習機会

学生時代にしかできないことをしよう！

学習機会	主な担当部署
ボランティア	学生課など
留学	国際センター
教職課程	教職課程教育センター
学生チャレンジプロジェクト	学生課
資格取得講座	エクステンションセンター
サークル・部活動	学生課、各サークル・部活動

45

45

小休止です。
5分ほど時間を取りますので
各自休憩してください。

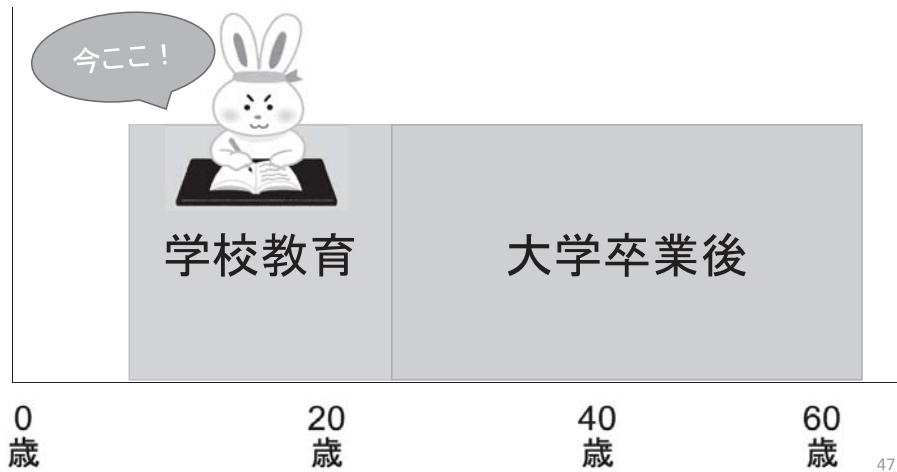


46

46

なぜ“今”将来のことを？

大学卒業後の人生はとても長い！



47

大学卒業後の人生を考えよう

大学卒業後、企業に就職→働き続ける場合…

8時間 × 250日 × 40年
(実働時間) × (勤務日数) × (勤務年数)

これをどう捉える？

48

48

どういふ働き方がしたい？

例えば大卒後就職ルートの場合

仕事一筋
でいたい

高い賃金を
得たい

仕事を
楽しみたい

生活と仕事を
両立したい

趣味や勉強を
優先したい

49

49

仕事や就職活動について考える

キャリア観や労働観を形成するためにも、長期的なキャリアを考えるためにも、就職環境や自分自身、仕事について知る必要がある

②自分自身
を知る

①就職環境
を知る

③仕事を
知る

50

50



51

51

就職環境を知る①

【正社員と非正規社員の平均月収差】

	正社員	非正規社員
20～24歳	21.4万円	18万円
50～54歳	39.8万円	20.6万円

厚生労働省「令和元年度賃金構造基本統計調査」より作成

52

52

就職環境を知る②

【2020年3月卒業予定の大卒求人倍率】

1.83倍

リクルートワークス研究所「第36回ワークス大卒求人倍率調査（2020年卒）」より

→数字上は、
選ばなければ誰もが就職できる状況がある

53

53

就職環境を知る③

【従業員規模別求人倍率（1,000人以上）】

0.76倍

リクルートワークス研究所「第36回ワークス大卒求人倍率調査（2020年卒）」より

→大手企業や有名企業にフォーカスすると求人倍率も下降する

54

54

就職環境を知る④

現在の就職活動における不足

学生

- 自己理解不足
- 業界研究不足
- 企業研究不足

企業

- 内定者不足

学生のレベル感への不満
業界を絞る学生が多い
BtoB企業を知ってもらえない

55

やりたいことをやるために

自分自身を知る
(自己分析)

自分について
整理する



仕事を知る
(業界・企業研究)

業界・企業に関する
情報を
収集・整理する

自分に合った仕事の選択

56

56

どうして2つ必要？

就職活動では、自分の適性や能力、魅力等を知るための自己分析だけでなく、業界研究や企業研究も必須



業界研究や企業研究は知らない仕事や知らない企業に出会うため、興味を持つためという意味で必要

57

57



②自分自身を知る

58

58

自分自身を知る①

【自分が興味のあるものはなにか】

好きなもの、関心があるもの、やってみたいこと、挑戦したいことはどのようなもの？

○その上で…

- ・働くことをリアルに考えて、どのような仕事にたずさわりたいか

59

59

自分自身を知る②

【自分が大切にしている価値観はなにか】

自分の行動のもととなる価値観や考え方、軸はどのようなもの？

○その上で…

- ・どのような企業理念を掲げる企業で働きたいか
- ・どのような仕事にやりがいを感じるか

60

60

自分自身を知る③

【自分の能力・特徴はなにか】

得意／不得意、長所／短所は
どのようなもの？

○その上で…

- ・ 短所をどう捉えるか（改善するためには）
- ・ 長所や得意なことを活かすことができる職業はどのようなものか

61

61

自分を知ること④

【重要なポイント】

「自分を知ること」は就職活動だけでなく、
長期的なキャリア全体を考えるためにも重要

客観的な視点からの「自分」だけでなく、主
観的な視点からの「自分」も大切であるため、
一人で思考を深める「個人の時間」も重要

・
・
・

「第3の学び方（個人作業）」も意識する

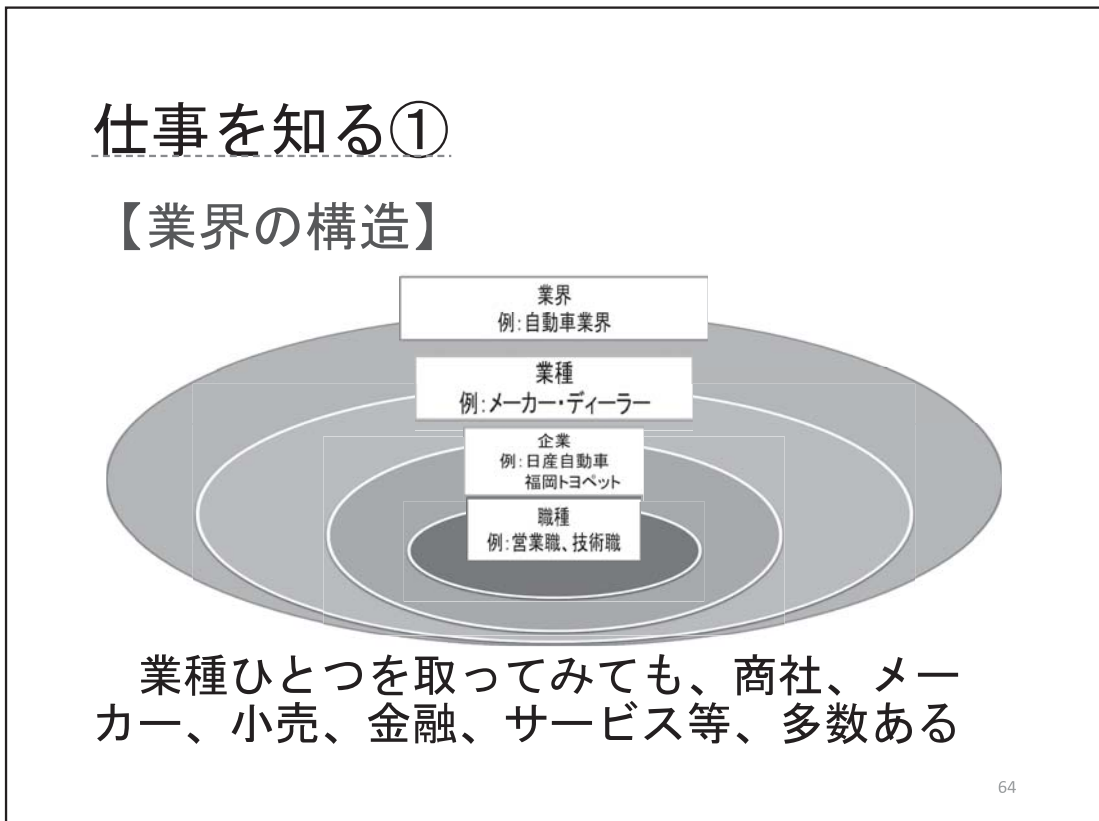
Susan Cain 「The power of introverts」@TED

62

62



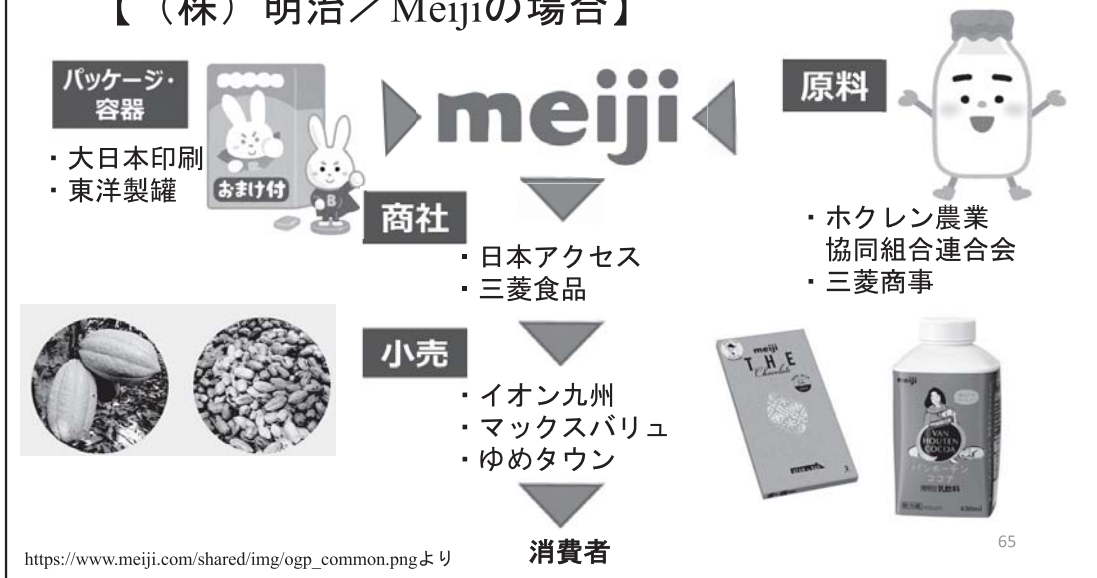
63



64

仕事を知る②

【（株）明治／Meijiの場合】



65

仕事を知る③

産業用機械メーカー：安川電機・SMCなど

専門商社：日伝・岡谷鋼機など
総合商社：双日・三井物産など

東洋製罐

明治

大日本印刷

66

66

仕事を知る④

【重要なポイント①】

このように、業界研究・企業研究をおこなう上で重要となるのは、様々な企業が関わって、業界が形成され、社会が形成されているということ

関心があるもののメイン企業だけでなく、周辺の企業についても調べてみるのが大事

67

67

仕事を知る⑤

【重要なポイント②】

興味がある企業だけでなく、興味がない企業についても丁寧に調べ、「興味がない理由」を分析することが重要

興味がない企業について丁寧に分析することで、「やりたいこと」がより明確化される

68

68

仕事を知る⑥

【企業・仕事を知る情報源】

- ①就職・進路支援センター
- ②新聞，ビジネス誌，業界地図，四季報
- ③就活情報サイト
- ④インターンシップ

69

69

インターンシップとは

学生が在学中に自らの選考、将来のキャリア
に関連した就業体験をおこなうこと（文部科学省HPより）

企業・仕事
理解

必要な
スキル



自己理解

出会い

70

70

インターンシップの目的の多様化

① 業界や企業のことを知る

B to C の企業だけでなく B to B の企業も知ることができる！

※ B to C : 企業が消費者を相手に仕事をする

B to B : 企業が企業を相手に仕事をする

② 採用につながるチャンスの場

71

71

アルバイトとの違いは？

	アルバイト	インターンシップ
学生の目的	<ul style="list-style-type: none">・ 賃金・ 社会勉強	主に職業体験
企業の目的	労働力	仕事や業界・企業を理解してもらうこと
得られるもの	<ul style="list-style-type: none">・ 賃金・ 企業の一部の機能を知る	業界や仕事の全体像がわかる、社員と同じような視点で企業を見ることができる経験

72

72

実施企業増加中

新卒採用を実施している企業のインターンシップ実施率は年々増加傾向にある

		（％）	
		実施	未実施
●凡例			
2020年度（予定）	n=975	94.8	5.2
2019年度	n=983	95.0	5.0
2018年度	n=984	89.4	10.6

出所：就職みらい研究所「就職白書2020—就職活動・採用活動の振り返り編」

73

73

インターンシップの種類

大学を通して申込を行うインターンシップ

福岡大学独自分

九州インターンシップ
推進協議会分

海外インターンシップ

その他（官公庁等）

学外で募集される自由応募型のインターンシップ

ナビサイトや企業HP等

74

74

本日のまとめ

75

75

今後の大学生活におけるポイント

大学生活をとおして多くの経験をする

今日の話をつまみ、早い段階から
将来について考える

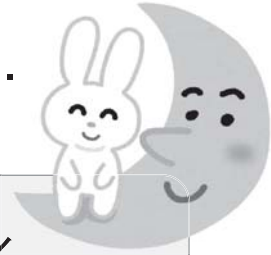


この2つをつなげて考えよう！

76

76

この2つをつなげて多くの経験を積むと…



①社会人基礎力が身につく

②今後のキャリア選択の参考になる
(選択肢が増える)

③充実した大学生活を送ることができる

77

77

みなさんへ

- 別々の人間だから考え方も価値観も多様であり進路選択においても多様
- 周囲の考えを聞くことも大事だが、自分で自分のキャリアを引き受けることも自分を大切にすることも大事
- 疲れたときは自分を麻痺させてまで突っ走らずに、ひと休みしてから考える

78

78

現在の支援体制①

対象 1年次生 2年次生

1・2年次生のための就職ガイダンス

～大学生活の過ごし方が未来に繋がる！～

大学時代は人生の真実のなんて考えではダメだ！

< 内容 >

① これからの大学生活をどう過ごすか

- ・社会で必要とされる力について
- ・学生生活の過ごし方
- ・これからの学生生活の計画を立てる

② 今から知っておくべき就職活動の基本

- ・働く意味や意義を考える
- ・卒業後の進路選択について
- ・今の就職活動の流れ、実態を知る
- ・今からできる就職活動の準備について (自分と仕事を知る)

< 配信日時 >

*5/25 (水) から

< 視聴方法 >

和歌山大学 → 共通 → 学生配布
→ 就職・進路支援センター
→ 1・2年次生のためのガイダンス

79

79

現在の支援体制②

IV. 1・2年次生対象行事

項目	開催月	行事名
就職説明会	4月	1・2年次生対象就職ガイダンス →WEB配信
対策講座関係	6月・11月	自己分析講座 →8月分WEB配信
	6月・11月	自己PRの書き方講座 →8月分WEB配信
その他	4月～	コンピテンシー診断テスト
	5月～・11月～	SPIテストセンター模擬試験(一斉WEB受験)
	8月	企業研究ツアー →延期
	未定	課題解決型(PBL型)プログラム

V. 全学年次生対象行事

項目	開催月	行事名
対策講座関係	5月	インターンシップ・業界研究フェア →延期予定
	5月～6月、12月～2月	業界研究セミナー →5月～6月分WEB配信
	10月	教員採用試験ガイダンス
	10月	就職するまでに知っておきたい労働法講座
	11月	公務員採用試験ガイダンス
	12月・2月	学内OB・OG訪問会
	11月	東京での就職活動の進め方セミナー
	1月	学内合同業界研究会

*対策講座については時期に応じて、企画・実施予定

VI. インターンシップ

項目	開催月	行事名	
インターンシップ (国内)	夏季	5月	募集説明会
		6月	オリエンテーション
		8月	事前研修会
		8月～9月	インターンシップ派遣
		9月	事後研修会
	春季	11月	募集説明会および体験報告会
		12月	オリエンテーション
		1月	事前研修会
		2月～3月	インターンシップ派遣
		2021年4月	事後研修会
インターンシップ (海外)	夏季	5月	募集説明会
		8月	インターンシップ派遣

80

80

現在の支援体制③

●WEB面談

- ・ Skype for Businessを利用（スマホでもOK）
- ・ 進路選択や就職活動全般について
- ・ 予約制,各回30分

【予約方法】

FUポータル→学生生活→就職情報システム→面談予約

81

81

1年生の相談も受付中！
みなさんをお待ちしています！



就職・進路支援センター

場所：1号館1階

開室時間：平日8：50-21：20

土曜8：50-12：35, 17：35-21：20

※春季休業・夏季休業の開室時間につきましてはHPをご参照ください
※現在、オンライン上でのWEB面談や電話・メールで対応しております

HP：career.fukuoka-u.ac.jp

Twitter：@fu_career

82

82

令和2年度 就職支援行事(予定)

I. 学部3年次生(薬学部は5年次生)・大学院1年次生対象行事

項目	開催月	行事名
就職説明会	5月	第1回薬学部対象就職ガイダンス →WEB配信
	5月	第1回就職ガイダンス →WEB配信
	10月	第2回就職ガイダンス
	10月	外国人留学生対象就職セミナー
	10月	大学院生向け就職ガイダンス
	7月・2月	看護学科対象就職ガイダンス
対策講座関係	5月	インターンシップ・業界研究フェア →延期予定
	5月～6月、12月～2月	業界研究セミナー →5月～6月分WEB配信
	6月～3月	集団模擬面接・個人模擬面接・グループディスカッション・グループワーク
	6月・11月	自己分析講座 →6月分WEB配信
	6月・11月	自己PRの書き方講座 →6月分WEB配信
	12月・2月	就職実践マナーセミナー
	12月・2月	学内OB・OG訪問会
	11月・12月・2月・3月	面接突破セミナー
	1月	学内合同業界研究会
	2月	1日で自己PRから履歴書が描けるようになるセミナー
	3月	3時間で面接のコツを体感するセミナー
	採用説明会関係	3月～
その他	4月～	コンピテンシー診断テスト
	6月～・2月～	SPIテストセンター模擬試験(一斉WEB受験)
	6月・11月	SPI対策セミナー →6月分WEB配信
	6月以降 随時	筆記試験対策eラーニング教材『SMART SPI』配付
	9月	就活キャンプ in 東京 →オンラインで実施
	9月～12月	文系学部面談
	11月・12月・2月・3月	エントリーシートの書き方セミナー
	未定	課題解決型(PBL型)プログラム

II. 学部4年次生(薬学部は6年次生)・大学院2年次生対象行事

項目	開催月	行事名
就職説明会	5月	外国人留学生対象就職セミナー →WEB上で実施
	4月・6月・11月	就職活動応援セミナー →WEB上で実施
	3月	卒業後の就職活動支援セミナー
対策講座関係	年間	個人模擬面接 →WEB上で実施
採用説明会関係	4月	学内個別企業説明会 (公務員、教員採用説明会含む) →4月中止 5月からオンライン説明会を実施
	4月～2月	学内合同企業説明会 →延期
その他	4月～	コンピテンシー診断テスト

III. 2年次生対象行事

項目	開催月	行事名
就職説明会	10月	2年次生対象就職ガイダンス

IV.1・2年次生対象行事

項目	開催月	行事名
就職説明会	4月	1・2年次生対象就職ガイダンス →WEB配信
対策講座関係	6月・11月	自己分析講座 →6月分WEB配信
	6月・11月	自己PRの書き方講座 →6月分WEB配信
その他	4月～	コンピテンシー診断テスト
	5月～・11月～	SPIテストセンター模擬試験(一斉WEB受験)
	8月	企業研究ツアー →延期
	未定	課題解決型(PBL型)プログラム

V. 全学年次生対象行事

項目	開催月	行事名
対策講座関係	5月	インターンシップ・業界研究フェア →延期予定
	5月～6月、12月～2月	業界研究セミナー →5月～6月分WEB配信
	10月	教員採用試験ガイダンス
	10月	就職するまでに知っておきたい労働法講座
	11月	公務員採用試験ガイダンス
	12月・2月	学内OB・OG訪問会
	11月	東京での就職活動の進め方セミナー
	1月	学内合同業界研究会

*対策講座については時期に応じて、企画・実施予定

VI. インターンシップ

項目	開催月	行事名	
インターンシップ (国内)	夏季	5月	募集説明会
		6月	オリエンテーション
		8月	事前研修会
		8月～9月	インターンシップ派遣
		9月	事後研修会
	春季	11月	募集説明会および体験報告会
		12月	オリエンテーション
		1月	事前研修会
		2月～3月	インターンシップ派遣
		2021年 4月	事後研修会
インターンシップ (海外)	夏季	5月	募集説明会
		8月	インターンシップ派遣

VII. 支援業務

項目	開催月	内容
センタースタッフ	年間(予約不要)	就職や進路に関するさまざまな相談に対するアドバイスをを行います。
キャリアカウンセリング	年間(予約)	カウンセリングの資格をもったキャリアカウンセラーが個別相談に応じています。
進路相談員・就職アドバイザー	年間(予約不要)	企業の人事・採用経験者が面接などについて実践的なアドバイスをを行います。
就職サブ・ゼミナール	年間	ゼミナールの時間帯を利用して就職に関するガイダンスを行っています。クラブ・サークル単位での申し込みもできます。積極的に利用してください。
学生アドバイザー (令和元年度 34名)	就職活動を終えた4年次生が、自分自身の経験を踏まえてアドバイスします。	
	10月	学生アドバイザーによる集団模擬面接
	10月	学生アドバイザーによるグループディスカッション講座
	11月	学生アドバイザーによる就活座談会
	12月	学生アドバイザーによる個別就職相談会

VIII. 学部主催行事

項目	開催月	行事名
人文学部	6月・11月	エアラインセミナー

IX. 総合系列科目(1・2年次生対象)

項目	開講時間割	科目名
総合系列科目	後期・木・4限	「現代を生きる(地域企業と連携したPBLを通じて学ぶ社会人基礎力)」

*各行事の具体的内容については、FUポータルや掲示板、ホームページ等にてお知らせします。

*個別相談には、学年を問わず随時応じています。

第12回「福大生のためのキャリアデザイン」Forms 就職・進路支援C関連質問回答

1. 1年次の時点で知りたいこと・取り組むべきこと

質問内容	回答
1 1年生が進路に向けて絶対したほうが良いことはなんですか？	授業でもお話ししており、さまざまな機会に挑戦し、独自の経験を積んでいただきたいです。進路のためや就職活動のためだけに、そのような機会に参加し、活動していく必要はないと思いますが、ゆくゆくはそれらにもつながっていくと思います。
2 1年次のうちから取り組むことができる就職活動の内容があれば教えてください。／大学1年生は就職に向けてまずどのような準備をしたら良いですか。／1年次では進路選択に向けて何をすることが一番良いですか？どの様な活動に参加すれば3、4年次に就職活動するのに役立ちますか？	配布した「R2 就職支援行事予定」に初年次の方々でもご参加いただける就職支援行事を記載しております。そのような機会を活用し、積極的に活動していくと良いと思います。授業の中でも少しだけ触れましたが、特に、課題解決型（PBL型）プログラムでは福岡市や福岡銀行、JALとコラボレーションをしており、各組織の課題について、独自の解決策を打ち出し、提案するといった活動に取り組んでいます。1～3年次生が対象で、グループでの活動となりますので、他学年の学生と関わることもできますし、各組織の方とお話をする機会もあります。他では体験することができない貴重な機会となっておりますので、是非検討してみてください。
3 1年次のうちに様々な仕事や企業について調べていると考えているのですが、調べ方としては今のうちインターネットや新聞などを元にしようと考えていて、それだけではその仕事や企業のことを完璧に理解することは出来ないと思っていて、他にどのような調べ方があるのか。	インターンシップに参加してみたいかでしょうか。授業のなかでも紹介したとおり、主な目的は就業体験ですが、仕事理解や業界・企業理解の場としても最適です。また、当センターが実施している学内OB・OG訪問会に参加してみるのも良いと思います。本学の卒業生が参加しておりますので、他の社員よりもハードルが低いと思いますし、企業の内実についても知ることができると思います。初年次学生も対象ですので、ぜひご参加ください。その他にも就職四季報や業界地図等を参考にしてみるのも良いと思います。
4 1年次の時点で知っておくと便利なことを知りたいです。	進路選択や就職活動に限った話になりますが、当センターの支援体制をおすすめします。様々な経験を持つセンター職員が在職しているため、皆さんの力になることができると思います。授業の中でお話ししましたが、Web面談は全学年対象です。ハードルが高いかもしれませんが、「就職活動のことを知りたい」や「進路選択について迷っている」等、どのような相談でも対応しておりますので是非ご利用ください。

2. 進路選択(就職活動に限らず)

質問内容	回答
1 教育・心理学部なのですが将来つきたい職業が根本的にしたいことは似ているのですが職種的には全く違って今の時点で迷っています。人の心に寄り添いたいという信念のもとでスクールカウンセラー、児童相談所の職員になりたいなら大学院にいかなければならぬし、同じく人の心に寄り添いたいということは同じなのですが、フリースクールで働きたいなら就職課程を受講し続け、専門的に教育を学ばなければなりません。(勉強としては心理学が好き)また人と寄り添うという信念の中でたくさんの人と関われる企業や公務員としての道も考えています。2年次からトラック選択が始まるためとても迷っています。長くなってしまいましたが、なりたい仕事の候補が全て選択する道が違う時どのように選択すればいいのか教えてください。	仰るとおり、「ひとの心に寄り添う」ことを目的とした仕事は多種多様あります。そのため、「どのような手段を使って、どのような能力や知識を活かして、その目的を達成したいのか」という点が重要になりますので、そこでの手段や必要となる能力・知識の内実をより明確にする必要があると思います。例えば、民間企業に就職をした状態で達成したいと考えた場合は、どのような理念のもと、どのような事業を展開している(＝手段)企業でその目的を達成したいのかを考える必要があるということです。「ひとの心に寄り添う」という観点から、各進路ではどのような手段で目的にアプローチしているのか、アプローチをするためにはどのような能力・知識が必要なのかを丁寧に調べて整理し、絞り込みながらご自身の価値観や考え方とよりマッチした進路を選択してみたいかがでしょうか。
2 大学院への進学も視野に入れているのですが、もしも、大学院の試験に合格できなかった場合就職の道はどの程度残されているのでしょうか。	ほとんどの大学院が夏と春に大学院入試を実施していると思います。そのため、春入試で不合格だと確認した後に就職活動に取り組む場合は、卒業年の春に入社することは難しいと思いますので、卒業後に就職活動→翌年春に入社のパターンになると思います。そのようなことも頭に入れて、大学院入試の準備をしつつ、早い段階から就職活動をおこなう等、工夫をして計画的に動いていく必要があると思います。
3 今の段階で自分が将来やりたいこととギャップを感じている場合早急に進路変更するべきなのかしばらく置かれた状況で頑張ってみるのか悩んでいます。	将来やりたいこととのギャップを他者に説明できるのであれば、早急に周囲のひとに相談してみたほうが良いと思います。頑張り続けることも大切ですが、なかには早めに取り組んだほうが良いものもありますので、多くの人に意見を求めてみたいかがでしょうか。当センターでもWeb面談を実施しておりますので、それらを活用し、ひとつの意見として参考にしてみてください。
4 自分のやりたいことと活かせる能力が異なる場合、就職の際にはどちらを重視するべきなのでしょう。	今時期からやりたいことに活かせる能力や知識を身に付けることができる機会に参加し、それらを身に付けてみたいかがでしょうか。まだまだ時間はありますので、ご自身を型にはめるのではなく、可能性を広げていくことに努めてみると良いと思います。

3. 仕事や業界、業種

質問内容	回答
1 最近どういった業種が人気なのか。	Web・IT系の企業が人気ではあると思います。ただ、各情報誌などが出している人気企業ランキングは、学生の知っている企業ランキングに近いので、学生は知らないが有力な企業を探すことが重要です。
2 九州の大手企業。	九州電力や九電工、西日本鉄道、九州旅客鉄道、福岡銀行、西日本シティ銀行、西部ガス、ゼンリン、安川電機、TOTO、コスモス薬品等があります。FUポータルにある就職情報システムの企業検索では、条件として本社所在地や上場についても指定できます。それらを工夫して調べてみてはいかがでしょうか。
3 何年生の時に具体的な就職先を考えておくべきですか。	「〇年生までに具体的な就職先を考えなければならない」といった期限は特にありません。就職先について考えるというよりは、1年次から将来自分がどのようにありたいかを考えておくことは重要です。
4 これからIT化が進むことによって色々な職業が人の手がいらなくなるだろうと言われているがそのように言われる職業には具体的にどのような特徴があるのかを知りたい。	人工知能はデータに基づいた単純作業やその処理、比較等が得意であり、新しいことを創造することや、文章を解釈して問題解決をすること、答えがない問題を考えること等が不得意とされています。そのため、今後、知識労働から知能労働に変化していくと言われてますし、人工知能が得意とされる分野と重なる仕事は減少していく可能性が高いと考えられています。総務省の『情報通信白書』や人工知能と仕事に関する研究論文・文献等を参照してみると良いと思います。
5 業界や企業についての情報はどうやって得たら良いのでしょうか。	当センターの就職支援行事や就職情報ナビサイトを活用してみてはいかがでしょうか。とりわけ、当センターの就職支援行事については、学内OB・OG訪問会や学内合同業界研究会等があります。これらの行事は初年次学生も対象ですので、是非ご参加ください。その他にも、テレビ東京系列『知られざるガリバー〜エクセレントカンパニーファイル〜』等の企業紹介をしている番組を視聴してみると、企業の一端を知ることができると思います。
6 大企業といわれている企業と中小企業といわれている企業の違い。	大手企業と中小企業は、社員数や資本金、出資額の違いがあります。給与面や福利厚生面は比較的大手企業の方が安定している印象がありますが、実際は各企業それぞれだと思えます。就職情報ナビサイトに掲載しているアンケート結果等を参考にしてみてください。また、大手より中小企業の方が自由度が高いなどということもために目にしますが、そこは企業規模というよりは、その人がどのように働くかによると思います。

4. 就職活動

4-1. インターンシップ全般

質問内容	回答
1 インターンシップの参加方法。	授業のなかでもお話したように、大学を通して参加する方法と就職活動ナビサイトをを通して参加する方法、各企業のサイトをを通して参加する方法があります。今年度の夏季インターンシップについては、本学を通してのものは全て中止になりましたが、就職活動ナビサイトや各企業のサイトをを通してのものは多く実施されています。
2 有償の長期インターンシップに参加したいのですが、探し方がわかりません。今マイナビ2022を使っていますが、通える範囲で自分もチャレンジできそうなものを見つけるのが難しいです。探し方のコツがあったら教えてください。 エントリーした時点では、詳しい日程がわからず、学校と被ってしまったら、と、選考にたどり着く前から、心配になります。インターンシップは、その日程や時間は、選考に通った後に決められるものなのですか？	今年度はオンライン上での実施が多いため、有償の長期インターンシップは少ないかもしれません…。マイナビ2022を利用されているのであれば、絞り込み条件で絞っていくしかないと思います。日程についても、マイナビ2022の絞り込み条件で「学業配慮」を指定し、絞り込みをかけて探していくか、選考通過後に日程を調整できないか企業側に交渉するといった工夫をしていくしかないと思います。選考通過後に日程を選択できるかは各企業によるため、とりあえず受験してみて、日程が合わない場合は個別に調整していただけないか交渉しましょう。今年度はこのような状況であるため、企業側も授業日と重複する可能性が高いことについて、理解してくださると思います。
3 インターンシップについては、自分が参加しようと思っ て期間がかぶってはいなければいつでも参加することはできますか？	参加できます。スケジュール管理を怠らないようにすれば可能だと思います。
4 インターンシップは自分の興味のある職種をある程度絞って行ったほうがよろしいでしょうか？	インターンシップを通して、偏った職種イメージが変化することもありますので、絞りすぎないほうが良いと思います。希望職種だけに絞るのではなく、広い視野を持って参加してみると、ご自身とよりマッチした職種や興味が持てる新たな職種に出会えるかもしれません。「お試しをする」という気持ちで参加してみてください。
5 インターンシップについてですが1年次から参加するのはまだ早いという意見と1年次から参加する人が多いという意見の両方を耳にするのですが1年次に参加してもついていけるような話などが行われるものですか？	早くからインターンシップに参加することは非常に素晴らしいことですので、積極的に参加していきましょう。「参加してついていけるのか」については、応募条件において1年次生が含まれている場合は問題ないと思います。

4-2. 選考の形式や対策

質問内容	回答
1 対面の面接とWeb面接とでの、長所と短所はどのようなことがありますか？	対面接の長所は、姿勢や全体的な雰囲気、表情等をこまめに確認することができるため、ご自身の人柄等を伝えやすい点だと思えます。一方、短所としては移動コストがかかる点だと思えます。Web面接の長所は、移動コストがかからないため、多種多様な企業の選考を受験できる点だと思えます。一方、短所としては、タイムラグがあったり画質の問題等で表情が見えにくかったりするため、伝えたいことを正確に伝えることができない場合が多々ある点だと思えます。
2 ESに記入することが多い「学生時代力を入れたこと」に書くことは何でもいのでしょうか？それともNPO法人を立ち上げた。やアフリカに学校を建てる事業に協力した。などの社会福祉にかかわる出来事のほうが受けがいいのでしょうか？あと、就職四季報は購入したほうがいいですか？	何でも良いです。重要になるのは、経験自体よりも経験を通して得た能力や価値観、人間性ですので、エピソードの規模の大きさを気にする必要はないと思えます。具体的な経験の内容は、ご自身がアピールしたい能力や人柄等の根拠に過ぎないということを意識すると良いと思えます。就職四季報については当センターにもありますので、そちらを利用してみたいかがでしょうか。現在は閉室しておりますが、事前に当センターまでお電話いただければ対応できます。

4-2. その他、就職活動に関すること

質問内容	回答
1 就職活動の4年間の主な流れについて知りたいです。就職活動の4年間の主な流れを把握することによって、この時期に何をやる必要があるといった先の見通しがしやすくなるのではないかと考え、1年生の内から知っていたほうが良いと思い、質問しました。	大学4年間は就職活動をおこなうためのものではないため、「就職活動の4年間の主な流れ」というものはほとんどありません。将来のことを早くから考えることも大事ですが、授業の中でもお話ししたとおり、「学生生活のなかでしかできないこと」をおこない、選択肢が増えるような挑戦をしてみてください。1年次生のうちから就職活動に関する行動をしたいと考えていらっしゃるのであれば、就職活動ナビサイト等に登録し、夏のインターンシップを探してみたり、当センターの初年次生対象の就職支援行事等に参加してみたりすると良いと思えます。就職活動スケジュール自体は、講義資料にあるとおりです。
2 一般企業に入社する場合、教員免許はプラスに働くのか。	専門職やそれらに関連する企業においてはプラスに働くと思えます。一般企業においては、教員免許自体がプラスに働くことは少ないかもしれませんが、取得に至るまでの過程やそこでの努力については高く評価される可能性はあると思えます。
3 教職を取りながら一般企業を受ける方法。	教育実習と就職活動の期間が重複する可能性が非常に高いため、自己管理能力が必須になると思えます。教育実習に支障が出ないよう、民間企業の就職活動については、早めから計画的に取り組むことやスケジュールを調整する等、多くの工夫が必要だと思えます。両立していくことは難しいですので、慎重に検討した方が良いでしょう。
4 大学の成績がどのくらい就職活動に影響するかが知りたいです。	多くの企業は、選考中に「成績証明書」と「卒業見込証明書」の提出を求めます。「成績証明書」は、取得した科目と単位数等が記載されていますので、その範囲については把握されると思えます。近年、大学で学んだ知識を重視する企業も増えていきます。

5. 福岡大学における就職活動状況

質問内容	回答
1 就職率について教えてください、、、！	2019年度就職決定状況一覧より、本学の就職率は97.2%です(全学部計)。
2 歴代の就活でよく聞かれた事例など。	学生時代に特に力を入れて取り組んだことがない。人と会話することが苦手。などが挙げられます。
3 みんなの就職先が気になります。	業種別で見ると、卸売業・小売業、情報通信業、製造業、建設業等が多いです。実際はさまざまですので、参考程度にしてください。FUポータル就職情報システムにあるOB・OG検索をしていただくと過去の就職先を見ることができます。
4 公務員と一般企業への就職活動は同時にできるものなのでしょうか。	同時にされている方も多くいらっしゃいます。民間企業と公務員試験のどちらか一方のみを志望されている方よりも難しい選択ですので、ご自身の中でどちらに重点を置くのかを考えた上で、優先順位をつけながら計画的に準備をされています。
5 就活を経験した先輩方からの大学生活におけるアドバイスをもっと知りたいです。	毎年、当センターでは、就職活動を終えた本学学生(一部)に執筆していただいた『就職活動体験記』を発行しております。今年度も11月頃に発行する予定ですので、そちらを参考にしてみてください。
6 福岡大学の学生はどのような職種につくことが多いのか。	講義でもお伝えしましたが、現在は総合職採用が主流のため、入社後に営業職や事務職などに配属されることとなります。ただ、一般的には営業職が多いと思えます。

6. 就職・進路支援センターに関すること

質問内容	回答
1 1年生で就職・進路支援センターを使っている人はどのくらいいるのか。	現在はそんなにいらっしゃらないです…。是非積極的に利用していただけますと嬉しいです！

2	外国人向け就職活動支援プログラムがあるか知っています。	外国人留学生のための就職セミナーやキャリア相談会等を実施しております。また、交換留学生や外国人学生担当のセンター職員もいます。
3	就活について大学側が主催する説明会はあるのでしょうか？	例年、3・4年次生対象ではありますが、学内合同説明会や、学内個別説明会等を実施しています。配布した「R2就職活動支援行事予定」をご参照ください。全学年を対象とした学内合同業界研究会も開催しています。
4	まだ、将来つきたい仕事が決まっていないのですが、職業をたくさん知れる機会などはありますか？	本学の卒業生を招く学内OB・OG訪問会がおすすめです。例年、多種多様な企業で働く卒業生に参加していただいておりますので、さまざまな企業や仕事を知ることができます。今年度の実施形式等については現在検討中ですが、決定次第FUポータル等でお知らせいたします。初年次の方も対象ですので、是非積極的にご参加ください。

7. 資格取得

質問内容	回答	
1	公務員になるために必要な資格などは調べていますがなにを優先すべき分かりません。	資格ではありませんが、公務員試験において、TOEICのスコアが加点対象となっている場合があります。国家公務員試験や一部の自治体の試験では採用されていますので、各試験案内をご確認してみたいかがでしょうか。
2	これをとっていたら使えるというような資格があれば教えてほしいです。	今後の進路等によって様々であるため判断が難しいですね…。資格自体がご自身の能力を証明するための客観的な根拠になりますので、関心があるものであればどのようなものでも構わないと思います。
3	就活の上で資格はどのくらい有利にはたらくのか。	企業の新卒採用のエントリーにおいて、特定の資格が必須条件になっていることは少ないと思いますので、企業側の評価については判断が難しいです。ただ、ハードルを越えなければ取得できないものが多いと思いますので、客観的に能力を証明する際には役立つと思います。
4	就活にあたり検定はどのくらいの数をこなせばいいのか。	多くの検定に挑戦することよりも、「なぜその検定に挑戦するのか」、「どうしてそれが必要なのか」という目的部分が重要だと思います。ご自身のキャリアデザインを踏まえて、必要に応じて挑戦していく形で良いのではないのでしょうか。
5	一見、将来の夢には関わりのなさそうな試験や資格も取っておくべきですか？	優先順位等もあると思うため、そういったものとの兼ね合いを考えた上で、余力があれば挑戦してみると良いと思います。「計画的偶発性理論」の説明の際にも述べましたが、思ってもいない形で今後のキャリアにつながることや新たな興味関心につながることもあるかもしれません。

8. コロナウィルスの影響

質問内容	回答	
1	航空関係の仕事につきたいと考えているが、コロナの影響で採用人数は少ないと思っています。考え直したほうがいいでしょうか。	一から考え直す必要はないと思いますが、今後の採用活動動向は不透明であるため、最悪の状況を想定して行動する必要があると思います。第二志望の業界として他の業界を視野に入れたり、転職を前提に航空業界で役立つ経験を積むことができる業界や企業を探したりと工夫をしてみてください。
2	コロナの影響で就職が厳しくなるのか。	一部の業界や企業においては、採用人数や採用フロー等を見直す可能性があると思います。このような社会状況下で、どのような企業がどのような動きをしているのか等の企業動向を分析し、今後のキャリアデザインの参考にしてみると良いと思います。

9. その他

質問内容	回答	
1	いろいろな経験をしたいと思いつつも、なかなか行動を起こすことができません。行動を起こすきっかけなどは、どうやって見つけるのでしょうか？	学内のサークルや部活等を調べてみることから始めてみると良いと思います。学術文化部会や体育部会等に属する公認サークルですと、長い歴史がある部活やサークルがほとんどであるため、比較的安定して活動できますし、本学の学生がほとんどですので参加しやすいと思います。歴史が長いからこそルール等が厳しい場合もありますので、活動日や活動内容等ご自身の今後の計画を照らし合わせた上で、参加の可否を決めてみてはいかがでしょうか。

福大生のためのキャリアデザイン 第 13 回目

福岡大学の支援体制③ エクステンションセンター

北嶋太樹(エクステンション・センター)・植上一希・藤野真

第 13 回目のポイント

第 13 回目は、エクステンション・センターによる就職支援の講座は資格取得に関する授業が行われた。

- 第 13 回目のポイントは、コレクター的に資格を取得するのではなく、自分のキャリアのなかに資格を位置付け、必然性がある資格を取得すること推奨する点にある。
- エクステンションセンターは、大学(または大学時代の)での学びを「正課授業」「課外活動」「大学以外での活動」に3区分して考えている。エクステンションセンターは、エクステンション講座を正課授業の補完・補強と位置付け、学生の能力の伸長を試みている。
- 資格取得の講座を、公務員講座を受講することは、資格が取得されなければ、公務員試験に合格しなければ意味をなさないように思われる。しかし、資格取得をしようと決めること、それ講座に通うこと自信が、その学生のキャリアを形作っていくように思う。そういったプロセスさえも自分自身のキャリアを描き出すときにリヨしてもらえればと思う。

授業の進め方

(1)第 13 回目の説明[5 分]、(2)エクステンションセンターによる授業[70 分]、(3)ミニッツ・ペーパー:MS-Forms への回答[残り時間]

授業の資料

(資料1)「福大生のためのキャリアデザイン」

…授業で利用したスライド(エクステンションセンター)

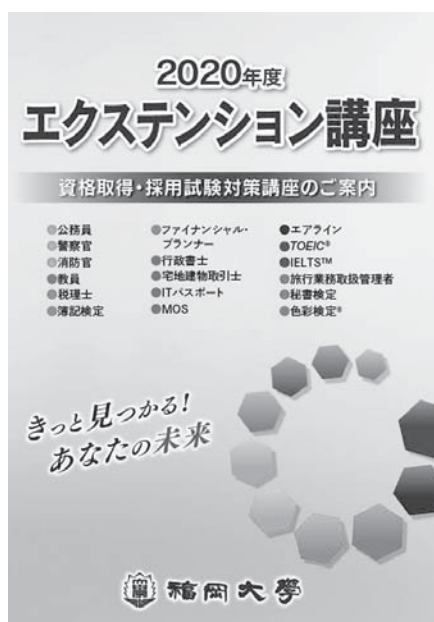
福大生のためのキャリアデザイン －福岡大学の支援体制④－

エクステンションセンター

エクステンションセンター事務室
北嶋 太樹

1

エクステンションセンターとは？



2020年度
エクステンション講座

資格取得・採用試験対策講座のご案内

●公務員	●ファイナンシャル プランナー	●エアライン
●警察官	●行政書士	●TOEIC®
●消防官	●宅地建物取引士	●IELTS™
●教員	●ITパスポート	●旅行業務取扱管理者
●税理士	●MOS	●秘書検定
●簿記検定		●色彩検定®

きっと見つかる！
あなたの未来

福岡大学

知ってる方
チャットで
「知ってる」と
コメントください。

2

時代変化をふまえ どうすれば生き残れるのか？

知識労働から知能労働へ
あなたは、何のプロフェッショナル？

専門性≡資格

+α=高度な知的労働力

職務に必要な知識・スキル

社会人としての常識・基礎的スキル

大卒（社会人としての教養+専門性）

本日の伝えたいこと

① エクステンションセンターを知って
もらうこと

② 世の中の変化を知ってもらうこと

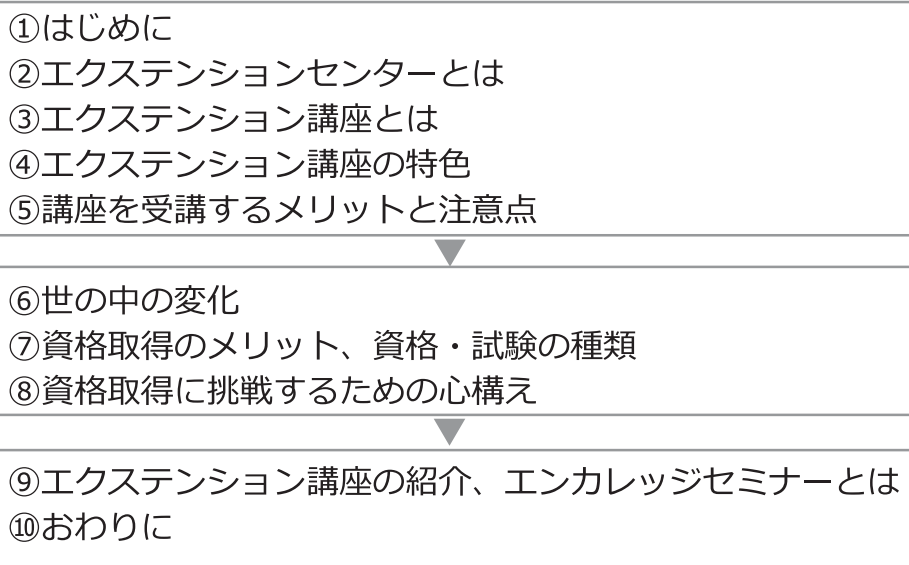
③ 選択

本日の内容

- ①はじめに
- ②エクステンションセンターとは
- ③エクステンション講座とは
- ④エクステンション講座の特色
- ⑤講座を受講するメリットと注意点
- ⑥世の中の変化
- ⑦資格取得のメリット、資格・試験の種類
- ⑧資格取得に挑戦するための心構え
- ⑨エクステンション講座の紹介、エンカレッジセミナーとは
- ⑩おわりに

5

本日の内容



6

本日の内容

- ①はじめに
- ②エクステンションセンターとは
- ③エクステンション講座とは
- ④エクステンション講座の特色
- ⑤講座を受講するメリットと注意点

- ⑥世の中の変化
- ⑦資格取得のメリット、資格・試験の種類
- ⑧資格取得に挑戦するための心構え

- ⑨エクステンション講座の紹介、エンカレッジセミナーとは
- ⑩おわりに

卒業までの4年に何が起こるのか？！

1年生	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
										後期試験		
2年生	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
				前期試験						後期試験		
3年生	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
			介護体験等実習	前期試験	就職活動準備期間・インターンシップ						後期試験	就職活動
4年生	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	就職活動	教育実習	教員採用試験	前期試験			内定式			後期試験		卒業式
		公務員採用試験										

実は短い！大学生活4年間



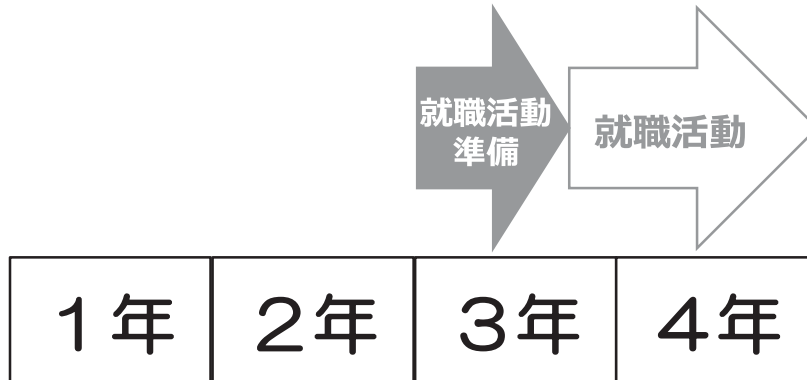
9

実は短い！大学生活4年間



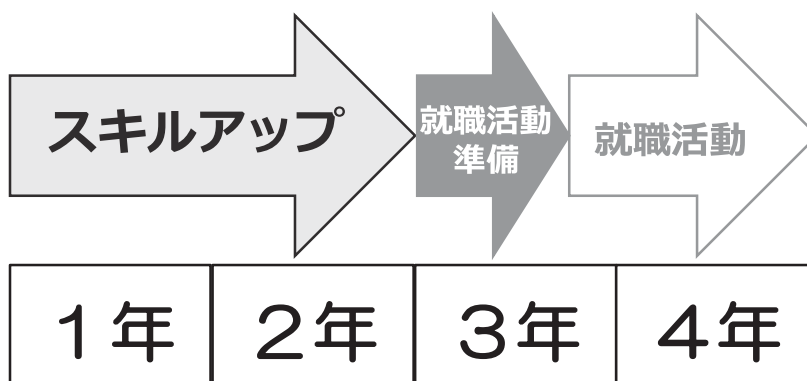
10

実は短い！大学生活4年間



11

実は短い！大学生活4年間



12

エクステンションセンターとは？

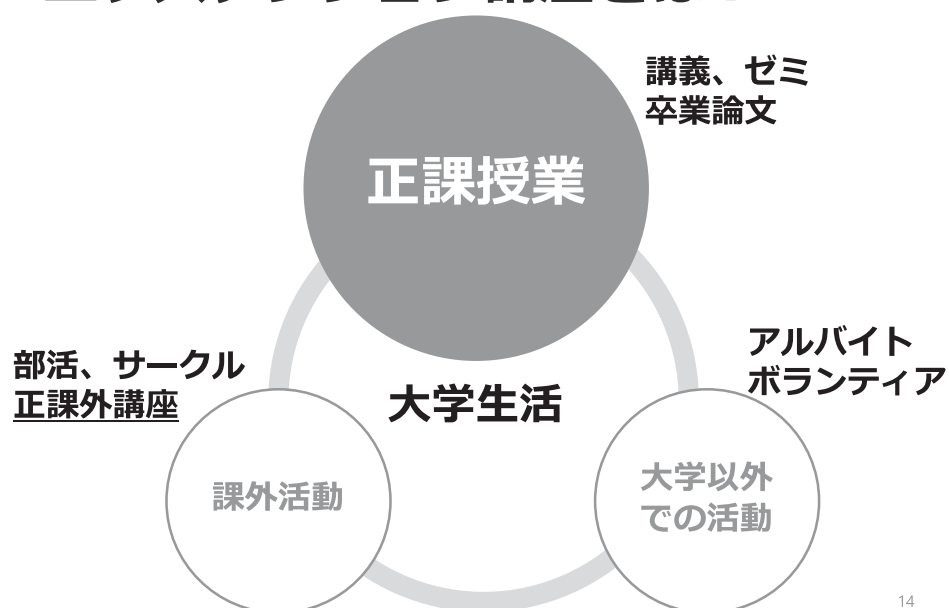
何のためにあるの？



正課授業の補完・補強

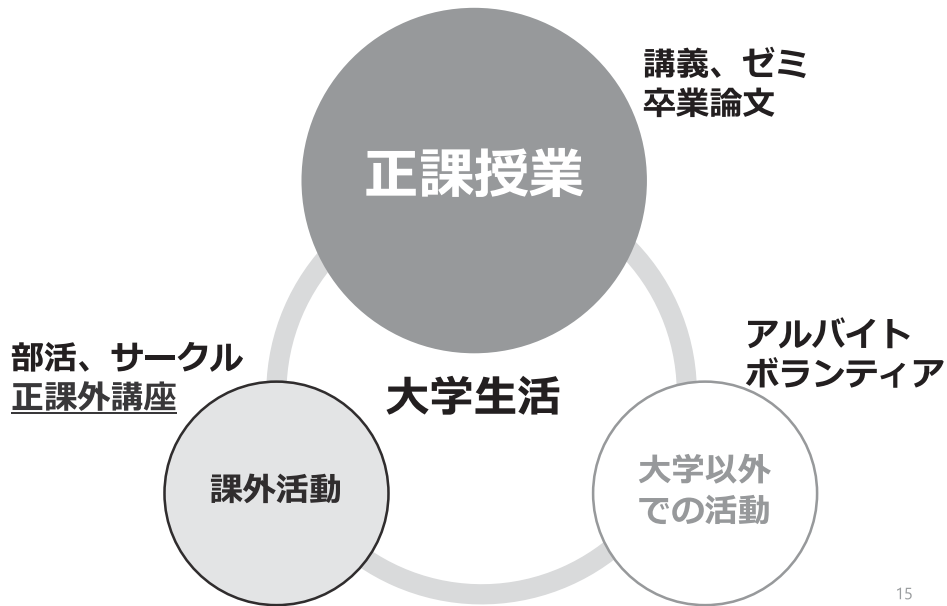
13

エクステンション講座とは？



14

エクステンション講座とは？



エクステンションセンターとは？

エクステンション事業

●エクステンション講座（正課外講座）

→主に本学在学学生向け

2019年度のべ**6,352人**がエクステンションセンターを利用

●福岡大学市民カレッジ（公開講座）

→卒業生・一般社会人向け

エクステンション講座の特色

「夢をカタチに！」するための **7**つの特色

- ① **福大生にあわせた**講座カリキュラム
 - ② きめ細かな個別指導とアウトプット重視の指導で合格までをサポート
 - ③ 実践力も身につく内容です
 - ④ 学内講座だから実現できた **安価な受講料**です
 - ⑤ **キャンパス内で**各種講座を受講できます
 - ⑥ フォローアップ体制も充実しています
 - ⑦ 専門スタッフが悩みや不安などの相談に応じます
- ➡ **今年度開催分はWEBで実施**

17

エクステンション講座の特色

- 大学補助の **特別受講料** で受講できる！
 - ・ TOEIC® Listening & Reading Test受験対策講座
 - **割引料金** で受験できる！
 - ・ TOEIC® Listening & Reading Test (IPテスト・公開テスト)
 - ・ 中国語検定試験
- ➡ **今年度実施できない可能性あり**

18

エクステンション講座の特色

●受験料の一部を 補助 します！

- ・ IELTS™
- ・ TOEFL iBT®

● 父母後援会からの支援 がある！

- ・ ライティング・サポート・デスク
- ・ 伝える伝わるコミュニケーションスキル養成プログラム
- ・ IELTS™受験対策講座

➡今年度実施できない可能性あり

19

エクステンション講座の特色

● 再チャレンジ支援制度 がある！

● 表彰（報奨金支給）制度 がある！

- ・ 公認会計士受験対策講座
- ・ 税理士受験対策講座
- ・ 行政書士受験対策講座
- ・ 通関士受験対策講座
- ・ 気象予報士受験対策講座
- ・ 簿記検定1級受験対策講座
- ・ 宅地建物取引士受験対策講座
- ・ 旅行業務取扱管理者受験対策講座

20

講座を受講するメリット

独学で勉強する	講座を受講する
何から始めれば良いかわからない	明確な 目標 ができる
わからない部分は自分で解決するしかない	専門の講師による 効率の良い勉強法
一人での勉強で孤独	同じ目標に向かって努力する 仲間 がいる！

21

講座受講における注意点

注意！

講座を受講したから試験に合格するというわけではない！

勉強するのは自分自身！

講座を受講することは効率よく努力するための手段！

22

本日の内容

- ①はじめに
- ②エクステンションセンターとは
- ③エクステンション講座とは
- ④エクステンション講座の特色
- ⑤講座を受講するメリットと注意点

- ⑥世の中の変化
- ⑦資格取得のメリット、資格・試験の種類
- ⑧資格取得に挑戦するための心構え

- ⑨エクステンション講座の紹介、エンカレッジセミナーとは
- ⑩おわりに

23

外部環境の変化を見極める

第4次産業革命 **新型コロナウイルス**

Society 5.0 **ビッグデータ**

人工知能 (AI) **IoT (Internet of Services)**
IoT (Internet of Things)

10年後、
残っている仕事、無くなっている仕事

すべてが、IT産業に

外部環境の変化を見極める

就活ルール of 廃止

終身雇用の崩壊
年功序列の廃止

労働人口の減少
少子高齢化

新しい生活様式
テレワーク

日本の労働人口の〇〇%が人工知能や
ロボット等で代替可能に（2015年12月時点）
～601種の職業ごとに、コンピューター技術による代替確率を試算～

さて代替可能は
約〇〇%でしょうか

① 19%

② 29%

③ 39%

④ 49%

「野村総合研究所」ニュースリリースから2015/12/2から
https://www.nri.com/~media/PDF/jp/news/2015/151202_1.pdf

日本の労働人口の〇〇%が人工知能やロボット等で代替可能に (2015年12月時点)

～601種の職業ごとに、コンピューター技術による代替確率を試算～

さて代替可能は約〇〇%でしょうか

① 19%

② 29%

③ 39%

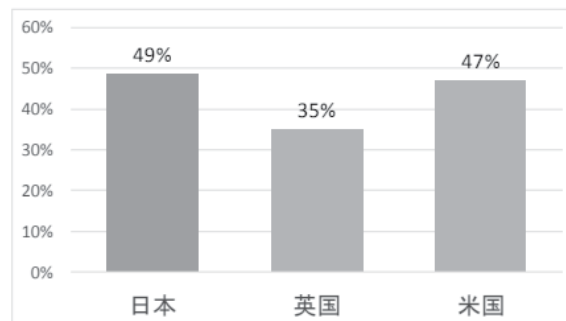
④ 49%

「野村総合研究所」ニュースリリースから2015/12/2から
https://www.nri.com/~media/PDF/jp/news/2015/151202_1.pdf

日本の労働人口の49%が人工知能やロボット等で代替可能に (2015年12月時点)

～601種の職業ごとに、コンピューター技術による代替確率を試算～

図1：人工知能やロボット等による代替可能性が高い労働人口の割合（日本、英国、米国の比較）



注) 米国データはオズボーン准教授とフレイ博士の共著 “The Future of Employment”(2013)から、また英国データはオズボーン准教授、フレイ博士、およびデロイトトーマツコンサルティング社による報告結果(2014)から採っている。

「野村総合研究所」ニュースリリースから2015/12/2から
https://www.nri.com/~media/PDF/jp/news/2015/151202_1.pdf

ワーク+休憩・まとめ時間

- ロボット、人工知能が発達していく中で、ひとはなにをしていくべきかを考えてみてください
考えをまとめたらチャットに入力してください
時間は10分間（休憩含む）

29

学生時代本気でやっておけばよかったと思うことはどれですか？

1位から4位の5コの順位付けをしてください。

遊び・資格取得・勉強・恋愛・旅行

第1位	135人（30.1%）
第2位	73人（16.3%）
第3位	60人（13.4%）
第4位	34人（7.6%）
第4位	34人（7.6%）

「学生時代、これを本気でやっておけばよかった……！ 社会人が後悔していることTop5！」から
<https://gakumado.mynavi.jp/gmd/articles/36695>

30

学生時代本気でやっておけばよかったと思うことはどれですか？

第1位	勉強	135人 (30.1%)
第2位	資格取得	73人 (16.3%)
第3位	恋愛	60人 (13.4%)
第4位	遊び	34人 (7.6%)
第4位	旅行	34人 (7.6%)

「学生時代、これを本気でやっておけばよかった.....！ 社会人が後悔していることTop5！」から
<https://gakumado.mynavi.jp/gmd/articles/36695>

31

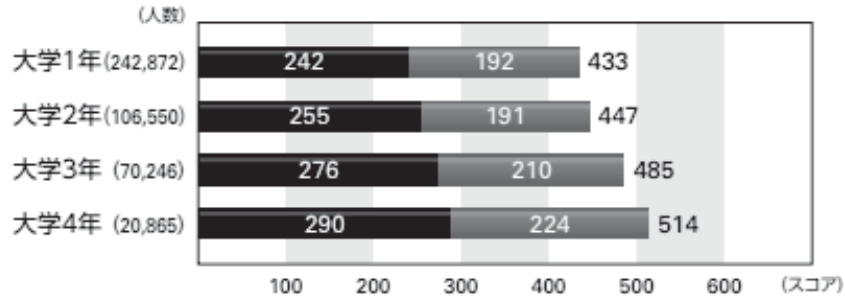
◆社会人としてこれだけは身につけておこう！

- 会計の知識 : 簿記検定
- 法律的思想 : ビジネス実務法務検定
- 英語力 : TOEIC
- PC操作力 : Microsoft Office Specialist (Word/Excel)
- 情報処理技術 : ITパスポート (セキュリティ)

◆TOEIC平均スコア

全 国

大学(440,533人)
平均スコア Listening 253点 Reading 196点 Total 449点



資格を選ぶ基準

- 1 … 国が力を入れている部門
- 2 … 会計・経理・貿易がない会社はない
- 3 … 就活に有効なマナーが身につく
- 4 … 会社に設置義務がある資格
- 5 … 社会人必携資格及び能力
- 6 … より高度な資格のステップアップになる

資格取得のメリット

- **アピールの材料**になる

アピールそのものではない！

- **能力の証明**になる

- **自分の適性**がわかる

35

資格・試験の種類

業務独占資格 ・ 宅地建物取引士 ・ 旅行業務取扱管理者 など	社会人として必要な 基本的スキル ・ TOEIC® Listening & Reading TEST ・ MOS ・ 簿記検定 など
採用試験 ・ 公務員採用試験 ・ 教員採用試験 など	

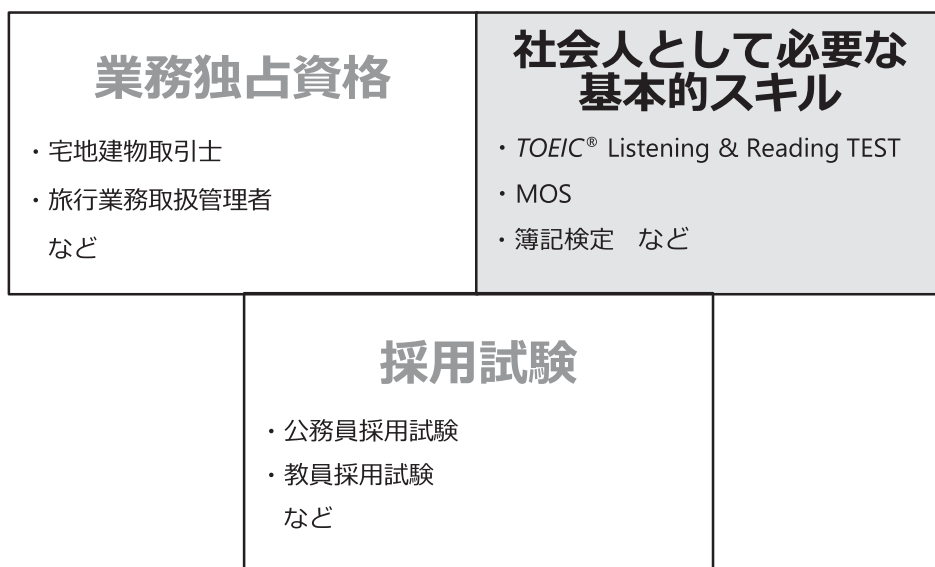
36

資格・試験の種類



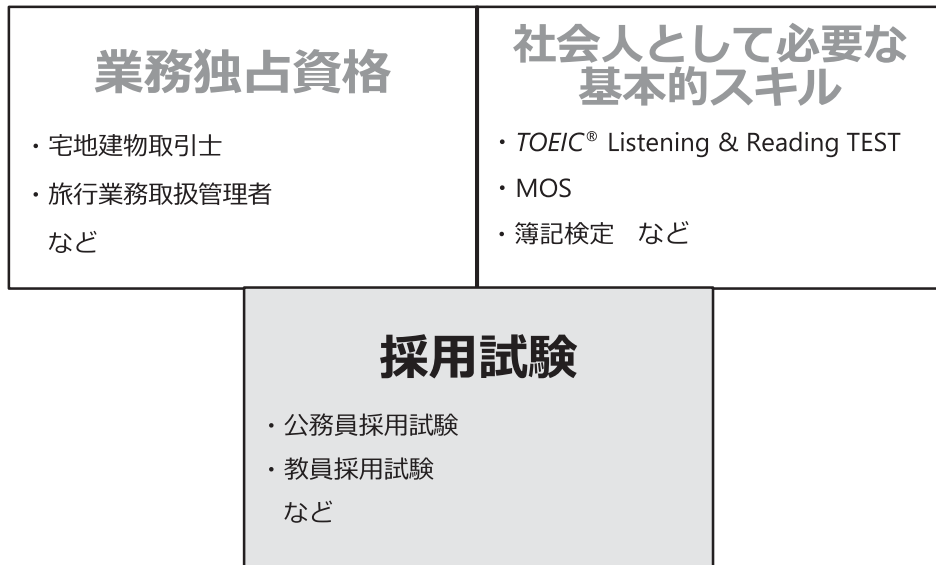
37

資格・試験の種類



38

資格・試験の種類



39

資格取得に挑戦するための心構え

●身になる努力を！

合格者が最も大変だったこと…

「机に向かって勉強する習慣を身につけること」

●タイミングを間違わないように！

資格によって試験の時期や勉強に必要な期間が異なる。

段階的に取得が必要な資格もある。

「早いうちに情報を確認する、計画をたてる」

40

合格者の特徴

- 目的意識がはっきりしている
- 合格を通過点と考え、向上心がある
- 遅刻・欠席がない
- 積極的に取り組んでいる

41

受講生の声（一部抜粋）

「公務員採用試験対策講座」受講生

- 無駄なく勉強できたことで合格を勝ち取ることができました。独学も検討していましたが、講座を受講していなければ勉強のポイントがわからず合格できていなかったと思います。
- この講座は1年以上続き、大変ではありますが、大学の講義や行事は考慮されているため効率的です。

「貿易実務検定®C級受験対策講座」受講生

- 3年次生になる前に資格を取得できたため、インターンシップで商社に行った際に、勉強していた専門用語やシステムを使っている現場を体験することができ、資格の大切さを肌で感じました。

42

本日の内容

- ①はじめに
- ②エクステンションセンターとは
- ③エクステンション講座とは
- ④エクステンション講座の特色
- ⑤講座を受講するメリットと注意点

- ⑥世の中の変化
- ⑦資格取得のメリット、資格・試験の種類
- ⑧資格取得に挑戦するための心構え

- ⑨エクステンション講座の紹介、エンカレッジセミナーとは
- ⑩おわりに

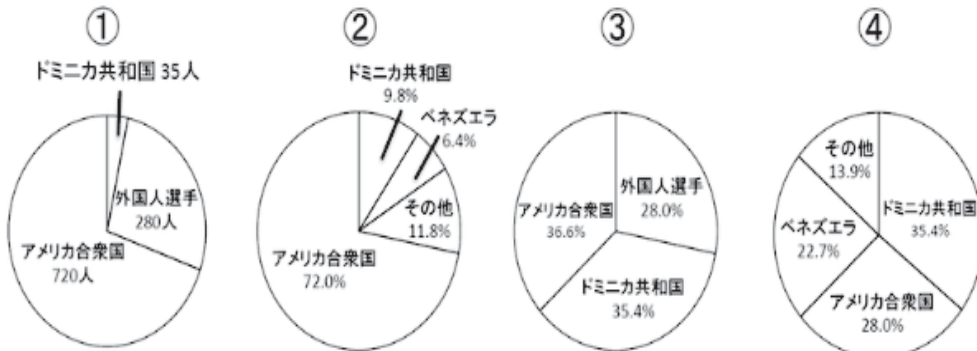
ワーク

- 今から問題を1問出します。
- 解答時間は3分です。
- 準備はいいですか
- 投票を行いますので、回答を解いたら正しいと思ったものに票をいれてください

ワーク

下記の文を読み、メジャーリーグ選手の出身国の内訳を表す図として適当なものをすべて選びなさい。

メジャーリーグの選手のうち28%はアメリカ合衆国以外の出身の選手であるが、その出身国を見ると、ドミニカ共和国が最も多くおよそ35%である。

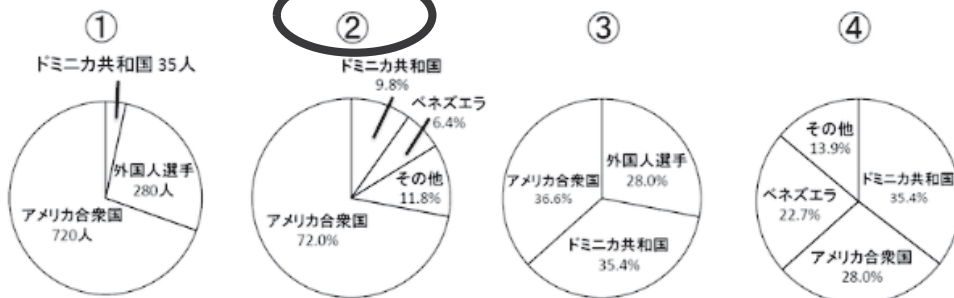


RST：（国立情報学研究所（NII）社会共有知研究センター）
<https://news.yahoo.co.jp/byline/egawashoko/20180211-00081509/>

45

下記の文を読み、メジャーリーグ選手の出身国の内訳を表す図として適当なものをすべて選びなさい。

メジャーリーグの選手のうち28%はアメリカ合衆国以外の出身の選手であるが、その出身国を見ると、ドミニカ共和国が最も多くおよそ35%である。



	全国中学生 (496名)	中1 (145名)	中2 (199名)	中3 (152名)	全国高校生 (277名)	高1 (181名)	高2 (54名)	高3 (42名)
(2)								
正答:②	12.3%	9.0%	12.6%	15.1%	27.8%	23.2%	37.0%	35.7%

エクステンション講座の紹介

1, 2年次生にもおすすめ!

ライティング・サポート・デスク

学生生活に関わる文章（レポート、卒業論文、プレゼンテーション資料等）、
進学・就職に関する文章（エントリーシート、就職試験論文等）の作成を
支援します。

→全ての基本となる能力

➡今年度実施できない可能性あり

47

エクステンション講座の紹介

社会人として身につけておきたいスキル

- ・ MOS対策講座（Word・Excel）
- ・ 簿記検定受験対策講座
- ・ TOEIC[®] Listening & Reading Test受験対策講座

➡今年度実施できない可能性あり

48

2020年度 語学講座一覧 読む 聴く 書く 話す
強化したい英語4技能や目的に応じた講座を選ぼう!!

TOEIC® 講座 読む 聴く

- 習熟度別クラスで英語力アップ → **TOEIC® L&R受験対策講座** (春コース/秋コース) 春コース 14日間
- スコアアップをめざす → **TOEIC® L&R受験対策講座 (前期)** (春コース/秋コース) 春コース 10日間
- スコアアップをめざす → **TOEIC® L&R受験対策講座 (リバイブ)** (春コース/秋コース) 春コース 5日間

書く NEW **話す** NEW

- 洗練された英文を書こう! / **英文ライティング講座** (春コース/秋コース) 春コース 10日間
- コンテンツとレベルを選んで個人レッスン! / **英会話オンライン講座 (面接予約制)** (春コース/秋コース) 春コース 16回
- 2回で完結! すぐ使える会話力をつける / **すぐに使える! 日常英会話** (春コース/秋コース) 春コース 2日間

IELTS™ 講座 読む 聴く 書く 話す **海外留学をめざす!!**

- 初めての人 → **IELTS™ 受験対策講座 (前期)** (春コース/秋コース) 春コース 10日間
- スコアアップをめざす → **IELTS™ 受験対策講座 (後期)** (春コース/秋コース) 春コース 10日間

さらにレベルアップ → **英文ライティング講座** **英会話オンライン講座** 合わせて受講しよう!

→今年度実施できない可能性あり

講座に申し込むには？

必須!

ガイダンスに参加する!

(参加無料・予約不要)

- ・ 講座の内容および申込要領等を説明します。

※やむを得ず欠席する場合は、ガイダンス前日までにエクステンションセンターへ来室してください。

エンカレッジセミナーとは

「エンカレッジセミナー」

《未来ノート》でなりたい自分になる！

自らの将来像と講座受講との相関性を意識し、
学びへの動機づけを明確にするセミナー

「なりたい自分」を見つけよう！《未来ノート》を作ろう！

51

エンカレッジセミナーとは

- ①自分の**将来**を考える。（人生設計を描いてみる）
- ②自分の**現状**を考える。（今の自分を見つめ直す）
- ③自分の**やるべきこと**が見えてくる。
（危機感を感じて、動き出す）



講座受講

※ただし、講座に参加するだけでは意味がない！
ここからが本当のスタート！活用するのは自分自身！

52

エンカレッジセミナー受講者の感想

●法学部法律学科3年

知らないこと、事前に準備しなければならないこと、やるべきことがあり、考えなければならないなど痛感しました。このエンカレッジセミナーを受けたことで気づくことが多くあり、2年間何も考えずに送ってきた学校生活に対しての姿勢が変わる気がします。

●理学部化学科1年

1年生でこの話を聞いて良かったと思えるくらい、大切な話を聞いてよかった。理想と現実のギャップを埋めるためにこつこつ日頃から努力します！

53

エンカレッジセミナーとは

エンカレッジセミナーの参加は**無料**です。
エクステンションセンター窓口でお申込みください。

★**公務員採用試験対策講座**の受講希望者は3年次までに**必ず**受講してください。このセミナーの受講が講座ガイダンスへの参加、受講申込の条件となっています！

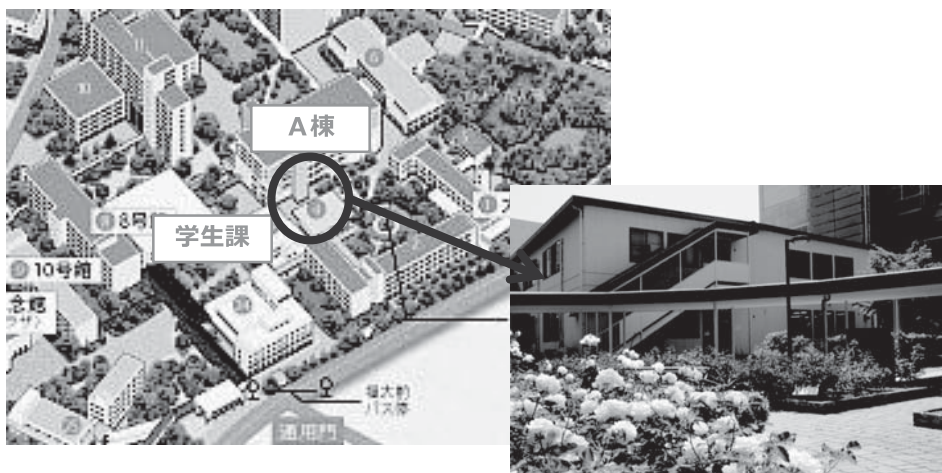
54

おわりに・・・

Let's start!

55

エクステンションセンターの場所



A棟東側、学生課北側にあります！

56

ご不明な点はエクステンションセンター
事務室窓口までお問合せください！

業務時間

平日 8:50～20:50

土曜 8:50～16:50

日・祝 閉室

(※業務時間は変更になる場合があります)

福大生のためのキャリアデザイン 第 14 回目

まとめ

植上一希・藤野真

第 14 回目のポイント

第 14 回目は、「福大生のためのキャリアデザイン」の振り返りを行なった。

- 第 14 回目のポイントは、ルーブリック評価を利用しながら、この授業の到達目標の達成度の確認および学習の定着度の確認を行う点にある。
- ルーブリック評価の左側は、いわゆるルーブリック評価の評価枠組みで構成されている。右側は、評価する際の判断基準を提供すると同時に、復習の機会として位置付けている。ルーブリック評価を行う際、学生には右側にある質問項目への回答内容に応じてルーブリック評価の評点をつけることを推奨している。十分に回答できた学生は授業の到達目標を達成したと同時に自己肯定感を感じられるのではないかと思う。十分に回答できなかった学生は、質問への不足を補うことで復習の機会を持つことができる。
- 例年であれば、このルーブリック評価は定期試験の準備としても機能することが期待されている。

授業の進め方

(1)前回の振り返りと第 14 回目の説明[15 分]、(2)ルーブリック評価[残り時間]

* 授業時間中はミーティングを継続し、適宜質問に回答する時間とした。

* (2)以降はミーティングを退室することも認めた。

授業の資料

(資料1)「福大生のためのキャリアデザイン」

…授業で利用したスライド

(資料2)「ルーブリック評価」

(資料3)「ルーブリック評価(記入例)」

福大生のためのキャリアデザイン

- 受講生がミーティングに参加するまでしばらく待っててください。
- カメラは共有する・しないは自由です。
(アイコンを設定してもらえれば、差異が出るなーです)
- マイクは「ミュート」にしておいてください。
- 先週のwebexの録画をまとめノートに掲載しています。

福大生のためのキャリアデザインのまとめノート

↓↓↓

FUポータル授業管理とoutlookにURLが送られています。

第14回

まとめ

前回の振り返り

※2分時間を取りますので、まずはご自身で前回の振り返りをしてみましょう。

質問への回答(1)

○全体的な質問

- 資格の取得はどの時期に多いのか。また、資格の勉強におすすめの時期はいつか。
→資格によりさまざまです。学年でいえば、就活のことを意識される方が多いのか、3年生から始める方が多い印象です。ただ、難易度等もかかわってくるので、早めにスタートすることをおすすめします。
- 再開は、いつからの予定でしょうか。
- あまり仕組みが分かっておらず前期は何も取れなかったのですが、後期からでも受講できる講座などはあるのですか？
→大学も再開されていない状況ですからまだ、わかりません。7月20日以降に実施できる講座をお知らせする予定です。申し訳ありませんが、FUポータルでお知らせを出しますので、確認するようにしてください。

質問への回答(2)

○TOEICについて

- 一年間でTOEICを受けている福大生の数はどれくらいでしょうか？
→2019年度のIPテストでは約1800人の学生が受験しています。
- TOEICの講座は具体的にどんなことをしていますか。英語の授業のような感じでしょうか。
→所持スコアにより、授業スタイルが変わってきます。だいたい1クラス15人前後になり、ペアワークも実施します。そのため、英語の授業よりも積極的な参加が求められると思います。ガイダンスに参加されると講師ともあえますので、興味があればご参加ください。
- 福大生のTOEIC平均を知りたいです。
→福大で実施しているTOEICのIPテストは470前後になっています。

質問への回答(3)

○TOEICについて

- TOEICは必ず福岡大学で受けなければいけませんか？
→IPテストは福大内が試験会場になりますので、福大で受ける必要があります。公開テストは受験地のエリアを選べますが、指定された会場に出向く必要があります。福大はあまり会場に選ばれません。
- 今年はTOECなど受けれない可能性があるかと講義で先生がおっしゃっていました。来年などからTOECなどの割引制度を利用するにもガイダンスがあるのですか？またどれを利用するにはエクステンションセンターに連絡すれば良いのですか？
→TOEICテストのIPテスト・公開テストともにガイダンスはありません。受験料を支払うこと、申し込み手続きがあります。申し込み方法はFUポータルでもお知らせを出しますので確認するようにしてください。TOEICの講座についてはガイダンスに参加してください。

質問への回答(4)

○その他

- 簿記の講座もありましたが、日商簿記の講座もありますか？
→すべて日商簿記の講座です。全商簿記は実施していません。
- 危険物取扱者の試験といった専門的なのにも対応していますか？
→危険物の講座は実施していません。
- 入学前に1、2年次の空港業界の講座が合ったと思うんですけどまだありますか？
→実施しています。今年度は中止になりました。また、来年は実施するかは未定です。来年の3月中旬以降には実施するかどうかお知らせできます。

質問への回答(5)

○その他

- 公務員の勉強を早く始めるとしたらどのくらいから始めると良いでしょうか？
- 公務員試験の勉強を早めをしたいのですがおすすめの参考書はありますか？
→センター試験を受験されたか、福大の受験の仕方で変わってくるので、一概にお伝えするのは難しいです。余裕を持つことを考えると2年生の後期くらいから初めていいのではないのでしょうか。もし今まで数学をあまり勉強されていないのならば、数的処理ができるようになっておいたほうがよろしいかとも思います。
→また、使用しているテキストをお見せすることもできます。適切なアドバイスが難しいので、個別にご連絡いただくと対応させていただきます。

質問への回答(6)

○その他

- 外資系の会社に就職するためには、語学力以外に何が必要ですか。
→難しい質問ですね。外資系にも業界がたくさんあると思いますので、一概に言えないと思いますが、外資系で働いている方や内定者を見ていると魅力的な方が多い印象です。詳しくは就職・進路支援センターにご質問いただいたほうがいいと思います。

今日の授業の目的

- ①FURIKAやルーブリックを用いて、授業全体の振り返りを行い、自身の学習成果を確かめる。

※授業の終了時には自身で学習評価することは、学習成果を確かめ、自身の学習を省みるために効果的です。

- ②教員側からまとめのコメントを伝える。

今日の授業の構成

- ①授業の目標・概要を振り返る(第1回のパワポなど)
- ②FURIKAをする
- ③ループリックをする
- ④最終レポートの説明
- ⑤おわりに

授業の目標・概要を振り返る

授業の第1回の際に言ったことを思い出してください。

第1回の授業の振り返り

授業の説明の前に…

シラバスを読んでみましょう！！

シラバスは「授業の計画書(説明書)」

授業の概要、目標、評価基準などをふまえて、授業への取り組み方を認識することができます

↓シラバスのリンク

<https://fukuoka-u.box.com/s/vdeu1hi5x46mzxaz5v5p6wxnihk3phg>

第1回の授業の振り返り

授業の目標・概要を振り返る

授業を振り返るときにも、目標や概要を中心に振り返ります。

- 授業の目標は達成できたのか
- 授業の目的や内容はどのようなものだったのか、どういう構成(流れ)だったのか
- どのような評価基準なのか。レポートやテストで問われるのは何か。

第1回の授業の振り返り

授業の概要(1)

概要

本講義は1年生を対象に行う。

中心となる問いは、「大学生になる」とはどのようなことか、である。1年生は大学生としてのライセンスを得た状態にいるが、そのライセンスを中身あるものにしていくことが、「大学生になる」ということに他ならない。この「大学生になる」ために必要な考え方や取り組み方について、本講義では、具体的な実践もとりいれながら習得していく。

その際、この福岡大学において受講者が「福大生になる」という具体的な観点をとくに重視し、福大生の置かれている社会的位置やかけられている期待、福岡大学において活用できる諸資源とそれを用いての成長可能性などを学んでいく。

それをもとに、自立とは何か、職業とは何か、キャリアをデザインするとはどのようなことか、キャリアをデザインするために大学でどのようなことを学び、身につけておかなければならないのかなど、自分自身のキャリアを考えるために必要な基本的な知識や考え方を理解することを目的とする。

第1回の授業の振り返り

授業の概要(2)

概要

本講義は1年生を対象に行う。

中心となる問いは、「大学生になる」とはどのようなことか、である。1年生は大学「大学生になる」ということはどのようなことか
「大学生になる」ために必要な考え方や取り組み方とは何か
ために必要な考え方や取り組み方について、本講義では、具体的な実践もとりいれながら習得していく。

その際、この福岡大学において受講者が「福大生になる」という具体的な観

「福大生になる」にあたって活用できる資源とは？

「福大生になる」にあたってどのような可能性があるのか？

を学んでいく。

それをもとに、自立とは何か、職業とは何か、キャリアをデザインするとはどう

あなた自身は、どのような「大学生」「福大生」になるのか
それをしっかりと考えるための知識・スキルを学ぶ！！

第1回の授業の振り返り

授業の目標(3)

✚ 到達目標

大学における学習・生活を有意義に送るための基礎的な知識・方法を理解し、それを自身の経験や関心と関連させて説明することができる。(知識・理解)

大学卒業後のキャリア形成と大学生生活を関連させて把握する観点を有し、自らのキャリア形成を主体的に考えることができる。(技能)

福大生としてのキャリアデザインの多様性を理解し、そのなかで自らのキャリアを積極的にデザインしようとする志向性を有する。(態度・志向性)

第1回の授業の振り返り

授業計画

※ 授業計画も変更しています！

回	日時	授業計画
1	4・30	オリエンテーション
2	5・7	大学生になるってどういうこと(第1章)
3	5・14	大学生生活・大学での学習① なぜ大学生になったのか(第3章)
4	5・21	大学生生活・大学での学習② 未来について考える
5	5・28	課題作成 「どのような大学生になりたいのか①—過去・現在・未来—に焦点をあてて」
6	6・4	福岡大学での支援体制① 大学での学習を支援する教務課
7	6・11	大学生生活・大学での学習③ 大学生の学びの特質(第4章)
8	6・18	福岡大学での支援体制② 学生生活を支援するHDセンター
9	6・20	先輩に聞く大学生生活の送り方・学び方
10	6・25	大学生生活・大学での学習⑤ 学生の悩み・躓きやすいことに答えて
11	7・2	課題作成 「どのような大学生になりたいか②」
12	7・4	福岡大学での支援体制③ キャリア形成を支援する就職・進路支援センター
13	7・9	福岡大学での支援体制④ キャリア形成を支援するエクステンションセンター
14	7・16	まとめ

FURIKA(授業評価)をする

FURIKA(授業評価)

- シラバスに記載されている授業の到達目標に対して、自分自身はどれくらい到達できているかということをも自分自身で振り返るためのものです。成績に影響することはありません。
- FURIKAへの回答結果は成績が確定した後に教員に開示されます。入力のないよによって成績に影響があることはありません。

↓マニュアル(PDF)

<https://fukuoka-u.box.com/s/c1obyjy45niyrn6w7xi4wjfbmf2b3w1r>

↓マニュアル(動画)

<https://fukuoka-u.box.com/s/701qmvvyg42o57izdi221tl8upt3u2fn>

ルーブリック評価をする(1)

The image shows a screenshot of a rubric evaluation table titled "第14回ルーブリック評価表". The table has several columns: "評価項目" (Evaluation Item), "習熟度" (Mastery), "授業の内容" (Content of the Lesson), and "判断基準と復習" (Evaluation Criteria and Review). The "習熟度" column contains numerical ratings from 1 to 5. The "授業の内容" column contains detailed descriptions of the learning objectives and content. The "判断基準と復習" column contains specific criteria for evaluation and suggestions for review. Three callout boxes are overlaid on the table: one pointing to the "習熟度" column, one pointing to the "授業の内容" column, and one pointing to the "判断基準と復習" column.

評価項目	習熟度	授業の内容	判断基準と復習
本学が求める能力			
基礎知識・技能			
応用知識・技能			
専門知識・技能			
総合的知識・技能			
態度・行動力			

ルブリック評価をする(2)

第14回: ルブリック評価を使ってリフレクション(内省)をする

評価項目	観点	到達点	評価	ポイント
大学卒業後の将来について	大学卒業後の将来について、具体的なイメージを描き、その実現に向けての計画をまとめている。	大学卒業後の将来について、具体的なイメージを描き、その実現に向けての計画をまとめている。	大学卒業後の将来について、具体的なイメージを描き、その実現に向けての計画をまとめている。	① 具体的なイメージを描き、その実現に向けての計画をまとめている。
大学での学びについて	大学での学びについて、具体的なイメージを描き、その実現に向けての計画をまとめている。	大学での学びについて、具体的なイメージを描き、その実現に向けての計画をまとめている。	大学での学びについて、具体的なイメージを描き、その実現に向けての計画をまとめている。	② 大学での学びについて、具体的なイメージを描き、その実現に向けての計画をまとめている。
大学での生活について	大学での生活について、具体的なイメージを描き、その実現に向けての計画をまとめている。	大学での生活について、具体的なイメージを描き、その実現に向けての計画をまとめている。	大学での生活について、具体的なイメージを描き、その実現に向けての計画をまとめている。	③ 大学での生活について、具体的なイメージを描き、その実現に向けての計画をまとめている。
大学での学びについて	大学での学びについて、具体的なイメージを描き、その実現に向けての計画をまとめている。	大学での学びについて、具体的なイメージを描き、その実現に向けての計画をまとめている。	大学での学びについて、具体的なイメージを描き、その実現に向けての計画をまとめている。	④ 大学での学びについて、具体的なイメージを描き、その実現に向けての計画をまとめている。
大学での生活について	大学での生活について、具体的なイメージを描き、その実現に向けての計画をまとめている。	大学での生活について、具体的なイメージを描き、その実現に向けての計画をまとめている。	大学での生活について、具体的なイメージを描き、その実現に向けての計画をまとめている。	⑤ 大学での生活について、具体的なイメージを描き、その実現に向けての計画をまとめている。

ルブリック評価の評価手順

- ・ 吹き出しの①→⑤の順番で内容を進めてください。また、最終の吹き出し①→⑤を順番に参考にしてください。
- ・ 最終の吹き出しは、作業を進めるためのアドバイスや説明です。
- ・ このルブリック評価の目的は自分で自分の習熟度を確認することにあります。

最終レポートの説明

- ・ テーマ
 - ①あなたの大学卒業後の将来像
 - ②大学生活の具体的なデザイン
- ・ 提出期限

7月23日(木)23時59分

※くわしくはまとめページからレポート課題のページアクセスしてください。また、最終レポート用の雛形をダウンロードして、課題を作成してください。

おわりに

植上から

藤野から

**3か月間お疲れ様でした！
積極的な受講に感謝します。**

第14回：ルーブリック評価を使ってリフレクション(内省)をする

評価項目	優:3点	良:2点	可:1点	不可:0点	評価	ガバナイン	あなたなら何と答えますか？ (まず、何枚参照せずに回答してください。→次に、ノートや授業の資料を参考に回答してください)
大学生は大学生になるということについて	授業で説明された内容を基に、自分で「大学生になる」という一歩を踏み出した。授業で説明された内容を基に、自分で「大学生になる」という一歩を踏み出した。授業で説明された内容を基に、自分で「大学生になる」という一歩を踏み出した。	授業で説明された内容を基に、自分で「大学生になる」という一歩を踏み出した。授業で説明された内容を基に、自分で「大学生になる」という一歩を踏み出した。授業で説明された内容を基に、自分で「大学生になる」という一歩を踏み出した。	授業で説明された内容を基に、自分で「大学生になる」という一歩を踏み出した。授業で説明された内容を基に、自分で「大学生になる」という一歩を踏み出した。授業で説明された内容を基に、自分で「大学生になる」という一歩を踏み出した。	授業で説明された内容を基に、自分で「大学生になる」という一歩を踏み出した。授業で説明された内容を基に、自分で「大学生になる」という一歩を踏み出した。授業で説明された内容を基に、自分で「大学生になる」という一歩を踏み出した。	<p>■評価1: 大学生はなるという一歩を踏み出した。</p> <p>■評価2: 大学生はなるという一歩を踏み出した。</p> <p>■評価3: 大学生はなるという一歩を踏み出した。</p> <p>■評価4: 大学生はなるという一歩を踏み出した。</p> <p>■評価5: 大学生はなるという一歩を踏み出した。</p>	<p>Q: 「大学生になる」という一歩を踏み出した。授業で説明された内容を基に、自分で「大学生になる」という一歩を踏み出した。授業で説明された内容を基に、自分で「大学生になる」という一歩を踏み出した。</p> <p>Key wordを挿入してください。</p>	Q: (説明できる人) 自分が勉強している分野にはどんな面白さがありますか？ (説明できない) 面白いと感じませんが？
【自体的内容】 【自体的内容】 【自体的内容】	大学生で勉強している内容を自体的に説明することができる。大学生で勉強している内容を自体的に説明することができる。大学生で勉強している内容を自体的に説明することができる。	大学生で勉強している内容を自体的に説明することができる。大学生で勉強している内容を自体的に説明することができる。大学生で勉強している内容を自体的に説明することができる。	大学生で勉強している内容を自体的に説明することができる。大学生で勉強している内容を自体的に説明することができる。大学生で勉強している内容を自体的に説明することができる。	大学生で勉強している内容を自体的に説明することができる。大学生で勉強している内容を自体的に説明することができる。大学生で勉強している内容を自体的に説明することができる。	<p>■評価1: 大学生はなるという一歩を踏み出した。</p> <p>■評価2: 大学生はなるという一歩を踏み出した。</p> <p>■評価3: 大学生はなるという一歩を踏み出した。</p> <p>■評価4: 大学生はなるという一歩を踏み出した。</p> <p>■評価5: 大学生はなるという一歩を踏み出した。</p>	<p>Q: 所属している教科・専攻において最も特徴的な科目名をあげてください。その授業の内容を説明してください。</p>	Q: 大学における科目と目立った大学生生活について説明してください。
【抽象的・一般的内容】 【大学での学びについて】	「大学での学び」という問いに対して、授業で学んだ理論や専門用語をキーワードに説明することができる。	「大学での学び」という問いに対して、授業で学んだ理論や専門用語をキーワードに説明することができる。	「大学での学び」という問いに対して、授業で学んだ理論や専門用語をキーワードに説明することができる。	「大学での学び」という問いに対して、授業で学んだ理論や専門用語をキーワードに説明することができる。	<p>■評価1: 大学生はなるという一歩を踏み出した。</p> <p>■評価2: 大学生はなるという一歩を踏み出した。</p> <p>■評価3: 大学生はなるという一歩を踏み出した。</p> <p>■評価4: 大学生はなるという一歩を踏み出した。</p> <p>■評価5: 大学生はなるという一歩を踏み出した。</p>	<p>Q: 大学における科目と目立った大学生生活について説明してください。</p>	Q: インターネットやSNSの情報を知らない場合どの言葉を訳しますか？
学生生活	大学生生活における自由や自発的な生活について説明することができる。大学生生活における自由や自発的な生活について説明することができる。大学生生活における自由や自発的な生活について説明することができる。	大学生生活における自由や自発的な生活について説明することができる。大学生生活における自由や自発的な生活について説明することができる。大学生生活における自由や自発的な生活について説明することができる。	大学生生活における自由や自発的な生活について説明することができる。大学生生活における自由や自発的な生活について説明することができる。大学生生活における自由や自発的な生活について説明することができる。	大学生生活における自由や自発的な生活について説明することができる。大学生生活における自由や自発的な生活について説明することができる。大学生生活における自由や自発的な生活について説明することができる。	<p>■評価1: 大学生はなるという一歩を踏み出した。</p> <p>■評価2: 大学生はなるという一歩を踏み出した。</p> <p>■評価3: 大学生はなるという一歩を踏み出した。</p> <p>■評価4: 大学生はなるという一歩を踏み出した。</p> <p>■評価5: 大学生はなるという一歩を踏み出した。</p>	<p>Q: 道を覚えない場合何課に相談に行きますか？</p> <p>Q: 気持ちがいけない(不安がある、元気が出ないなど) 場合どこに相談に行きますか？</p>	Q: 日本における就職や就職活動の特徴を説明してください。
私たちを支えていることについて	大学生生活は多くの大学職員に支えられています。事務は担当する仕事に各職員に分かれています。	大学生生活は多くの大学職員に支えられています。事務は担当する仕事に各職員に分かれています。	大学生生活は多くの大学職員に支えられています。事務は担当する仕事に各職員に分かれています。	大学生生活は多くの大学職員に支えられています。事務は担当する仕事に各職員に分かれています。	<p>■評価1: 大学生はなるという一歩を踏み出した。</p> <p>■評価2: 大学生はなるという一歩を踏み出した。</p> <p>■評価3: 大学生はなるという一歩を踏み出した。</p> <p>■評価4: 大学生はなるという一歩を踏み出した。</p> <p>■評価5: 大学生はなるという一歩を踏み出した。</p>	<p>Q: キャンパス形成に関する指針や考え方を説明してください。</p> <p>Q: キャンパス形成に関する指針や考え方を説明してください。</p> <p>Key wordを挿入してください。</p>	Q: キャンパス形成に関する指針や考え方を説明してください。

(注) このルーブリック評価はこの授業の評価には加味されません。これはあくまでも学生のみが自分の授業を振り返るためのものです。

